

アルヲ以テナリ例ハハ鶏姦ヲ行フカ如シ蓋シ男女情慾ノ萌生ス
ルト未萌トニ因テ十二歳満未滿ヲ以テ區別スルハ十二歳未滿ハ
其情慾未タ萌サ、ルヲ以テ假令承諾アリト雖モ決テ眞ノ承諾ト
見做サ、ル而已ナラス體機未タ成熟セサレハ甚タ健康ニ害アリ
故ニ唯猥褻ノ所業ヲ爲スニ過キサルモノヲモ仍ホ十二歳以
上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ爲シタル者ト同刑ニ處ス

第二百四十七條

十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅

迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ二月以上二年

以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

十二歳未滿ノ幼者ハ是非ノ識別ナキヲ以テ唯猥褻ノ所
行ヲ爲スモ前條ノ刑ニ處ス況テ暴行脅迫ヲ以テ爲スニ
至テハ其情甚タ惡ム可
シ故ニ其刑前條ニ倍ス

第二百四十八條

十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者

ハ輕懲役ニ處ス

前二條ハ猥褻ノ所業ニシテ將ニ姦情ヲ遂ケ
タルモノニ非ス本條及ヒ次條ハ姦情ヲ遂ケ

タルモノヲ云フ十二歳以上ノ男女ハ情慾稍ヤ萌生スルヲ以テ承
諾ノ上媾和スルハ之ヲ罰セスト雖モ兇暴ヲ以テ強テ情慾ヲ遂ケ
タル者ハ之ヲ強姦ノ罪トス其情慾未タ感極ニ至ラスト雖モ已ニ
陰部ニ没入シタル者ハ同ク強姦ノ域ヲ出テス抑モ強姦ハ姦罪中
極メテ重キモノトシレハ之ヲ犯ス者ハ輕懲役ニ處ス若シ未タ遂ケ
サル者ハ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ニ同シ蓋シ強
姦ノ罪ハ婦女ニ於テ始終姦淫ノ事ヲ拒ニシニ強テ遂ケタル時
以テ成立ス若シ最初拒ニシモ中途若クハ最後ニ於テ相和スル時
ハ強姦ノ罪ヲ
以テ論セス

藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシ
メテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

本項ノ所業ヲ以
テ姦淫スル者ハ
決シテ承諾アルモノニア
ラズ即チ之ヲ強姦罪トス
(三八三)

第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス
十二歳ニ滿タル幼女ヲ姦スルハ承諾スルト否トテ問ハス皆輕懲役ニ處テ若シ暴行脅迫ヲ用ヒ又藥酒ヲ用ヒテ姦淫シタルハ重懲役ニ處ス其區別第三百四十六條ノ前段ト第三百四十七條ニ同シ

第三百五十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス
本條ノ意ハ第三百四十四條ノ略取誘拐ニ係ル者ト同シ婦女ノ名譽ヲ害セシメサランカ爲メ前(一一四、一一五)數條ノ罪ハ本人又ハ親屬ノ告訴ヲ要スルヲ定ム

第三百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ

重キニ從テ處斷ス但強姦ニ因テ癱篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス
強姦ヲ除クノ外前數條ニ記載シタル猥褻姦淫ノ罪ヲ犯スニ原因シ其人ヲ死傷ニ至ラシムル時ハ毆打創傷ノ各本條ノ刑ニ照シ其一ノ重キニ從テ處斷ス皆シ強姦ヲ犯スニ原因シ癱篤疾ニ至ラシメタル者ハ其兇惡毆打創傷ノ比ニ非ス故ニ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル時ハ無期徒刑ニ處ス但強姦ノ罪ニ於テ癱篤疾以下ノ創傷ヲ掲ケサルハ強姦ノ罪已ニ重キヲ以テナリ
(三九九以下)

第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
本條ノ罪ハノ男女ノ双方ニ淫行ヲ勸誘シテ媒合セシムルハ勿論唯其一人而已テ勸誘シ他ノ十六歳以下ノ者ト媒合セシメタル者ニ適用ス蓋

シ十二歳以上十六歳以下ノ男女ハ智識未タ充分ナラサルヲ以テ
事物ノ利害ヲ辨別スルヲ能ハス亦其情慾モ未タ薄キ者トス然ル
ニ他人其中間ニ立チ淫事ヲ鼓舞シテ媒合スルハ其風俗ヲ濫ルヤ
甚タシキ者トス故ニ其媒合者ハ利ヲ謀ルト否トヲ論セス皆本條
ノ刑ニ (四二五、ノ一〇)
處ス

第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上

二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ 人ノ

タル者他人ト姦通シタルハ本條ノ刑ニ處ス其姦夫モ亦同刑ニ
處ス然レモ其初メヨリ人ノ妻タルヲ全ク知ラサルハ姦夫ハ
其罪ヲ
論セス

此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但本夫先

ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ告訴ノ效ナシ 姦通ノ罪ハ本
夫アルヲ以テ

成立シ殊ニ夫ノ名譽ニ關スルモノナレハ夫ノ告訴アルニ非サレ
ハ其罪ヲ論セス假令親屬ト雖モ爲メニ告訴スルヲ得ス但本夫其
妻ノ姦通ヲ聽許シ又ハ利ヲ謀ルカ爲メニ其濫行ヲ誘フ等ノ事
アルハ本夫ヨリ婦ノ姦通ヲ告ルモ之ヲ受理セサル者トス
(三一)

第三百五十四條 配偶者アル者重子テ婚姻ヲ爲シタ

ル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 重婚トハ男女既ニ本夫本妻ア

テ用ヒ婚姻ヲ爲シタル者ヲ云フ此重婚ハ夫婦ノ正義ニ戻ル而已
ナラズ社會ノ風俗ヲ濫ルヲ以テ之ヲ犯ス者ハ本條ノ刑ニ處ス但
後ニ爲シタル婚姻ハ自ラ
其效力ヲ失フニ至ル可シ

第十二節 至第三百一十一條 誣告及ヒ誹毀ノ罪 誣告トハ他人
ノ無實ノ罪ヲ

構造シテ告訴若クハ告發スル者ヲ云フ故ニ有實或ハ過失ニ出ル者ハ本節ノ問フ所ニ非ス誹毀ハ名譽ヲ害ス可キ事ヲ摘發公布スルモノヲ云フ

第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者

ハ第二百二十條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ怨恨嫉忌及ヒ利慾ヨリ無實ヲ知テ有實ト爲シ輕事ヲ誣ヒテ重事ト爲シ故カテ人ヲ官ニ誣告シ其罪ニ陷ラ

シメントスルモノニシテ嚮ノ偽證ヲ陳テ人ヲ誣ルト其意異ナルヲナシ故ニ第二百二十條ノ例ニ照シ其重罪輕罪違警罪ヲ分ツテ

處分ス然レモ彼レハ官ニ對スル罪ナレハ第二編ニ在リ此レハ人民相互ノ間ニ起ルノ罪ナレハ將テ第三編ニ掲クルモノトス

第三百五十六條 誣告ヲ爲スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ本刑ヲ免

ス人ヲ誣告シテ官求テ其被害人ヲ推問セサル前ニ在リ過ヲ悔ヒ非テ悟リ自首スルハ損害未ク被害者ニ蒙ラサレハ其罪ヲ全免シ以テ改良自新ノ道ヲ發シ若シ一タヒニテモ推問スレハ只總則ノ自首例ニ據リ其罪ヲ輕減スル而已 (八五八八)

第三百五十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百二十一條第二百二十二條ニ記載シタル例ニ照シテ處斷ス

本條ハ別ニ註解ヲ爲サス宜 (三六三)

第三百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

本條以下ハ誹毀ノ罪ヲ云フ人ノ惡事醜行ヲ摘發シテ社會ニ公布スルモノ之ヲ誹毀ノ罪トス蓋シ人ノ名譽ヲ殘害スルハ誹毀者ノ權ニ屬セス故ニ事實ノ有無ヲ問ハスシテ之ヲ罰ス然レモ誹毀ノ大小ニ因リ名譽ヲ損害スルノ差異アレハ左ノ區別ニ從テ處斷ス (三六三、四二六、四二七)

本條以下ハ誹毀ノ罪ヲ云フ人ノ惡事醜行ヲ摘發シテ社會ニ公布スルモノ之ヲ誹毀ノ罪トス蓋シ人ノ名譽ヲ殘害スルハ誹毀者ノ權ニ屬セス故ニ事實ノ有無ヲ問ハスシテ之ヲ罰ス然レモ誹毀ノ大小ニ因リ名譽ヲ損害スルノ差異アレハ左ノ區別ニ從テ處斷ス (三六三、四二六、四二七)

第三百五十九條 誹毀ノ罪ニ處テ復讐シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

本條以下ハ誹毀ノ罪ヲ云フ人ノ惡事醜行ヲ摘發シテ社會ニ公布スルモノ之ヲ誹毀ノ罪トス蓋シ人ノ名譽ヲ殘害スルハ誹毀者ノ權ニ屬セス故ニ事實ノ有無ヲ問ハスシテ之ヲ罰ス然レモ誹毀ノ大小ニ因リ名譽ヲ損害スルノ差異アレハ左ノ區別ニ從テ處斷ス (三六三、四二六、四二七)

第三百六十條 誹毀ノ罪ニ處テ復讐シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

本條以下ハ誹毀ノ罪ヲ云フ人ノ惡事醜行ヲ摘發シテ社會ニ公布スルモノ之ヲ誹毀ノ罪トス蓋シ人ノ名譽ヲ殘害スルハ誹毀者ノ權ニ屬セス故ニ事實ノ有無ヲ問ハスシテ之ヲ罰ス然レモ誹毀ノ大小ニ因リ名譽ヲ損害スルノ差異アレハ左ノ區別ニ從テ處斷ス (三六三、四二六、四二七)

第三百六十一條 誹毀ノ罪ニ處テ復讐シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

本條以下ハ誹毀ノ罪ヲ云フ人ノ惡事醜行ヲ摘發シテ社會ニ公布スルモノ之ヲ誹毀ノ罪トス蓋シ人ノ名譽ヲ殘害スルハ誹毀者ノ權ニ屬セス故ニ事實ノ有無ヲ問ハスシテ之ヲ罰ス然レモ誹毀ノ大小ニ因リ名譽ヲ損害スルノ差異アレハ左ノ區別ニ從テ處斷ス (三六三、四二六、四二七)

第三百六十二條 誹毀ノ罪ニ處テ復讐シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

本條以下ハ誹毀ノ罪ヲ云フ人ノ惡事醜行ヲ摘發シテ社會ニ公布スルモノ之ヲ誹毀ノ罪トス蓋シ人ノ名譽ヲ殘害スルハ誹毀者ノ權ニ屬セス故ニ事實ノ有無ヲ問ハスシテ之ヲ罰ス然レモ誹毀ノ大小ニ因リ名譽ヲ損害スルノ差異アレハ左ノ區別ニ從テ處斷ス (三六三、四二六、四二七)

一公然ノ演説ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本項ハ衆人ノ目前ニ於テ公ケニ演説ヲ爲シ人ヲ誹謗譏毀シタルノ罪ヲ云フ故ニ若シ公衆ノ目前ニ非シテ人ヲ誹毀スルモ本項ノ問フ所ニ非ス蓋シ言語ヲ以テ人ヲ誹毀スルハ其名譽ヲ害スルニ足ル可シト雖モ其書類圖書等ノ如ク跡ヲ永グ社會ニ遺サ、レハ後項ノ刑ヨリ較ヤ輕シ

二書類圖書ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作爲シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

人ノ魂書ニ筆シ圖書ニ描キ或ハ劇場ニ演シ偶像ニ刻シ將テ誹毀スルモノハ殊ニ傳播スルヲ廣ク又永ク痕跡ヲ世上ニ止メ感觸ヲ腦

裏ニ銘セシムル等其害前項ノ比ニ非ス故ニ其刑ヲ重クス

第二百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔ニ出タルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヲ得ス

死者ヲ誹毀スルノ罪ハ生者ノ如ク事實ノ有無ヲ問ハサルニ於テハ幾ント史家筆ヲ絶スルニ至ラソ則チ舊記ヲ錄シ前人ノ是非善惡ヲ褒貶スルハ史家ノ任ニシテ亦勸懲ノ一端ナリ故ニ死者ヲ誹毀スルハ故ヤヲニ無根ノ事由ヲ構成シテ誹毀シタル者ニアラサレハ罰

第三百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代言人辯護人代書人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓

以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出テ
 受ケテ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス職ニ因テ人
ノ陰私ヲ知
ルモ義トシテ他人ニ漏告ス可カラサルモノトス故ニ假令証人ト
シテ法廷ニ喚問セラレ、モ事實ノ陳述ヲ辭スルコトヲ許ス然ルヲ
好シテ之ヲ漏泄スルハ其害亦前二條ト異ナルヲ無シ故ニ誹毀ヲ
以テ論シ本條ノ刑ニ處ス但裁判所ヨリ命テ受ケ之ヲ陳述スルハ
固ヨリ誹毀ニアラスシテ却テ社會ノ爲メ (治一八三ノ三)
ニスルモノナレハ科罰ノ限ニ非サルナリ

第三百六十一條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害
 者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス 本節ノ
罪科ハ

皆名譽ニ關スルモノナレハ他人之ヲ告訴スルモ被害者ノ利ナル
カ又ハ却テ害ナルカハ獨リ被害者ノ判別如何ニ在テ他ヨリ之カ
推測シ得可キモノニアラス故ニ (二一四、二一五)
他人ノ告訴ヲ爲スコトヲ許サス

第十二節 至第三百
六十五條 祖父母父母ニ對スル罪 子孫ノ
其祖父

母父母ニ於ケル人倫上之ノヨリ尊重ナルハ無シ故ニ苟モ
之ヲ犯スアラハ倫理ヲ紊リ道義ヲ害スル殊ニ甚シケレハ
特ニ此節ヲ設ケ總テ
凡人ノ刑ヨリ重クス

第三百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタ
 ル者ハ死刑ニ處ス 祖父母父母子孫ハ總則第百十五條ニ記載
シタル者ヲ云フ子孫其祖父母父母ヲ謀殺

故殺スル者ニ至テハ其大逆無道ナル實ニ焉ヨリ重キハ無シ故ニ
死刑ニ處スルモ尙水輕キニ似タリト雖モ凡ソ刑罰ノ重キモ死刑
ノ上ニ出ルモノナシ故ニ止ムヲ得スシテ刑ヲ茲ニ止ム然レモ故
殺ノ刑ハ通常無期徒刑ニ處ス可キモ本條ニ於テハ特ニ其刑ヲ重
クシ以テ死 (二九二以下)
刑ニ處ス

其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ 子
孫

若シ祖父母父母ニ對シ第五節ニ掲ケタル自殺 (三二〇以下)ニ關スル罪ヲ犯セハ常人ノ刑ニ二等ヲ加フ

第三百六十三條 子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪其他監禁脅迫遺棄誣告誹毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ但癡疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス 子孫其祖父母父母ニ對シ本條說シ所ノ罪ヲ犯ス者ハ仍ホ前條ノ後項ト同ク二等ヲ加フ然レモ爲メニ癡篤疾ニ致シタル者ハ其罪殊ニ重ケレハ實際上三等四等ノ重キヲ加ヘテ罰スルコト本條定ムル所ノ如シ (二九九以下 三二三以下 三三六以下 三三六以下 三五五以下 三五八)

第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供

給セス其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ 子孫ノ其祖父母父母ニ對シ奉養ス可キハ子孫タル者當然ノ職分ナリ然ルチ衣食ヲ供給セス其他居所藥用等其身体ヲ保養ス可キ必用ノ事ヲ欠クハ不孝ノ罪追ル可カラズ故ニ之ヲ罰ス且前項ノ奉養ヲ欠キタルニ因リ疾病或ハ死ニ致シタル者ハ前條ノ例ニ從テ處斷ス

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ不論罪ノ例ヲ用フルコトヲ得ス但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ在ラス 特別ノ宥恕及ヒ不論罪トハ第三百九條以

下ニ定ムル所ノモノヲ云フ蓋シ茲ニ此例ヲ用ヒルヲ許サ、ル所
以ハ子孫タル者其祖父母父母ヨリ如何ナル暴行ヲ受テ假令其生
命ノ危険ニ係ル時ト雖モ之レニ對シ殺傷スルカ如キハ子孫ノ敢
テ爲シ得可キ所ニ非サルヲ以テナリ但其罪ヲ犯シタル時常人ヨ
リ暴行ヲ受クルト思ヒ誤リ之ヲ殺傷セテ後始メテ其祖父母父母
タルヲ知ルカ如キハ特別ノ宥恕及ヒ不諭罪ヲ用フルヲ得
(七五)

第二章

自第三百六十六條
至第四百二十四條

財產ニ對スル罪

財產ニ對スル罪
トハ官物私物ヲ

問ハス種々ノ手段ヲ以テ他ノ財產ニ對シ損害ヲ與フルノ罪
ヲ云フ其罪ノ種別分テ十節トス第一竊盜ノ罪第二強盜ノ罪
第三遺失物埋藏物ニ關スル罪第四家資分散ニ關スル罪第五
詐欺取財及ヒ受寄財物ニ關スル罪第六贓物ニ關スル罪第七
放火失火ノ罪第八決水ノ罪第九船舶ヲ覆没スル罪第十
家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪是ナリ

第一節

至第三百
七十七條

竊盜ノ罪

竊盜ノ罪ハ左ノ數件相合シ
テ成立スル者ト第一物件

所有主ノ許諾ヲ得ス之ヲ取ルコト第二強暴ヲ用ヒス竊カニ
之ヲ取ルコト第三竊取ノ時己レノ所有ト爲サント欲シ又ハ
他人ニ與ヘント欲スルノ惡意アルコト
第四其物件ノ他人ニ屬スルコト是ナリ

第三百六十六條

人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜
ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス 所有

物トハ所謂大祀神御物官有物及ヒ家長ノ財物其他一切他人ノ所
有ニ係ル物件ヲ云フ竊取トハ日ノ出沒ヲ別ニス家ノ内外ヲ問ハ
ス暴行ヲ用ヒス竊カニ物件ヲ取ルヲ云
フ蓋シ拘摸ノ如キ又此中ニ包括セリ

第三百六十七條

水火震災其他ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ
犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス 本

ヨリ第三百七十條マテハ其竊盜スル手段ニ因リ其罪ヲ重クス可
キ原因ヲ記ス乃チ此條ニ云フ所ハ他人洪水火難離船等ノ騒亂災

厄ニ遭ヒ拒防シ難キ危急ノ困難ヲ奇貨トシ其機ニ乘シ財物ヲ竊取スルノ場合ヲ云フ是等ハ其情甚タ惡ム可キモノナレハ通常ノ竊盜罪ヨリ其刑ヲ重クス

第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰

ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條

ニ同シ 本條ハ竊盜ノ意甚ク固フシテ夫ノ物品ニ觸レ忽然盜心

ヲ生シタル尋常ノ竊盜ニ比スレハ社會ノ損害一層ヲ加フルモノナリ故ニ前條ト其刑ヲ同フス但シ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ遂ケタル後門戶牆壁ヲ踰越損壞シタルハ逃走ヲ容易ナラシムルノ方法ナレハ本條ヲ以テ論スルノ限ニアラス

第三百六十九條 二人以上共ニ前二條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

前三條ノ罪ハ一人ニテ犯シタル時ヲ云フ若シ數人相合シテ罪ヲ犯スハ其

罪犯シ易シテ之ヲ防クニ (一〇七、三七九)

難クシ故ニ其刑ヲ重クス

第三百七十條 兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅

ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス 人ノ住居セ

アラステ人ノ住居シタル家屋及ヒ船舶ニ入り竊盜スルニ人ヲ殺スニ足ル可キ兇器ヲ携帯スルハ假令殺意ナキモ人ヲ恐懼セシムルヲ前數條ノ比ニ非ス故ニ之ヲ重罪トシ兇器ヲ持セサル強盜ト同ク輕懲役ニ處ス (三七八、三七九)

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他

人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

本條以下ハ竊盜ノ所爲ノ變シタル者及ヒ稍ヤ其情ノ輕キ者ヲ掲ク本條ノ意ハ自己ノ所有物ト雖モ之ヲ質物トシテ他人ニ渡シ又ハ故アリテ官署ヨリ他

人ヲシテ看守セシメタル物件ハ其ノ所有權未ダ己レテ離レヌト雖モ其典物及ヒ看守ニ關スルノ間ハ濫リニ其權ヲ行フヲ得サルモノナルヲ以テ之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ト異トルヲ無キモノトス故ニ前數條ニ記載シタル區別ニ從テ處斷ス
(二七五、一七六)

第二百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ

竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

田野ニ於テ生熟スル菜菓ヲ採食スルハ違警罪第四百二十九條第十六項ノ間ヲ所ナリト雖モ田野ニ生産スル穀類菜菓等ヲ盜ミ去ルハ則チ竊盜ナリ然レモ閉鎖ヲ開テ家屋ニ入り盜メル者ニ比スレハ其情恕ス可キアリ故ニ其刑ヲ輕クス若シ已ニ竊取リテ他所ニ貯積シタル時ハ則チ尋常ノ財物ト同視スルモノナレハ本條ヲ適用セス

第二百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ

竊取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ

營業ニ關スル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ

山林ニ於テ竹木及ヒ金銀銅鐵石炭灰其他ノ礦物又ハ菓實菌茸等ノ產物ヲ竊取シ川澤池沼湖海ニ於テ他人ノ生養シタル物若クハ營業ノ爲メ培養シタル慈姑蓮根牡蠣海苔魚鳥ノ類ヲ竊取シタル者ハ田野ニ於テ犯シタルト異ナルヲ無ケレハ亦前條ト其刑ヲ同ス

第二百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

牧場ニ於テ牛馬羊豚等ノ獸類ヲ竊取シタルハ田野山林ニ於テ菜菓竹木等ヲ竊取スルモノニ比スレハ其情稍ヤ重シ故ニ其刑ヲ重クス若シ前條及ヒ本條ノ物件他人ノ邸園内ヨリ竊取シタルハ通常ノ竊盜ヲ以テ論ス可キナリ

第二百七十五條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サント

シテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス
本節ノ罪ハ人ノ貴重ナル財産ヲ竊取スルニアレハ輕罪ノ未遂犯ト雖モ未遂犯罪例ニ照シ已遂ノ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減シテ處斷ス (一一三)

第二百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ

刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス竊盜

ヲ爲スノ輩ハ情狀極メテ卑劣ニシテ其性質甚ダ (三八) 惡シキ者ナレハ主刑滿限ノ後仍ホ監視ニ付ス

第二百七十七條 祖父母父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ

竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス 本條云フ所ノ親屬ハ總則ニ掲ケタル普通例ノ

親屬ニ非ス特ニ愛ニ明記シタル者而已チ專指ス蓋シ總則第百十五條ニ記載シタル高曾祖父母云々ノ各包括シタル親屬ハ同ク茲ニ包含スルモノトス但配偶者ハ子孫ノ配偶者ヲ云フ同居ノ兄弟姊妹トハ現ニ別居セサルモノヲ云フ以上ノ親屬ハ固ヨリ苦樂相共ニシ貧富相同クスル者ニシテ彼ノ第百十四條ニ定ムル親屬中ノ最モ相親キモノトス故ニ或ハ財物ヲ竊取スルモ盜ヲ以テ論セス止タ物品ヲ返還シ損失ヲ償ハシムル而已然レモ強盜ヲ犯スルハ恩義全ク廢スルヲ以テ通常ノ強盜ヲ以テ論セサルヲ得ス若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分ケタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス 他人親屬ト共犯スルモ財ヲ分ケサレハ罪無シ若シ贓物ヲ分ツ者ハ竊盜ヲ以テ論シ二人以上共犯ナレハ第三百六十九條ニ照シ加等ス可キ者トス但シ親屬相盜ノ財物ヲ收受寄藏故買スルハ固ヨリ其罪ヲ論セズ

第二節 至第三百 強盜ノ罪 強盜ノ竊盜ト異ナル所ハ唯暴行脅迫ヲ以テ盜ヲ行フニ

在リ其他ノ點ハ總テ竊盜ニ同シ竊盜ハ其所行財產而已ニ止マルト雖モ強盜ハ時トシテ身體ニ危險ヲ生スルコトアルハ其罪狀盜罪中ノ最モ重キ者トス

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物

ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス傷毆打放火毀壞等ノ口實ヲ以テ脅迫シ又ハ種々ノ暴行ヲ加ヘ財ヲ強取スル者ハ其害身體ト財產トニ及ホスヲ以テ之ヲ強盜ノ罪トシ輕懲役ニ處シ仍ホ他ノ情狀アルモノハ次條ニ從テ加等ス

第三百七十九條 強盜左ニ記載シタル情狀アル者ハ

- 一個毎ニ一等ヲ加フ
- 一二人以上共ニ犯シタル時

二兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

本條ヨリ第三百八十一條マテハ其所業ニ因リ罪ノ重キニ處ス可キモノヲ記載ス則チ本條第一項ノ如キ總テ二人以上力ヲ共ニシ之ヲ犯スルハ其犯罪遂ケ易クシテ事主之ヲ防クニ難シ故ニ刑一等ヲ加ヘ重懲役ニ處ス又兇器ヲ携帯スルルハ之ヲ用ヒスト雖モ事主ノ恐駭深ク且之ヲ防ク難クハ亦同ク一等ヲ加フ若シ二人以上共犯シテ兇器ヲ携帯スルルハ(三六九、三七〇)ニ箇ノ情狀アルヲ以テ二等ヲ加ヘ有期徒刑ニ處ス

第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處

シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス強盜ヲ行フ爲メ人ヲ傷ト傷ノ輕重ト犯人ノ多少ヲ問ハス直チニ無期徒刑ニ處ス又爲メ二人ヲ死ニ致シタル者ハ殺意ノ有無ヲ分タス死刑ニ處ス然レモ二人共ニ強盜ヲ爲シ其一人ハ全ク人ヲ殺傷スルコトヲ知ラサル者キハ現ニ殺傷シタル犯人ヲ本條ノ刑ニ處シ殺傷ニ與カラサル者ハ止メ強盜罪ヲ科ス

第三百八十一條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

強盜ヲ犯スノ場ニ於テ婦女ヲ強姦シタル者ハ強姦ノ已遂未遂ヲ問ハズ財物ヲ得ルト得サルトテ論セズ之ヲ無期徒刑ニ處ス (三七八)

刑ニ處ス

第三百八十二條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲メ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

初メ竊盜ヲ爲シ事主ニ覺知セラレ其財ヲ取戻サントスル時之ヲ防カンカ爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ已ニ變シテ強盜ノ所業ニ販スルヲ以テ則チ前數條ニ記載シタル強盜ノ例ニ照シテ處分ス

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシメ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

人ヲ醉迷セシムルハ即チ神心ヲ牽束スルニ同クシテ其物ヲ取ルハ竊ナリト雖モ其心塞トニ強ナリ故ニ強盜ト同ク輕懲役ニ處ス (三四八、二)

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

此節ニ記載シタル罪ハ皆重罪ナルヲ以テ監視ニ付ス可キハ勿論ナレモ若シ輕減シテ輕罪ノ刑ニ降ルモ主刑滿限ノ後仍ホ監視ニ付テ盜罪ハ其性質固ヨリ甚タ惡シキモノナレハ竊盜ト雖モ則チ監視ニ付ス況テ強盜ナレハ監視ニ付スルハ當然ト (三八)

云フ可シ

第三節 遺失物理藏物ニ關スル罪 遺失物 漂流物

埋藏物ハ其所有ノ何人ニ屬スルヤチ知ラサレハ之ヲ得テ隱匿スルハ他人ノ物件ヲ盜ムニ等シト雖モ其性質ヲ推ス

時ハ所有主ノ有無ニ關セス唯自己ノ所有ニ非サル物ヲ取
ルノ所爲ナレハ其情稍恕ス可キモノアリ故ニ直チニ盜罪
ト爲サス別ニ本節ヲ設
ケテ其罪ノ處分ヲ示ス

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿

シ所有主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十

一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二

十圓以下ノ罰金ニ處ス 此種ノ物品ニハ各規則アリテ其規

則ニ遵ハサルヲ得ス而シテ其規則
ニ遵フキハ謝禮ヲ收受シ或ハ所有主ノ知レサルキハ拾ヒ得タル
物品ヲ給セタルノ處分アリト雖モ一旦本條ノ罪ヲ犯シタル者ハ
之ニ與カルヲ得ス則チ所有主アレハ
還給シ所有主知レサルキハ全ク官沒ス

第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品

ヲ掘得テ隱匿シタル者ハ亦前條ニ同シ 他人ノ所有地
内ニ於テ埋藏

物ヲ掘得ルモ亦規則アリ
仍ホ前條ト異ナルヲ無シ

第三百八十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者

第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ

論セス 第三百七十七條ニ掲ケタルノ親屬ハ其財物ヲ盜取シタ
ルモ之ヲ罪トセス況テ此種ノ物品ヲ隱匿スルヲ罪トセ

サルハ勿論ナリ但唯其物品ヲ所有主
ニ返還セシムルハ民事ノ所分ニ止ム

第四節 至第三百
八十九條 家資分散ニ關スル罪 本節ハ負債
ノ爲メ身代

限リノ處分ヲ受ケタル者債主ニ屬ス可キ財
産ヲ詐僞ノ所業ヲ以テ渡サ、ルノ罪ヲ云フ

第三百八十八條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ

又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス 已ニ裁判所ヨリ負債償却ノ爲メ家資分散ヲ命セラレ其幾分ヲ債主ニ償ハシムルニ方リ債主ニ償還ス可キ物件ヲ隱匿シ其他種々ノ詐偽ヲ以テ其財物ヲ債主ニ渡サ、ル者ハ其情狀詐偽取財ニ等シ故ニ本條ノ罪ヲ犯ス者ハ詐偽取財ト同刑ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シ

タル者ハ一等ヲ減ス 前項ノ情ヲ知テ偽債主ト成リテ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其契約ノ媒介

ヲ爲シタル者ハ即チ偽債主ヲ幫助シテ惡ヲ爲ス者ナレハ從犯ト看做シ一等ヲ減シテ處分ス但本節ハ素ト債主ヲ保護スル爲メニ設ケタルモノナレハ罰金ヲ附加セス其所以ハ家資分散ノ一點ヨリ之ヲ看ルモ其意義自ラ明瞭タリ

第三百八十九條 家資分散ノ際牒簿ノ類ヲ藏匿毀棄

シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上

二年以下ノ重禁錮ニ處ス 本條ハ前條ノ詐偽ニ比スレハ其情稍ヤ輕シ乃チ家資分散ニ際シ

賣買牒簿計算簿ノ類ヲ藏匿シ又ハ毀棄シテ其計算ヲ曖昧ナラシメタル者又分散ノ裁判言渡アリシ後自己ノ便利其他ノ情ヨリ債主ノ一人又ハ數人ニ而已財產ヲ私償シテ自余ノ債主ニ損害ヲ與ヘタル者ハ本條ノ刑ニ處ス但前條ノ如ク詐偽ヲ實行シテ現ニ利スル者ト一様視大可カラサルヲ以テ其刑ヲ輕クス

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ

關スル罪 詐偽取財ノ手段ハ其姦計種々アリト雖モ其要領ハ欺罔スルト恐喝スルトノ二種ヲ出テ

ス欺罔トハ例ヘハ身分ヲ詐リ名前ヲ偽リ若クハ故サラニ事實ヲ據ヘ其他詐偽ノ方略ヲ設ケ人ヲ迷誤セシムルヲ云

ヒ恐喝トハ虚事ヲ構ヘ畏懼ノ念ヲ生ヒシムコト例ハ他人
ニ對シ其物件ヲ我ニ預ケサレハ必ス何々ノ禍ニ遭フコト
ラント無根ノ説ヲ唱フルノ類ヲ云フ受寄ノ財物トハ官署
又ハ他人ヨリ寄托シタル財物ヲ擅ニ費消シ又ハ藏匿スル
モノヲ
云フ

第三百九十條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物若クハ
證書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト爲シ二月
以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下
ノ罰金ヲ附加ス

因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ
偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス 欺罔及ヒ恐喝
ノ義ハ本條ノ
下ニ於テ已ニ述フルカ如シ財產トハ動産不動産等ノ財物ヲ云ヒ
則チ公債證書爲替手形等ノ類モ包括ス又證書類トハ讓渡證書拂

濟証書負債取却証書借用証書ノ類ヲ云フ蓋シ之ヲ騙取シタル者
ハ其所爲竊盜ニ同シカラスト雖モ其情甚タ相近シ故ニ本條ノ竊
盜ニ等シキ刑期ヲ定ム若シ前項ノ罪ヲ犯スニ因リ官私ノ文書ヲ
偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ本條ノ刑ヲ以テ偽造ノ各本條ニ
照シ其一ノ重キ (三〇三)
ニ從テ處分ス

第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂
シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメ

タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス 本條ノ幼者ハ二十歳未滿
ノ者ヲ云ヒ精神錯亂ハ瘋
癪痴呆等ニテ是非ノ辨別ナキ者ヲ云フ此知慮淺薄ナル幼者ト精
神錯亂シテ是非ノ辨別ナキ者ヲ寄貨トシテ此罪ヲ犯シタル者ハ
其所爲前條ノ如キ欺罔恐喝ニ出スト雖モ其實
詐僞取財ニ異ナルヲ無シ故ニ本條ノ刑ニ處ス

第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ

其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者

ハ詐欺取財ヲ以テ論ス 物件ヲ販賣シ又ハ物件ト物件トヲ交換スルニ當リ例ヘハ鍍金ヲ真金

トシテ眞假ヲ銜惑シ又ハ偽尺偽秤ヲ以テ物品ノ分量ヲ偽リ人ニ交付シタル者ハ亦詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣

交換シ又ハ抵當典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以

テ論ス 他人ノ所有物ヲ冒シ擅ニ自己ノ所有物ト做シ他ヘ販賣

交換シ或ハ負債ノ抵當ト爲シ典物ト爲ス如キハ別人ヲ欺罔シテ財ヲ取ル者ナレハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己ノ不動産ト雖モ己ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺

隠シテ他人ニ賣與シ又ハ重子テ抵當典物ト爲シタ

ル者亦同シ 自己所有ノ不動産即チ家屋田畑山林等ノ類ト雖モ一旦他人ニ抵當典物ニ入レタル上ハ擅ニ之ヲ他ニ

抵當トシ又ハ賣却スルヲ能ハス然ルヲ秘シテ更ニ他ニ賣却シ或ハ二重ニ抵當典物ト爲シタル者ハ其罪亦前項ト同シ茲ニ動産ヲ

記セサルハ動産ハ債主ノ手ニ領置スルヲ以テ二重ニ賣賣スルヲ得サルカ故ナリ若シ債主之ヲ領置セスシテ此難ニ遭ハ、是自己

ノ不注意ノ致ス所ナレハ本條ノ問フ所ニ非ス又區戸長二重書入質入ノ情ヲ知ラ與印ヲ爲セハ共犯タルハ勿論ナリト雖モ過テ與

印ヲ爲ス片ハ其罪ヲ論セス止マ損害ノ賠償ヲ免レサル而已

第三百九十四條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル

者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス 第三百九十條以下ノ刑ハ輕罪ナ

リト雖モ再犯ヲ防止セン (三八)カ爲メ仍ホ監視ニ付ス

第三百九十五條 受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委

託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮 處ス若シ騙取拐帶其他詐欺ノ所爲アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス 此種ノ罪ハ他人ヲ騙ラスシテ他人ノ信用ヲ以テ寄托サレシ金額物件ヲ費消シタルモノナレハ其罪自ラ輕シ然レ其所爲騙取拐帶或ハ詐欺ニ涉ルコトアレハ假令受寄財物ト雖モ 詐僞取財ヲ以テ論ス可シ

第三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際此罪ヲ犯シタル者ハ第三百八十八條ノ例ニ照シテ處斷ス 行政司法

ノ別ナク租稅息納或ハ負債償却其他ノ事故ニ因リ我家財ヲ差押ヘラル、キハ既ニ其所有權ヲ失フモノナレハ擅ニ之ヲ左右スルヲ得ス然ルニ若シ其物件ノ多少ヲ藏匿シ又ハ交換費消脱漏等ヲ爲ス者ハ本條ノ刑ニ處ス但家資分散ノ場合ニ於テ藏匿脱漏シタル者ハ第三百八十八 (三七二、一七四) 條ニ照シテ處分ス

第三百九十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス 詐僞取財及ヒ受寄財物ニ關スル罪ハ竊盜ト其形跡相異ナレモ其情狀稍ヤ同シキ者ナレハ再犯ヲ防カン爲メ輕罪ノ未遂犯罪ト雖モ仍ホ例ニ照 (二一三) シテ之ヲ罰ス

第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者 第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ

論セス 第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セサルノ意義ハ既ニ該條ノ下ニ記スル如シ

第六節 贓物ニ關スル罪

至第四條 贓物トハ強竊盜詐欺取財賄賂又ハ得遺失

物ヲ隱匿シ若クハ家資分散ノ際藏匿脱漏シタル物ヲ云フ是等ハ皆罪アル物件ニシテ爲メニ犯人ヲ罰シタルニアレハ之ヲ受寄故買及ヒ牙保即チ口入或ハ受合テ爲シタル者ハ間接ニ犯罪ヲ助ケル者トス然レモ之ヲ從犯トシテ罰スルハ聊カ穩當チ欠クモノナレハ別ニ此節ヲ設ケタルナリ

第三百九十九條 強竊盜ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ受

ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

強竊盜ノ其罪跡掩蔽シテ犯罪ニ因テ得タル物件ヲ陰ニ典賣スル等幾許ノ便利ヲ得ルハ

多ク本條ノ犯者アルニ由ル故ニ自己ノ利ヲ謀ルト否トヲ問ハズ本條ノ刑ニ處ス

第四百條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以

下ノ監視ニ付ス 前條ノ罪ハ其性質甚ダ惡シキ者ナレハ再犯ヲ防カンカ爲メ主刑滿限ノ後仍ホ監視ニ付

スルハ亦 (三八) 當然ナリ

第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナ

ルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ

二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 詐欺取財其他賄賂隱匿シタル遺

失物又ハ家資分散ノ際藏匿脱漏シタル財産又ハ偽造ニ用ヒタル器械等ナルヲ知テ本條ノ所爲ヲナスハ亦之ヲ罰セサルヲ得ス

然レモ強竊盜ノ贓物ノ取捌キヲ爲シタル者ニ比
スレハ其情稍輕キニ屬ス故ニ亦其刑ヲ輕クス

第七節 放火失火ノ罪

至第四
百十條

放火ハ故意ヲ以テ火ヲ
放ツ者ヲ云ヒ失火ハ過

誤ニテ火ヲ失スル者ヲ云フ火災ハ傍ラ身體生命ニ危害ヲ
加フルコトアリト雖モ主トシ其害ニ罹ルモノハ財產ナレハ
以テ本章ノ
節目トス

第四百二條

火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シ

タル者ハ死刑ニ處ス

本條ヨリ第四百八條マテハ放火ノ罪
ヲ示ス人ノ住居シタル家屋トハ官署

及ヒ神社佛閣其他人民ノ家屋ニシテ現在人ノ住居スルモノヲ云
フ學校說教所集會所又ハ劇場露店等ノ如キ晝間ハ人アリト雖モ
夜間ハ人ノ居ラサル時アリ或ハ夜間人アリト雖モ晝間人ノ居ラ
サル時アリ是等ハ其時間ニ於テ住居スルトセサルト分ツ故ニ
人ノ住居スル時ハ本條ニ依リ住居セサル時ハ次條ニ依ル然レモ
人ノ住居セサル家屋ナルモ若シ内ニ人アリ之ヲ知ラサレハ止

知テ故サラニ火ヲ放ツニ於テハ人ノ住居スル家屋ニ火ヲ放ツチ
以テ處分セサル可カラズ則チ法律ノ意ハ人ノ身軀ヲ危險ニ陷ラ
シムル者ヲ殊ニ重シト爲スニアルヲ以テナリ其燒燬トハ火焰既
ニ屋上ニ顯ハレ近隣警ヲ報スルヲ以テ適度ト爲ヌ未タ茲ニ至ラ
サルモハ未遂犯罪ヲ以テ論ス蓋シ人ノ住居スル家屋ヲ故サラニ
火ヲ放チ人ノ身軀ト財產トニ對シ害ヲ加フルヤ其情狀實ニ惡ム
可シ其害甚大ナリ故
ニ之ヲ死刑ニ處ス

第四百三條

火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建

造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

人ノ住居セサ
ル家屋トハ別

莊茶店ノ如キ平日人ノ住居セサル家屋ヲ云ヒ其他ノ建造物トハ
倉庫納屋ノ類ヲ云フ是等ノ場所ニ火ヲ放チタルハ固ヨリ財產ニ
對シ害ヲ加フルノ目的ニ在テ決シテ身軀生命ヲ危フスルノ意ア
ルニ非サレハ其情前條ヨリ輕シ若シ其内ニ意外ニ人アリ又ハ人
ノ住居シタル家屋ニ延燒スル等
ノコトアルモ仍ホ本條ヲ以テ論ス

第四百四條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル

屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス 人ノ住居スルヲ得サル廢壞ノ

家屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯蓄スル小屋ハ固ヨリ貨物ヲ入ル可キ所ニ非サレハ前條ニ比スレハ其情亦輕シ

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶汽車ヲ燒

燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其人ヲ乘載セサル船舶汽車ニ係ル時ハ重懲役ニ處

ス 本條ハ第四百二條以下ノ注釋ヲ以テ推考 (二六九ノ一、二六九ノ二) セハ其意瞭然タリ故ニ茲ニ解釋ヲ要セス

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露

積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ輕

懲役ニ處ス 本條ノ物件ハ皆山林原野及ヒ屋外ニ散在スルモノナレハ屋内ニ貯藏シタルモノニ比スレハ罪狀亦輕

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ

二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス 前條マテハ他人ノ所有物ヲ燒燬シタル罪

ナレハ皆重罪刑ニ處ス本條ハ自己所有ノ家屋ニ放火シタル罪ナルヲ以テ輕罪ノ刑ニ處ス但一旦人ニ貸與シタルハ自己ノ所有ニ係ルト雖モ之ニ放火スレハ他人ノ家屋ニ放火シタルト異ナルヲ無シ又自己ノ住居シタル家屋ナリトモ他人ノ所有ニ係ル者ハ亦同シ乃チ重罪刑ヲ以テ論ス可キ者トス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ

六月以上二年以下ノ監視ニ付ス 放火ハ前條ヲ除クノ外皆重罪ナレハ監視ニ付

ス可キハ言ヲ埃ダスト雖モ若シ輕減シテ輕罪ニ降ル片
モ仍ホ再犯ヲ防ガンカ爲メ之ヲ監視ニ付スル者トス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル

者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス 失火ハ畢竟不
注意ヨリ出ル

者ナレハ自己ノ家屋而已ニ止マレハ其罪ナシト雖モ若シ延及シ
テ他人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル片ハ其疎虞懈怠ノ罪ヲ罰セサル
ヲ得
ス

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣井蒸

氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ毀壞シタル者

ハ其故意ニ出ルト過失トヲ分チ放火失火ノ例ニ照

シテ處斷ス 本條ハ火氣激發ノ危險ヲ以テ人ノ家屋財産ヲ毀壞
シタルモノナレハ通常ノ毀壞ト同一視ス可カラズ

故ニ其罪ヲ重クシ本節ニ入ル、者トス其出ル所故意
ト過失トヲ分テ放火ト失火トノ例ニ照シテ處斷ス

第八節 至第四百
十四條 決水ノ罪 決水ハ故意ヲ以テ水害ヲ起
シタルヲ云フ決水ノ害タル

人ノ財産ヲ損害シ亦身軀生命ヲ危フ
スル等殆ト放火ト其結果ヲ同フス

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人

ノ住居シタル家屋ヲ漂失シタル者ハ無期徒刑ニ處

ス水閘ハ水ノ出入スルノ門ナリ堤防水閘ハ畢竟水害ヲ豫防シ水
利ヲ便ニスルカ爲メニ設クルモノニシテ其水利ノ宜キヲ得ル
片ハ極メテ民ヲ利シ其宜キヲ失フ片ハ民ヲ害スル甚クナリ因
テ水ヲ治ルハ堤防水閘ヲ以テ最モ緊要トス然ルニ水勢漲漫シタ
ルニ方リ故意ヲ以テ堤防ヲ決壞シ水閘ヲ毀壞スル片ハ其害ノ及
ブ所當ニ水利ト財産トニ止ラフ數多ノ人命ヲ危フス故ニ其損害
ヲ加フルノ目的ニ出ルト否トヲ問ハズ決水ノ爲メ人
ノ住居シタル家屋ヲ漂失シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂失シタル者ハ重懲役ニ處ス
人ノ住居セサル家屋其他ノ祠堂物置等ヲ漂失シタル者モ其罪重シト雖モ人ノ生命ヲ危フタルコトナキヲ以テ之ヲ重懲役ニ處ス

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス
本條ノ罪モ其害博シト

雖モ人ノ生命ヲ危フシ家屋ヲ漂失シタル者ニ比スレハ罪狀稍輕シ

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二

圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
本條ハ其情自己ノ利ヲ圖ルカ爲メ公衆ノ

爲メニ設ケタル堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シタル者ニシテ則チ他人灌漑ノ便益ヲ損害シ自己ノ田圃へ水利ヲ引キ其他水利ヲ壅塞シテ他人ノ水利ヲ妨害スルニ止マル者ナレハ前條ノ田圃等ヲ荒廢シタル者ニ比スレハ罪狀稍輕シ

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處斷ス
過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ過テ火ヲ失スル者トハ其事跡異ナルト雖

モ其情狀相同シキヲ以テ則チ失火ノ例ニ照シテ處分ス

第九節 船舶ヲ覆沒スル罪
船舶ヲ覆沒セシムルノ罪ハ第百

六十九條ニモ其明文アリト雖モ該條ハ船舶ノ往來ヲ妨害スルカ爲メ燈臺浮標等ヲ損壞シ因テ船舶ヲ覆沒シタルモノナレハ稍ヤ間接ニ屬ス本節ハ衝突其他ノ所爲ヲ以テ覆沒セシムルモノニテ其所爲直接ニ係ル但其害ニ至テハ異

ナルヲ無キヲ以テ其刑相等シ

第四百十五條 衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死刑ニ處ス但船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處ス 自己ノ所有ニ係ルト他人ノ有スル船舶ナルトナ問ハス人ヲ乘載シタルモノヲ故意ヲ以テ他船或ハ岩石ニ衝突セシメ若クハ器械ヲ破毀スル等種々ノ手段ヲ以テ之ヲ覆没シタル者ハ船中死亡アルハ死刑ニ處シ死亡ナキハ一等ヲ減ス (二六九)

第四百十六條 前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載セサル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス 前條ノ如ク故意ヲ以テ人ヲ載セサル船舶ヲ覆没スルモ其罪輕カラスト雖モ其害止マ財産上ニ係ル而已ニシテ人ノ生命ヲ危フセサレハ輕懲役ニ處ス但過テ火ヲ失シ過テ

水害ヲ起ス者ハ猶ホ不注意ノ罪ヲ罰スト雖モ海上ハ陸地ト同一視シ難キニ由リ過テ覆没スル者ハ其罪ヲ問ハス止マ賠償ヲ爲ス可キ而已若シ人ヲ死ニ致シタルハ過失殺傷ノ本條ニ依ル (二六九)

第十節 至第四百二十四條 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物

ヲ害スル罪 本節ハ官私ノ別ナク他人ノ所有ニ係ル家屋建築物及ヒ一切ノ器具ヲ毀壞シ又動植物ヲ戕害シタル處分ヲ示ス本節ノ罪ハ故意ヲ以テ爲スニ非サレハ成立セズ而シテ其輕重ハ放火決水ノ罪ニ於ケルカ如ク物件ノ種類ニ從テ其罪ヲ定ム

第四百十七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三編 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪 二百三十七

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

家屋及ヒ建造物トハ第四百二條第四百三條ノ下ニ記スルノ類ナレヒ人ノ住居スルト住居セサルトハ之ヲ別タス而シテ本條ノ罪ハ建造物ノ大小及ヒ損害ノ多少等其情狀甚ク相懸隔スルモノアルヲ以テ其刑モ亦最短期ト最長期トノ間範圍大ニ廣クシテ差等ヲ別ツチ便ス且第二項ハ前項ノ刑ヲ以テ第二百九十九條以下毆打創傷ノ各本條ニ照シ孰レカ一方ノ重ニ從テ處分ス

第四百十八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊圍牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ前條ノ家屋ニ屬スル箇所ヲ毀壞シタル罪ヲ云フ牆壁ハ門戶塀

牆等ノ一切ノ外圍ヲ云ヒ園池裝飾ハ燈籠垣籬石架橋ノ類又田圃ノ樊圍ハ竹木ヲ以テ柵ヲ作リ人畜ノ濫入ヲ防クモノ等ヲ云フ是等ヲ損毀スルノ罪ハ家屋ヲ毀壞スルニ比スレハ其罪甚ク輕シ故ニ本條記スル所ノ刑ニ於テノ如ク其情狀ヲ審案シ或ハ禁錮ノ刑ニ處シ又ハ單ニ罰金ノ刑ニ處スルモ裁判官ノ意見ニ一任ス

第四百十九條 人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

稼穡トハ穀麥ノ類ニシテ食用ニ供スルモノ竹木トハ竹叢樹木ニシテ建築ニ要用ナルモノ其他野菜菓實ノ類ヲ云フ是等ハ則チ日用必需ノ物件ナレハ其罪較輕カラズ故ニ之ヲ狼藉毀損スル者ハ本條ノ刑ニ處ス但禁錮罰金ノ内其一ヲ科スルノ義ハ既ニ前條ニ記スルカ如シ

第四百二十條 土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ

又ハ移轉シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ
處シ一圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 土地ノ經界
明瞭ナラサ
レハ民爭ヲ開クノ端トナル故ニ各其表識アリ然ルニ其表示シタ
ル標柱柵欄樹木等ヲ毀壞シ又ハ之ヲ一方ニ移轉セシメテ區域ヲ
錯亂シ或ハ一方ノ利ヲ謀ル
者ハ之ヲ罰セサルヲ得ス

第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一日

以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓

以下ノ罰金ニ處ス 本條ハ其解ヲ要セスシテ明カナリ又禁錮
罰金ノ内其一ヲ科スルノ義ハ第四百十八

條ノ下ニ記スルカ如シ但誤毀ニ係ル者ハ
其罪ヲ問ハス只賠償ニ止ムヤ勿論ナリ

第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上

六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス 牛馬ハ人ノ勞力ヲ助クル必要ノモノナレハ故意
ヲ以テ人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ本條ノ刑ニ處ス

第四百二十三條 前條ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺

シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被

害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス 以外ノ家畜トハ鶏犬羊豚
ノ類ナリ是等ハ牛馬ノ如

ク必用ノモノニ非サレハ其刑輕ク又被害
者ノ告訴アルニ非サレハ其罪ヲ論セス

第四百二十四條 人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀

棄滅盡シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處

シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 權利義務ニ關
スル證書類ト

ハ則チ契約ヲ表スルモノニシテ其種類百般アリト雖モ其要チ云ハ、則チ諸物品買賣約定書或ハ金穀土地家作ノ貸借約定書或ハ諸請負書委任狀其他手形預リ證書等ナリ權利義務トハ例ヘハ土地ヲ貸渡セハ貸主ニ於テ地代ヲ收受スルノ權アリ借主ハ地代ヲ拂フノ義務アリ又轉シテ云ハ、其地代ヲ拂フ以テ其土地ヲ使用スルノ權利アルカ如シ此權利義務ニ關スル証書類ヲ毀棄シ或ハ滅盡スルヤ其關係甚ク夥多ナル可シ故ニ其刑ノ範圍ヲ廣クシ其關係ノ大小ニ從テ各之ヲ處分スルヲ得セシム

第四編

凡テ

違警罪

違警罪ハ多クハ粗漏忌憚ニ因テ犯ス罪ニシテ最輕ノ刑ナリ此中目ヲ公益ニ關スル

罪及ヒ身軀財產ニ對スル罪ヲ包含スト雖モ其條款極メテ僅少ナレハ別ニ其種類ヲ分ツヲ要セス但違警罪ヲ實行スルニハ其土地ノ人情風俗ニ依テ別ニ適宜ニ條目ヲ定ムルヲ得可シ故ニ此編ニ於テハ一般ニ遵行ス可キ者ヲ掲ク其加減例再犯加重數罪俱發未遂犯罪等ハ重輕罪ト其處分ヲ異ニスルハ總則ニ就テ見ル可シ (七二、七三、八三、八九、以下九三、一〇二、一一三、四三〇)

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上

十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢

以下ノ料料ニ處ス

本條ハ違警罪中ノ最モ重キ罪トス則チ第一項ヨリ第十四項迄ニ記載シタル犯罪ハ

其性質各異ニスル所アリト雖モ皆本條ノ刑ニ處ス蓋シ之ヲ拘留ニ處スルカ又ハ料料ニ處スルカハ全ク裁判官ノ權内ニアリト

皆同

一規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ

市街ニ運搬シタル者

危險ノ物品ハ人家稠密ノ場所ニ於テハ極メテ注意セサル可カラズ故

ニ各嚴ニ其規則ヲ設ク但火藥運送規則ハ辛未十月ノ布達アリ

二規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又

ハ自ラ火ヲ發ス可キ物品ヲ貯藏シタル者

前項ノ如キ危

險ノ物品又ハ自ラ火ヲ發シ易キ石灰石炭油ノ類ヲ貯藏スルモ亦其規則アリテ之ヲ遵守セサル可カラズ但火藥線規則ハ九年九月ノ布 (四一〇) 告アリ

三官許ヲ得ズシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者

烟火ハ玩弄物ト雖モ火藥ヲ以テ製造スルモノナレハ之ヲ製造シ又ハ販賣スルニハ必ス官許ヲ得サル可カラズ

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩

ヒタル者

人家稠密ノ場所トハ人家ノ櫛比接近シタル地ヲ云フ此場所ニ於テ濫リニ本項ノ所爲ヲ爲スハ甚

タ危險ナリ但濫ノ字ニ就テ見ルルハ濫ニナサス最モ注意ヲ要シ僅カニ弄スル者ハ妨ケナキカ如シ

五蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除ス

ル規則ニ違背シタル者

本項ノ物品モ破裂又ハ失火ノ危険アリ故ニ建造修理及ヒ掃除等

ノ規則アリテ之ヲ遵守セサル可カラズ

六官署ノ督促ヲ受ケテ崩壞セントスル家屋牆壁ノ

修理ヲ爲サル者

家屋ヲ破壞スル片ハ崩壞シテ人ヲ傷害スルノ患アリ因テ其場所ノ模様ニ

依り危険アリト見做スモノハ警吏ノ注目スル所トナリ官署ヨリ修理ヲ督促スル者トス其督促ヲ受ケルハ必ス之ニ遵ハサルヲ得大

七官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者 死屍ヲ解剖スルハ醫業ト緊

要ノコナリト雖モ決シテ私ニ爲ス可キモノニ非ス何人ノ死屍ト雖モ必ス官ノ許可ヲ受ケサルヲ得ス

八自己ノ所有地内ニ死屍アルコトヲ知テ官署ニ申告

セス又ハ他所ニ移シタル者 自己ノ所有ニ屬スル地内ニ於テ他人ノ死屍アルハ

ハ必ス之ヲ官署ニ届出ツ可キ者トス若シ之ヲ届出テス又ハ其死屍ヲ他所へ移スルハ本條ノ罰アリ但埋葬ス可キ死屍ヲ醫藥シタル者ノ罪ハ第二 (二六四、以下)

百六十四條ニアリ

九人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者 人ヲ毆打シテ僅カニテモ創

傷疾病ニ至ラシメタル者ハ第三百一條ニ依ルト雖モ其毆打スル而已ニシテ未ダ毫モ創傷及ヒ疾病ニ至ラサル者ハ本條ノ罰ヲ所 (二九九、以下)

十密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ爲シタル者 娼妓

ノ鑑札ヲ受ケテ密ニ淫ヲ賣リ又ハ之カ媒合ヲ爲シ若シハ其宿所ヲ貸シ賣淫セシムル者ハ本條ノ罰アリ但十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ノ罪ハ第二百五十二條ニアリ

十一人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シタル者 晝間ト夜間ト

ヲ問ハス目的ノ如何ヲ論ヒス人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シタル者ハ本條ノ罰アリ但故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ看守者アル建物へ入りタル罪ハ第七十一條第百七十二條ニアリ

十二 定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナクシテ諸
方ニ徘徊スル者 定リタル住居モナク平生營生ノ産業モナ
ク諸方ニ徘徊スル者ハ即チ乞丐ニアラサ
レハ遊惰ノ民ナリ之ヲ罰セサルキハ風俗
ヲ害シ且國ノ經濟ノ爲ニモ甚ク害アリ

十三 官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者 死屍ヲ埋ムル

ノ墓地ハ豫テ官ヨリ之ヲ定メ置カル、ヲ以テ自己ノ所ニ六四有地ニ係ルト否トヲ問ハズ私ニ埋葬スル者ハ之ヲ罰ス

十四 違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者但

被告人偽證ノ爲メ刑ヲ免カレタル時ハ第二百十

九條ノ例ニ從フ 違警罪人ヲ曲庇シテ其罰ヲ免カレシメン爲メ偽証ヲ爲シタル者ハ罰スルニ本條ノ

刑ヲ以テス若シ爲メニ犯人遂ニ罰ヲ免カレタルキハ第二百九條ノ例ニ照シ本條ノ刑ニ一等ヲ加ヘテ拘留三日以上十二日

以下ニ處スルカ又ハ科料一圓二十五錢以上二圓四十錢以下ニ處スルナリ

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス 本條左ニ記スル所ノ第一項ヨリ第十二項マテノ諸件ハ前條ニ比スレハ其罪稍ヤ輕シ

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者 人家ニ接近シタル場所又ハ山林田野ニ於テ濫リニ焚火ヲ爲スハ本條ノ罰アリ但焚カサルヲ得サル場合ニ在テ注意シテ焚クハ罪ナシトス本項モ濫ノ字ニ就テ見ル可シ

二 水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦ス可キノ求メ

ヲ受ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者 水火其他ノ變アルハ 防禦ニ力ヲ用フルハ 社會ニ盡ス一義務ナレトモ官吏ヨリ防禦ノ求メ之レ無キハ其 罪無シ官吏其助力ヲ求ムルモ傍觀シテ之レニ應セサルハ本 條ノ罰アリ

三不熟ノ某物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル

者 菓實ノ未タ成熟セサルモノ又飲食物ノ腐敗シタルモノヲ 食スルハ皆人ノ健康ニ害アリ故ニ之ヲ販賣シタル者ハ罰 大 (二五三)

四健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫

防規則ニ違背シタル者 健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規 則トハ舶來染粉ヲ用ヒ飲食物ニ 著色スルノ類或ハ娼妓儼毒檢査方法又ハ便所下水芥溜等ノ掃 除修繕ノ類又傳染病豫防規則トハ虎列刺病天然痘ノ豫防規則

ヲ云フ是等ノ犯罪ハ第二百四十六條以下ニ (二四六) モ記載シタルト雖モ亦自ラ輕重アルナリ

五人ノ通行ス可キ場所ニアル危險ノ井溝其他凶所

ニ蓋又ハ防圍ヲ爲サル者 本項ノ場所ハ各危險ノ患 アリ故ニ之ヲ防クノ手段

ヲ爲サル可カラズ若シ怠タリテ之ヲ爲 サル地主又ハ看守者ハ本條ヲ以テ罰ス

六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ噉シ又ハ驚逸セシメ

タル者 公衆ノ通行ス可キ路上ニ於テ本項ノ所業ヲ爲 スハ往來ノ妨害トナル可キ者ナレハ之ヲ罰ス

七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者 發 狂

人ハ如何ナル所業ヲ爲スモ圖リ難クハ尤モ注意シテ看守セ サル可カラズ若シ之ヲ怠リ路上ニ徘徊セシムル者ハ本條ノ罰 アリ

八 狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者

狂犬 猛獸

チ路上ニ放ツキハ如何ナル害チ人ニ加フルモ圖リ難ケレハ之チ畜フニハ堅牢ニ繫鎖チ施ス可キ者トス故ニ若シ之チ怠リテ放チタル者ハ之チ罰ス

九 變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者

變死人ハ謀故

毆殺ヨリ自殺マテノ死チ云フ蓋シ變死人ハ必キ警吏ノ検査チ經テ後チ埋葬ス可キモノナリ然ルチ其手數チ爲サス私カニ之チ埋葬シタル者ハ之チ罰セサルチ得ス (二六四以下)

十 墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者

墓碑及ヒ路上ニ散在スル神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者ハ神佛ニ不敬チ行フ者ナレハ之チ罰ス然レモ第二百六十三條ニ記

載シタル者トハ自カヲ輕重アリ

十一 神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

神祠佛堂

其他公ノ建造物即チ學校病院等ニ樂書其他汚損ノ所業チ爲サハ不敬ニ涉ルヲ以テ之チ罰ス (二六三)

十二 公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ

論ス 公衆ノ目前ニ於テ人ヲ罵詈嘲弄シタル者ハ本人ノ告訴ヲ待テ之チ罰スルハ則チ其人ノ性質ニ因リ感觸スルトセサルトノ差異 (三五八) アルチ以テナリ

第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上

三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

本條左ニ記載シタル第一項ヨリ第十六項マテノ諸件ハ前條ニ比スレハ其

罪亦
輕シ

一 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

濫リニ馬車人力車乘馬ヲ疾驅シテ往來人ヲ妨害スル者ハ之ヲ罰セサルヲ得ス若シ事急速ヲ要スル場合ニ在テハ能ク往來人ノ妨害ニナラサル様注意シテ疾驅スルハ固トヨリ其罪無シ

二 制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ

牽キタル者

人ノ群集スル場所ニ車馬ヲ牽キ入ル、片ハ人ヲ損傷スルノ危険アルヲ以テ之ヲ罰ス

三 夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者

本項モ亦往來人ニ危険アル

ヲ以テ其罰アリ但燈火ナシト雖モ疾驅スルニ非スシテ徐々ニ通行スル者ハ其罪ナシ

四 木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識

ノ點燈ヲ怠リタル者

道路ニ木石等ノ障礙物ヲ堆積スルキハ之レニ防圍ヲ設ケ燈火ヲ點セ

サレハ通行ノ妨害トナリ車馬衝突ノ恐レアリ故ニ之ヲ罰ス

五 瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

假令一時ノ遊戯ニ出ルト雖

モ之ヲ罰ス但川堀船舶等モ亦此中ニ包括ス

六 禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者

禽獸

ノ死屍ハ其腐敗スルニ至ツテハ多少人ノ健康ヲ害シ又道路ニアルキハ往來ノ妨碍トナルヲ以テ之ヲ棄擲シ又ハ取除カサル地主及ヒ關係者ハ本條ノ罰アリ

七 汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者

糞尿腐敗等ノ汚穢物ハ

其臭氣能ク人ノ健康ヲ害スルニ足ルモノナレハ一時ノ遊戯アリトモ道路家屋園圃ニ投擲スル者ハ之ヲ罰ス

八警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者蒸氣

機械及ヒ火ヲ用ヒテ製作スル鍛冶職鑄物職其他火焚所又ハ質屋古著屋等ノ入品商及ヒ雇人請宿旅人宿寄セ席揚弓店等ハ皆其規則アリテ之ヲ遵守セサルヲ得ス若シ警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲ス者ハ之ヲ罰ス

九醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル

者 醫師穩婆ノ職業ハ貴重ノ身体ニ關シ健康ヲ司リ生育ヲ保護スルノ本分ナレハ急病人ノ招キアルハ故ナク應セサル者ハ本條 (二八一)ノ罰アリ

十死亡ノ申告ヲ爲サスシテ埋葬シタル者 何人ニ限ラズ死亡スル

キハ其擔當醫師ノ診斷書ヲ添ヘ郡區役所ヘ申告シテ後埋葬スルヲ法トス若シ之レニ背キ私ニ埋葬スル者ハ罰ス (二六四以下)

十一流言浮説ヲ爲シテ人ヲ誑惑シタル者 流言浮説トハ無根ノ説

ヲ唱ヘ公衆ヲ誑惑恐怖セシムルヲ云フ例ヘハ水火ノ變災アラント流言シ或ハ戰爭近キニ起ラント浮説スルノ類ナリ若シ新聞雜誌ノ類ニ確據スル所アレハ假令其事虛偽ナリトモ其罪ナシ但虛偽ノ流言ヲ爲シ穀類其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル罪ハ第二百七十二條ニ定ム

十二妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ爲シ人

ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者 自己ノ利ヲ圖ルカ爲メニ觀相卜筮ヲ以テ妄リニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ神佛ノ夢想ト詐稱シ或ハ加持祈禱シ詐欺ノ符咒ヲ以テ愚民ヲ惑ハシ金錢ヲ貪ル者ハ本條ノ罰アリ

十三私有地外へ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ

出シタル者 自己ノ所有地外へ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹柱ヲ突出シタル者ハ本條ノ罰アリ但濫

ノ字ニ著眼ス可シ

十四官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キ

タル者 路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ設ケント欲セハ必ス官許ヲ得サル可カラズ若シ私ニ設ケタルモノハ本條ノ刑ニ

處シ尙ホ之ヲ取拂ハシム

十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ廁場等ヲ毀損シタ

ル者 此項ノ所業ヲ爲ス者ハ本條ノ刑ニ處シ仍ホ其毀損ヲ賠償セシム

十六道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及

ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者 道路橋梁修繕架設ニ依リ警察署

ヨリ設ケタル通行禁止ノ標札又ハ便利ノ爲メ路傍ニ設ケタル道案内ノ標示其他銃獵禁止ノ標札等ヲ毀棄汚損シタル者ハ本

條ノ罰アリ

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘

留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス 本條左ニ

記スル所ノ第一項ヨリ第十一項マテノ諸件ハ前條ノ刑ニ比スレハ又更ニ輕シ

一官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣

シタル者 郵紙印紙界紙切手其他總テ官署ニ於テ價額ヲ定メタルモノヲ定價以上ニ販賣シタル者ハ本條ノ罰アリ

二渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ
取り又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者 渡船橋梁其他私
費築造ノ道路等

官許ヲ受ケ賃錢ヲ定メテ収ムル者其定額以上ノ通行錢ヲ貪
リ又ハ通行ヲ妨ケ衆人ノ不便ヲ爲ス者ハ共ニ本條ノ罰アリ

三渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定
價ヲ出サスシテ通行シタル者 官許ヲ得テ相當ノ賃錢
ヲ定メタル場所ヲ通行

スルニハ必ス其賃錢
ヲ拂ハサルヲ得ス

四路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シタル者 類似
ノ賭

博ニシテ真正ノ賭博ニアラスト雖モ則チ飲食物其他ノ物品ヲ
賭シテ勝負ヲ爭フ商業ヲ路上ニ爲ス者ハ風儀ヲ害スルヲ以テ
之ヲ罰セサ (三六一、二六二)
ルヲ得ス

五官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規

則ニ違背シタル者 劇場其他諸觀セ物ノ興行ハ風俗ニ關
スルヲ以テ官ノ許可ヲ得ルニ非サレ

ハ之ヲ爲スヲ得ス又官許ヲ得ルト雖モ其
規則ニ違背シタル者ハ共ニ本條ノ罰アリ

六溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠

下水ヲ浚ハサル者 本項ノ件ハ健康ニ關スルモノ
ナレハ之ヲ犯ス者ハ之ヲ罰ス

七制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列

シタル者 其時トシテ警察官ニ於テ往來ノ妨害ヲ爲スト認ム
ルキハ之ヲ制止シテ取除カシム仍ホ肯セサル者ハ

之ヲ
罰ス

八官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シ

タル者 官許ヲ得ヌシテ牛馬羊豚ノ類ヲ官有地ニ放チタル者ハ之ヲ罰ス

九身體ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之ヲ業トスル者 此事往時最モ賤民ニ行

ハレ之ヲ業トスル惡弊アルカ爲メニ明治五年十一月之ヲ禁止シ禁令以前ニ在ル者ハ皆官ヨリ証書ヲ下付シ仍ホ其醜體ヲ露スヲ戒メ背ク者ハ違式罪ヲ以テ其罪ヲ問フ可キモノト定メラレタリ

十他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

假令一時ノ戲レニ出ルト雖モ犯ス者ハ之ヲ罰ス

十一他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者 前項ト其意ヲ同フス

第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上

五十錢以下ノ科料ニ處ス 本條左ニ記載シタル第一項ヨリ第十八項マテノ諸件ハ前條ノ刑

ニ比スレハ亦更ニ輕シ

一 橋梁又ハ堤防ノ害ト爲ル可キ場所ニ舟筏ヲ繫キ

タル者 橋梁ハ人ノ據テ以テ通行ヲ爲スモノ堤防ハ水利ヲ通シ水害ヲ防クモノナレハ之レニ舟筏ヲ繫ク者ハ之ヲ

罰ス

二 牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭

等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者 本項ノ物件ヲ道路ニ横

タヘ又ハ堆積シテ往來人ノ妨害ヲ爲ス者ハ之ヲ罰セサルヲ得ス

三 車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲シタル者 本項モ前項ト

其意ヲ同フス

四水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通船ノ妨害ヲ爲シタル者通船

ノ妨害ヲ爲スモ其害路上ト異ナルヲ無シ故ニ之ヲ罰ス

五氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者氷雪ヲ路上ニ投棄スルハ行人

ノ危険少ナカラズ塵芥ヲ投棄スレハ道路ノ不潔ヲ極ム依テ之ヲ投棄スル者ハ罰セサルヲ得ス

六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ爲サル者其督

促ヲ受クルノ地主及ヒ關係者ニシテ仍ホ之ヲ爲サレハ本條ノ罰アリ

七制止ヲ肯セヌシテ路上ニ遊戯ヲ爲シ行人ノ妨害

ヲ爲シタル者 鞠毬紙鳶羽根撲獨樂其他ノ遊戯ヲ爲シ往來人ノ妨害ヲ爲スニ仍リ之ヲ制止スルモ仍ホ

肯セサル者ハ之ヲ罰ス

八牛馬ヲ牽キ又ハ繫ク一ヲ忽カセニシテ行人ノ妨

害ヲ爲シタル者 牛馬ヲ牽クニ怠リ之ヲ繫ク一ヲ忽カセニスル者ハ共ニ之ヲ罰ス

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者官署

ヨリ出入ヲ禁止セシカ爲メ禁止ノ標札ヲ揭示シ又ハ公告シタル場所ヘ濫リニ出入シタル者ハ之ヲ罰ス

十通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者通行禁止ノ

榜示アルヲ知テ其禁ヲ犯シ通行シタル者ハ之ヲ罰ス

十一道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯セサル

者 本項ノ所業ハ風俗ヲ紊リ且ハ公衆ノ嚴肅ヲ害スルヲ以テ警察官制止ス若其制止ヲ肯セヌ仍ホ放歌高聲ヲ發スル者

ハ之ヲ罰ス

十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者 酒ヲ飲ミ

酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ路上ニ醉臥スルハ一般ノ風儀ヲ紊リ又ハ行人ノ妨害トナルヲ以テ之ヲ罰ス

十三路上ノ常燈ヲ消シタル者 路上ノ常燈ハ一般ノ便利ヲ圖リ或ハ非常ヲ警シム

ル爲メニ設クルモノナレハ之ヲ消ス者ハ假令戲レニ爲スモ本條ノ罰アリ

十四人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者 人家ノ牆壁門戸等ニ貼

紙シ或ハ樂書スルハ現ニ人ニ損害ヲ加フルニ非スト雖モ乃チ汚濁スルノ罪アルヲ以テ之ヲ罰ス若シ毀壞シタル者ハ第四

百十八條ニ依ル

十五邸宅ノ番號標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他

報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者 本項ノ所業ハ衆人ノ迷惑訪問ノ不便ヲ與フルヲ以テ之ヲ罰ス

十六他人ノ田野園圃ニ於テ菜菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル者 他人ノ田野園圃ニ於テ生熟スル菓實ヲ其場ニ於テ採食シ又ハ止メ花卉ヲ採折シタル者

ハ本條ノ罰アリ若シ菓實ヲ持去ルハ即チ竊盜ノ罪ナレハ第三百七十二條ニ依ル

十七公園ノ規則ヲ犯シタル者 公園ニハ必ス其規則アリ之ヲ犯シタル者ハ本條ノ

罰アリ

十八通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者 假令其穀類菜菓ヲ踏荒スルニ至ラサルモ故ナク通行シ牛馬ヲ牽キ入ル者ハ本條ノ罰アリ

第四百二十條 前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜

ニヨリ定ムル所ノ違警罪ヲ犯シタル者ハ其罰則ニ

從テ處斷ス第四百二十五條ヨリ前條ニ至ルマテノ諸件ハ普通

ナリ此他各地方ノ便宜ニ因リ設ケタル違警罪ハ各其罰則ニ從テ

處斷スルヲ得ル者トス其刑罰ニ至テハ此違警罪ニ定メタル拘
留料料ノ外刑ヲ
科スルヲ得ス

畢

刑法要覽附錄
刑法對照

凡例

- 一 茲ニ對照スル舊法トハ新律綱領改定律例改正條例ヲ指シ改定刑法ヲ新法トス
- 一 對照ノ順次ハ概テ新法ノ條名ニ從フ故ニ舊法ノ對比スルモノナクシテ之ヲ缺クキハ必ス其旨趣ヲ揭ク
- 一 彼此相對シ難キモノハ之ヲ省クト雖モ或ハ疑似ニ涉リ若クハ毫ク因由アリト思料スルモノハ參考ノ爲メ勉メテ之ヲ揭ク而シテ對比ノ不當ヲ覺ユル如キモノハ是レニ一言ヲ付シテ以テ其意ヲ明ニス但舊法ノ新法ニ對照シ難クシテ省略シタルモノハ別ニ卷末ニ其條目ヲ掲ケテ參考ニ備フ
- 一 舊法ノ本文ヲ數ヶ所ニ援引ス可キ場アルキハ必ス夫ノ條下ニアル「」ヲ示シ以テ重複ノ繁ヲ省ク
- 一 舊法中「」劃ヲ付シタルモノハ曾テ廢改ナリタル法令ニ係ル而シ

テ今之ヲ除カサル所以ハ其法文ノ解シ難キ恐レアルヲ以テナリ

- 一 書中編者ノ意見ヲ述フルニ凡例第二項等ノ事項ニ係ルモノハ按ノ字ヲ冠シ同第三項ノ事項ニ係ルモノハ付言トシ以テ之ヲ區別ス

明治十四年六月

編者誌

新律綱領、改定律例、改正條例

五刑

笞刑五

一十 二十 三十 四十 五十

凡笞ハ數一十ニ起リ五十ニ止ル倘シ罪笞五十ヨリ重キ者ハ笞ヲ出シ杖ニ從ヒ以テ輕重ノ衡ヲ別ツ

杖刑五

六十 七十 八十 九十 一百

凡杖ハ六十ニ始リ一百ニ止ル蓋シ頑梗弗率ノ徒耻心已ニ冥シ笞以テ其懼心ヲ動ス可キニ非ス故ニ杖ニ入レ以テ警ヲ示ス

徒刑五 (本項ハ改定刑法第二十二條ノ對比ニ讓ル)

流刑三 (本項ハ改定刑法第十七條ノ對比ニ讓ル)

死刑二 (本項ハ改定刑法第十二條ノ對比ニ讓ル)

五刑條例

第一條 凡笞杖徒流ノ刑名ヲ改メ一體ニ懲役ニ換ヘ例ニ照シテ

役ニ服ス

懲役十日 原答一十 二十日 二十 三十日 三十 四十日

四十 五十日 五十

六十日 原杖六十 七十日 七十 八十日 八十 九十日 九

十 一百日 一百

一年原徒一年 一年半 一年半 二年 二年 二年半 二

年半 三年 三年

五年原流一等 七年二等 十年三等

第二條 凡懲役十年ノ上ニ懲役終身ノ刑ヲ設ケ其犯罪持兇器強

盜監守常人盜謀故殺放火反獄偽造寶貨ヲ除ク外罪死ニ該ル者

一體ニ寛宥シテ此刑ニ科ス〔持兇器強盜監守常人盜偽造寶貨

ノ犯罪ハ後ニ改メテ死ニ入レヌ〕

(按)新律綱領改定律例ニハ重罪輕罪ノ區別ナシ又違警罪ハ本律

外ニ措ケリ

第六條 凡所犯極テ輕ク罪懲役十日ニ及ハサル者ハ止タ呵責シ

テ放免ス

第

一

條

第

二

條

斷罪無正條

凡律令ニ該載シ盡サ、ル事理若クハ罪ヲ斷スルニ正條ナキ者ハ
他律ヲ援引比附シテ加フ可キハ加ヘ減ス可キハ減シ罪名ヲ定擬
シテ上司ニ申シ議定ツテ奏聞ス

若シ輒ク罪ヲ斷シ出入アルヲ致ス者ハ故失ヲ以テ論ス

斷罪無正條條例

第九十九條 凡律例ニ罪名ナク令ニ制禁アリ及ヒ制禁ナキ者各
所犯ノ輕重ヲ量リ不應爲違令違式ヲ以テ論シ情罪重キ者ハ違
制ニ問擬ス

增補 凡罪ヲ斷スル正條アリト雖モ所犯情狀輕キ者ハ仍ホ情法

ヲ酌量シテ輕減スルヲ聽シ減シテ五等ニ過ルヲ得ス

違令

凡令ニ違フニ重キ者ハ笞四十輕キ者ハ一等ヲ減ス

違令條例

第二百八十七條 凡制ニ違フ者ハ懲役百日輕キ者ハ一等ヲ減ス

第二百八十八條 凡式ニ違フ者ハ懲役二十日輕キ者ハ一等ヲ減

第 二 條

凡律令ニ正條ナシト雖モ情理ニ於テ爲スヲ得應カラサルノ事ヲ爲ス者ハ答三十事理重キ者ハ杖七十

不應爲

斷罪依新頒律

凡律ハ頒降ノ日ヨリ始ト爲ス若シ所犯頒降已前ニ在ル者モ並ニ新律ニ依テ擬斷シ舊律ヲ援引スルヲ得ス

斷罪依新頒律條例

第百條 凡例モ亦頒降ノ日ヨリ始ト爲スト雖モ若シ事犯頒例以前ニ在テ原律罪名輕キ者ハ仍ホ原律ニ依テ定擬ス

軍人犯罪

凡軍人罪ヲ犯スニ出征行軍ノ際ニ非ルヨリハ兵部權斷シテ擅ニ法ヲ用ルヲ得ス宿衛巡邏ノ時ト雖モ事若シ常人ニ關涉シ及ヒ互ニ闘毆殺傷スル等モ亦常律ニ照シテ論ス

改正軍人犯罪律

第二十七條 凡軍人軍屬罪ヲ犯スニ出征行軍ノ際ニ非スト雖モ

第 四 條

第 四 條

陸軍海軍並ニ其律ヲ以テ科斷スルヲ得ヘシ若シ事常人ニ關涉シ及ヒ共犯ニ係ル者軍官逮捕スレハ軍衙ニ於テ推問シ常人ハ鞠狀ヲ併セ法司ニ交付ス法司逮捕スレハ法衙ニ於テ推問シ軍人軍屬ハ鞠狀ヲ併セ軍官ニ交付シ軍人軍屬ハ軍律ニ處シ常人ハ常律ニ依ル其大獄疑獄ニ係ル者ハ軍官法司會同商議シテ亦囚ヲ分チ各自ニ區處ス

第二十八條 凡後備兵等名氏軍籍ニ在リト雖モ現ニ軍役ニ服セサル者ハ仍ホ常人ト同ク法司科斷シ訖テ本屬ノ軍官ニ移告ス

刑法第五條 (按)新律綱領改定律例ニハ他ノ法律規則ニ刑名アル者ニ付キ明文ナシト雖モ改定律法第五條ト同ク各其法律規則ニ從フ

勿論ナリ

刑法第六條 (按)新律綱領ハ死刑流刑徒刑杖管等又改定律例ハ死刑懲役棒鎖等ノ主刑而已ニテ別ニ付加刑アルヲナシ故ニ刑法第十二條第二十二條ノ外主刑並ニ付加刑ニ對照スルノ條項ナシ

死刑二

絞斬

第 二 條

第十條 第二條 第四十條

凡絞ハ其首ヲ絞リ其命ヲ畢ルニ止メ猶ホ其體ヲ全クス遺骸ハ親族請フ者アレハ下付ス

凡斬ハ其首ヲ斬ル遺骸ハ親族請フ者アレハ下付ス

絞斬ニ死ノ外仍ホ梟示ナル者アリ其首ヲ斬リ刑場ニ梟示シ看守人ヲ置キ犯由牌ニ罪狀ヲ書シ其側及ヒ各所ニ立テ三日ヲ經テ除毀ス兇殘ノ甚シキ者ヲ待ツ所以ナリ(十二年一月四日第一號公布ニテ梟示ノ刑ヲ廢シ一體ニ斬ニ處ス)

死囚妻請待報

凡死囚ヲ妻請シ回報ヲ待タズ輒ク處決スル者ハ杖七十 (二三)

若シ禁刑ノ日ニ於テ決スル者ハ答三十 (二四)

婦人犯罪

凡婦人輕罪ヲ犯スハ本夫ニ責付シテ保管セシム若シ夫ナキ者ハ親屬隣保ニ責付シテ保管セシム重罪ハ禁獄スルヲ許ス違フ者ハ答三十

若シ婦人懷孕シテ罪ヲ犯シ拷訊スヘキ者ハ上條ノ如ク保管シ産後一百日ヲ待テ拷訊スヘシ若シ未タ産セサルニ拷訊スル者ハ杖

第九十條

九十因テ墮胎スル者ハ徒一年半死ニ致ス者ハ流三等若シ懷孕ノ死囚ハ穩婆ニ看視セシメテ後ニ監禁ス産ノ期ニ臨メハ親屬隣保ニ責付シ産後一百日ヲ待テ乃刑ヲ行フ未タ産セズシテ決スル者ハ徒一年半産シ訖ルモ日限未タ滿スシテ決スル者ハ杖八十失誤スル者ハ各三等ヲ減ス (二五)

第十條 凡梟斬絞ノ遺骸ハ親屬請フ者アレハ下付スト雖モ墓石ニ止メ氏名年月日ヲ記スヲ得テ式ヲ以テ葬ルヲ聽サス

流刑二

一等 役一年 二等 一年半 三等 二年

凡流ハ北海道ニ發遣シ罪ノ輕重ニ從ヒ役ヲ三等ニ別チ一年ニ始リ二年ニ止ル役滿レハ彼地ノ籍ニ編入シ便ニ隨ヒ生業ヲ營マシム (三)

流囚家屬

凡流罪ヲ犯スニ其家屬隨フヲ願フ者ハ聽ス邊成ノ家屬モ亦此ニ準ス若シ正犯身死スレハ其家口既ニ配所ノ籍ニ附入スト雖モ郷里ニ還ルヲ願フ者ハ送還ス

第十條 第七條 第十一條

凡流罪ヲ犯スニ其家屬隨フヲ願フ者ハ聽ス邊成ノ家屬モ亦此ニ準ス若シ正犯身死スレハ其家口既ニ配所ノ籍ニ附入スト雖モ郷里ニ還ルヲ願フ者ハ送還ス

第十條

第三條 凡懲役ハ平民老小婦女癩盲廢疾者及ヒ無力不能贖者監獄則ニ照シ分別シテ役ニ服ス其雇工錢ヲ給與領置スルノ法モ亦獄則ニ從フ

婦女犯罪

凡婦女死罪不孝姦盜人命放火ノ徒罪以上ヲ犯ス者ハ各律ニ依テ斷決シ笞杖ニ該ル者ハ日數ニ折シ笞杖一十毎トニ十日ニ折シテ禁獄ニ換フ

其餘ノ罪ハ並ニ法ニ依テ收贖スルヲ聽ス

婦女犯罪條例

第三十九條 凡婦女不孝姦盜人命放火ノ徒罪以上ヲ犯ス者ハ各律ニ依テ斷決シ笞杖ニ該ル者ハ日數ニ折シテ禁獄スル律ヲ改メ並ニ懲役ニ服ス

其餘ノ罪收贖ス可キ者無力ニシテ贖フ不能ハサル者懲役百日以下ハ折半シ一年以上ハ五等ヲ減シテ並ニ懲役ニ服ス

犯罪時未老疾

凡罪ヲ犯ス時未老疾ナラスト雖モ事發スル時老疾ナル者ハ老

第十條

疾ニ依テ論ス 若シ徒ノ年限内ニ在リテ老疾スル者モ亦上條ノ如ク收贖スルヲ聽ス 其罪ヲ犯ス時幼小ニシテ事發スル時長大ナル者ハ幼小ニ依テ論ス

犯罪時未老疾條例

第四十九條 凡懲役限内老疾收贖者孤獨貧困ニシテ即時贖フ不能ハサル者ハ贖金延期限内輕役ニ拘服ス

第五十條 凡懲役一年以上ノ罪犯病ニ罹リ休役スル者一年毎ニ日數五十日以内ハ限内ニ算入シ五十日以外ハ病愈ルヲ待テ仍

ホ役ヲ償ハシム百日以下ノ罪犯日數十分ノ二ハ算入シ十分ノ二ニ過ル者ハ亦償ハシム若シ數次ニ及フ者ハ通計合算シテ乘

除ス其役場ヲ出シテ責付スル日數ハ一體ニ限内ニ算入セス (付言) 本項ハ懲役人ノ疾病ニ係ル者ヲ所スルノ法ニテ直ニ刑

法第十九條ト對照ス可キコアラサルナリ然レ凡老若ノ疾病ニ係ル者モ亦此法ニ倚ル可キ者ナレハ姑ラ存シテ參考ニ供ス

徒刑五

一年 一年半 二年 二年半 三年

第二十二條

凡徒ハ各府藩縣其徒場ニ入レ地方ノ便宜ニ從ヒ強弱ノ力ヲ量リ各業ヲ與ヘテ役使ス毎日凡人雇工錢十分ノ一分ヲ給シ其半ヲ官ニ領置シ徒限滿レハ放サテ郷里ニ還シ生業ヲ營ムノ資ト爲ス罪杖一百ヨリ過レハ杖ヲ出シ徒ニ入ル徒ハ一年ニ起リ三年ニ止ル蓋シ勞役苦使シ以テ惡ヲ改メ善ニ遷ラシム

刑法第二十三條第二十四條 (按)新律綱領改定律例ノ禁錮及ヒ禁獄

刑法ノ禁獄禁錮トハ唯其服役セサル而已ハ稍ヤ相同シト雖モ既ニ

刑ノ性質及ヒ效用ヲ異ニス故ニ彼是對照スルノ勞ヲ省ク

刑法第二十五條 改定律例第三條但其本文ハ刑法第十八條ノ對比ノ

下ニ載ス

刑法第二十六條 對照ス可キナシ

第三十三條 凡贖金ハ宣告ノ日ヨリ五日以内ニ納完ス若シ無力

ニ限内贖フコト能ハサル者ハ例ニ照シテ延期スルコトヲ聽ス 贖懲役五十日以下 限三十日 懲役百日以下 四十日 懲役

第二十七條

三年以下 五十日 懲役十年以下 六十日 懲役終身 七十日 死刑 八十日

第三十四條 凡贖罪收贖ス可キ者無力ニシテ贖フコト能ハス親屬

代テ贖フコトヲ願フ者アレハ聽ス (付言) 贖金ト罰金トハ其性質ノ異ナル固ヨリナリト雖モ處分

手續ニ至リテハ多少相類スルヲ以テ姑ク爰ニ掲ク 給沒贓物

第四條

凡取與俱ニ罪アル受財枉法不枉法ノ贓及ヒ犯禁ノ物ハ並ニ官ニ沒入ス若シ取與俱ニ和セス恐喝詐欺強買賣科斂求索等ノ贓ハ並ニ本主ニ追還ス (四三)

若シ強竊盜枉法不枉法坐贓等ノ贓ヲ以テ罪ニ入ルニ正贓現在ス

ル者ハ官物ハ官ニ還シ私物ハ主ニ還ス若シ正贓已ニ費用スル者

ハ追徵スルコト勿レ

埋葬金兩雇工賃錢モ本犯身死スレハ亦追徵スルコト勿レ

其贓物ノ價錢ヲ估計スルハ皆犯所當時中等ノ物價ニ據テ罪名ヲ

定ム夫匠等ノ工錢ハ一人一日ニ若干錢ヲ以テ定數ト爲シ牛馬車

第四十三條ヨリ第四十八條

船等ハ時ノ雇工賃値ニ照シテ日數ヲ算シ賃錢多シト雖モ其本物ノ價ニ過ルヲ得ス

給没贓物條例

第五十一條 凡正贓現在ト稱スルハ賊賊ノ手ニ存在シ及ヒ輾轉シテ他人ノ手ニ在ル者ヲ謂フ若シ買取シテ公商公買ニ由ル者ハ正贓現在スト雖モ商買其價ヲ償ハサレハ直ニ追徴スルヲ得ス

第五十二條 凡贓物現在シ及ヒ現在セスト雖モ事主本犯ノ口供ヲ審明シ評價人ニ估計セシム若シ犯所遠隔ニシテ事主ノ口供ヲ審スルニ便ナラサル者ハ本犯ノ口供ニ依リ罪ヲ定ム

第五十三條 凡盜賊タルヲ知ラスト雖モ買取シテ公商公買ニ由ラサル者ハ直ニ追徴スルヲ得其轉賣スル者ハ仍ホ轉償セシム

第五十四條 凡轉賣スル贓物ハ轉償セシムト雖モ若シ轉償者死亡破産等追徴スルヲ能ハサレハ贓物現在ノ所ヨリ直ニ追徴スルヲ得其公商公買ニ由ル者ハ此例ヲ用ヒス

第四十三條ヨリ第四十八條

第五十五條 凡盜犯正贓已ニ費用シテ現在セスト雖モ賠償ス可キ資力アル者ハ必ス追徴シテ本主ニ給ス

第五十六條 凡盜賊タルヲ知ラスト雖モ其餽送纏頭ニ係ル者ハ必ス追徴シテ本主ニ給ス若シ已ニ費用スル者ハ追徴スルヲ勿レ

第五十七條 凡盜賊ヲ以テ物品ヲ買取シ人ニ餽送スルニ物品現在スル者ハ追徴シテ本主ニ給ス若シ已ニ費用スル者ハ追徴スルヲ勿レ

第五十八條 凡盜賊ヲ以テ舊債ニ抵償スル者ハ債主情ヲ知ラスト雖モ仍ホ追徴シテ本主ニ給ス若シ已ニ費用スル者ハ追徴スルヲ勿レ

增補 凡正贓輾轉シテ遠地ニ在ル者其郵遞費用ハ本犯ニ償ハシムト雖モ本犯資力ナケレハ本主ニ償ハシム若シ本主郵遞ノ經費ヲ厭フ者ハ正贓所在ノ地ニ於テ其物品ヲ販賣シ金圓ヲ本主ニ還給ス

第八十五條 凡罪ヲ犯シ年ヲ歴テ發覺スル者ハ並ニ舊惡ヲ以テ

第四

論シ舊惡減免例圖ニ照シテ區處スルヲ聽ス若シ事ノ改正ス可ク罪ノ追徵ス可キ等ハ罪ヲ免スト雖モ仍ホ追究明白シテ各

第十三

本法ヲ盡ス其謀故殺ヲ犯ス者ハ此限ニ在ラス
(付言) 新律綱領改定律例ニ於テ其明文ヲ見スト雖モ之ヲ實際

條ヨ

ニ徵スルニ裁判費用ハ渾テ官費トス然レモ改定刑法ニ於テハ之ヲ被告人ニ償ハシメ其免訴無罪等ノ場合ニ於テハ之ヲ官費トスルノ別アリ損害賠償ニ付テハ彼ノ過失殺傷ノ收贖等ハ稍

第四

其趣キアリト雖モ要之或ハ刑名ニ類スル者ノ如シ其給沒贓物ノ如キハ或ハ贓物ノ還給トナリ又ハ損害ノ賠償タレモ未ダ完

四十

全ナラサルカ如シ故ニ改定刑法ト比較スルキハ或ハ允當ノ對照ヲ爲シ得サルカ如シ故ニ茲ニ一言シテ讀者ノ注意ヲ惹ク

八條

稱日者以十二時

第四

稱日者以十二時

凡一日ト稱スル者ハ十二時ヲ以テス工ヲ計ル者ハ朝ヨリ暮ニ至

十九

ル一年ト稱スル者ハ三百六十日ヲ以テス人ノ年ヲ稱スル者ハ戶籍所注ノ年ヲ以テ定トナス衆ト稱スル者ハ三人以上謀ト稱スル者ハ二人以上其謀狀顯跡アル者ハ一人ト雖モ二人ノ法ニ同シ

條

稱日者以二十四時條例 原稱日者以十二時律

第九十一條 凡一日ト稱スル者ハ十二時ヲ以テスル律ヲ改メ二十四時ト爲シ一年ト稱スル者ハ三百六十日ヲ以テスル律ヲ改

メ三百六十五日ト爲シ閏年ハ一日ヲ加算シ半年ト稱スル者ハ六個月ヲ以テス

第九十二條 凡年七十以上十五以下ト稱スル者ハ生年本年ノ日數ヲ通算シテ年七十歲ニ滿ル者ヲ謂フ八十以上十歲以

下ト稱スル等モ亦之ニ準ス

第九十三條 凡生年ヲ知ラサル者ハ生年ヲ以テ半年ト爲シテ計算ス

第九十四條 凡懲役ノ年限ヲ算スル其斷了陽曆頒降以前ニ在ル者ハ名例一年三百六十日ノ數ヲ以テ放還シ頒曆以後ニ在ル者ハ條例三百六十五日ノ數ヲ以テ放還ス

第四條 凡懲役ノ年月日限ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス

增補 凡上告シテ破毀ヲ得タル罪犯其懲役ノ年日數ハ原裁判言

渡ノ日ヨリ起算シ獄舍勾置若シハ便宜監護ノ日數モ懲役限内

第十條

第五

第九

第十

第十

第十

第五十一條

ニ算入ス勾置監護ノ日數本罪ニ過ル者ハ直ニ放免ス其上告ノ不當ナル者ハ裁判言渡ヨリ上告ニ至ル迄ノ時間及ヒ勾置監護ノ日數ヲ限内ニ算入スルヲ得ス若シ檢事ノ上告ニ係レハ不當ナル者ト雖モ仍ホ限内ニ算入ス (五一)

刑法第五十二條 獄囚脱監及反獄逃走條例徒流人逃條及ヒ懲役人逃

條例 但各本文ハ刑法第四百二十二條以下對比ノ條下ニ載ス

刑法第五十三條 (按)新律綱領改定律例共ニ假出獄ノ法ナシ

刑法第五十八條以下六十二條 (按)改定律例ニハ公訴ニ付キ期滿免

除即チ舊惡減免ノ法アリト雖モ刑ノ言渡ニ付キ期滿免除ノ法アラサルヲ以テ比較スルヲ得ス

刑法第六十三條乃至第六十五條 (按)新律綱領改定律例トモ復權ノ

法ナシ

第六

加減罪例

凡加ト稱スル者ハ本罪上ニ就テ加重ス假令ハ答四十ヲ犯スニ一
等ヲ加フレハ答五十ニ坐シ杖一百ハ徒一年ニ坐シ徒三年ハ流一
等ニ坐シ流一等ハ流二等ニ坐スルノ類

第六十條 第七十四條

減ト稱スル者ハ本罪上ニ就テ減輕ス假令ハ答五十ヲ犯スニ一等
ヲ減スレハ答四十ニ坐シ徒一年ハ杖一百ニ坐シ徒三年ハ徒二年
半ニ坐スルノ類

惟ニ死三流ハ各同ク一減ト爲ス假令ハ死罪ヲ犯スニ一等ヲ減ス
レハ絞斬ヲ分メス流三等ニ坐シ流罪ヲ犯スニ一等ヲ減スレハ徒

三年ニ坐スルノ類
加スル者ハ數滿テ乃坐ス凡兩數日數入數器物地畝ノ數皆必ス其

數ニ滿ツルヲ計リテ乃始テ坐ス加等罪ハ流三等ニ止ル加ヘテ死

ニ至ルヲ得ス
若シ本條加ヘテ死ニ入ル者ハ本條ニ依テ加フルモ加ヘテ絞ニ入

ル斬ニ至ラズ
加減罪例條例

第八十三條 凡三流同ク一減ト爲ス律ヲ改メ懲役三年以下ト同

ク分テ三等ト爲シテ減ス其二死ノ減法ハ仍ホ本律ニ依ル

第八十四條 凡懲役終身ハ死刑ノ一部ニ準スト雖モ其加減ノ法
ニ死ニ通シテ同ク一減ト爲スヲ得ス假令ハ死罪ヲ犯スニ一等

第六

ヲ減スレハ絞斬ヲ分クテ懲役終身ニ坐ス若シ本條加ヘテ死ニ入ル者ハ改テ一體ニ懲役終身ニ止ム其監守常人盜私借官物及ヒ雇人盜家長財物者ハ此限ニ在ラズ

犯罪得累減

第六條

凡二人以上共ニ罪ヲ犯スニ隨從者ハ一等ヲ減シ人ノ告ント欲スルヲ知リ自首スレハ又一等ヲ減シ通シテ二等ヲ減ス若シ判官人ヲ罪ニ故出シ放テ還タ獲レハ止タ一等ヲ減ス次官情ヲ知ラサルハ失出ヲ以テ論シ五等ヲ減シ判官ニ一等ヲ減シ放テ還タ獲レハ又一等ヲ減シ通シテ七等ヲ減ス又人ヲ罪ニ失入スル者判官ハ三等ヲ減シ若シ未ダ決放セサルハ又一等ヲ減シ通シテ四等ヲ減ス次官ハ五等ヲ減シ長官ハ六等ヲ減シ主典ハ七等ヲ減スル等並ニ累減スルヲ得

第七十五條乃至第七十六條

對比ス可キモノナシ

本條別有罪名

第七

凡本條別ニ罪名アリテ名例ト罪同カラサル者ハ本條ニ依テ之ヲ科ス

第七十七條

若シ本條罪名アリト雖モ其心規避スル所アリテ本罪ヨリ重ケレハ其重キ者ニ從テ論ス其罪本重カルヘクシテ犯ス時知ラサル者ハ凡人ニ依テ論ス假令ハ叔姪別處ニ生長シテ素相識ラス姪叔ヲ打傷シ官司推問シテ始テ其叔ナルヲ知レハ止タ凡人鬪法ニ依ル又別處ニ竊盜シテ大祀神御ノ物ヲ偷得ル如キ並ニ犯ス時知ラサレハ止タ凡盜律ニ依テ論ス其罪本輕カルヘキ者ハ本法ニ從フヲ聽ス假令ハ父子ヲ識ラス毆打ノ後始テ子ナルヲ知ル者ハ止タ父打子法ニ依ル凡毆ヲ以テ論ス可カラズ

瘋癲殺人

凡瘋癲人ヲ殺ス者ハ終身鎖銅仍ホ埋葬金二十五兩ヲ追取シ死者ノ家ニ給付ス若シ二命以上ヲ連殺スル者ハ絞其親屬看守嚴ナラスシテ他人ヲ殺死スルニ致ス者ハ杖九十

瘋癲殺人條例

第七十八條

第百九十二條 凡瘋癲人ヲ殺シ埋葬金二十五圓ヲ追スル者改テ過失殺收贖例ニ照シ四十圓ヲ追シテ死者ノ家ニ給付ス其人

第七十八條

第七十九條
第七十八條

ヲ傷スル者ハ並ニ過失傷收贖例ニ照シ追シテ傷者ニ給シ醫藥ノ資ト爲ス

第百九十三條 凡瘋癲人二命以上ヲ連殺スル者ハ絞改テ鎖錮終身

第百九十四條 凡瘋癲人祖父母父母ヲ殺ス者ハ鎖錮終身

第百九十五條 凡瘋癲人ヲ殺ス者ハ鎖錮終身ニ處スト雖モ若シ果シテ痊癒スレハ親屬鄰佑ノ保證ヲ取リ懲役五年ニ改正シ

限滿テ放還ス

第百九十六條 凡瘋癲人自殺ヲ致スニ看守人失察スル者ハ懲役二十日若シ人ヲ傷スルニ至ラシムル者ハ懲役四十日

第百九十七條 凡瘋癲人ヲ殺ス者孤獨貧困ニシテ親屬ノ保管スル者ナケレハ鎖錮ヲ禁獄ニ換ヘ埋葬金ヲ追セス

老小癡疾收贖

凡年七十以上十五以下及ヒ癡疾者死罪ヲ除クノ外流罪以下ヲ犯ス者ハ收贖ス (八〇)

八十以上十歳以下及ヒ篤疾者人ヲ殺シ死罪ニ該ル者ハ議擬奉聞

第七十九條
第七十八條

シテ上裁ヲ請フ若シ盜罪及ヒ人ヲ傷スル者モ亦收贖スルコトヲ準ス其餘ノ罪ハ皆論スルコト勿レ (七九)

老小癡疾收贖條例

第四十五條 凡人ノ一目ヲ瞎スルハ人ヲ癡疾ニ致ス律ニ依ルト

雖モ一目ノ人罪ヲ犯セハ癡疾ヲ以テ收贖スルコトヲ得ス人ノ兩目ヲ瞎スルハ人ヲ篤疾ニ致ス律ニ依ルト雖モ盲人罪ヲ犯セハ

懲役ハ收贖シテ死罪ハ收贖スルコトヲ聽サス

第四十六條 凡盲人及ヒ癡疾者姦盜ノ罪ヲ犯ス者ハ律例ニ照シテ收贖スト雖モ其強盜強姦ヲ犯ス者ハ實斷シテ收贖スルコトヲ

聽サス

第四十八條 凡老小及ヒ癡疾者懲役終身以下ヲ犯ス者例ニ照シ

テ收贖スルノ後再ヒ罪ヲ犯ス者ハ仍ホ例ニ照シ收贖スルコトヲ聽ス若シ盜罪賭博等加等ス可キ再犯ニ係ル者ハ但加等ノ罪ヲ

七十條
九條
ヨリ
八十條
四條

宥メ本罪ヲ斷シテ再ヒ收贖スルコトヲ聽サス三犯以上ハ凡人再犯以上ノ例ニ照シテ加等ス
第三十一條 凡老小癡疾者罪ヲ犯シ收贖ス可キ者無力ニシテ贖ヲ不能ハサル者懲役百日以下ハ折半シ一年以上ハ五等ヲ減シテ並ニ懲役ニ服ス

犯罪自首

凡罪ヲ犯シ事未ダ發覺セズシテ自ラ出首スル者ハ其罪ヲ免ス贓アル者ハ仍ホ追徵シテ官物ハ官ニ入レ私物ハ主ニ給ス (八五)
其本犯人ヲ遣シテ代首セシメ若シクハ相容隱スルコトヲ得ル者爲ニ代首シ及ヒ告言スルハ各罪人自首法ノ如ク罪ヲ免ス若シ自首シテ不實不盡ナル者ハ不實不盡ノ罪ヲ以テ之ヲ罪ス假令ハ本犯強盜ヲ竊盜ト首スレハ其不實ナルヲ以テ強盜ノ罪ニ坐ス若シ竊盜贓一百兩ヲ六十兩ト首スレハ其不盡ナルヲ以テ仍ホ四十兩ノ罪ニ坐ス若シ首スルトコロ不實ノ罪重ク不盡ノ贓多クシテ各罪死ニ至ル者ハ一等ヲ減スルコトヲ聽ス若シ人ノ官ニ陳告セント欲スルコトヲ知テ自首スル者ハ本罪ニ一等ヲ減ス (八六)

第八十八條
第五十八條

第八十八條
第五十八條

其人ヲ損傷シ及ヒ賠償ス可ラサルノ物ヲ毀棄シ若クハ姦スル者ハ並ニ自首ノ律ニ在ラス
若シ強竊盜及ヒ詐偽シテ財物ヲ取り事主ノ處ニ於テ首服シ或ハ枉法不枉法ノ贓ヲ受ケ過テ悔ヒテ本主ニ還付スル者ハ官司ニ自首スルト同ク皆其罪ヲ免ス若シ人ノ告ント欲スルヲ知テ財主ノ所ニ於テ首還スル者ハ一等ヲ減ス (八六)
若シ自首シテ贓徵ス可カラサルハ二等ヲ減ス

犯罪自首條例

第五十九條 凡罪ヲ犯シ人ノ官ニ陳告セント欲スルコトヲ知テ自首スル者ハ本罪ニ一等ヲ減スル律ヲ改メ減二等ニ從ヒ官ノ捕獲セント欲スルコトヲ聞テ自首スル者ハ本罪ニ一等ヲ減ス
第六十條 凡罪ヲ犯シ事已ニ告發ヲ經ルト雖モ本犯未ダ知ラス及ヒ官罪犯ノ名ヲ知ラスシテ自首スル者ハ仍ホ未發自首ト同ク並ニ罪ヲ免ス
第六十一條 凡越獄逃走シテ自首スル者ハ止メ加等ス可キ罪ヲ減シテ本罪ハ減スルコトヲ聽サス

第六十二條 凡贓罪ヲ犯シ人ノ告ント欲スルコトヲ知テ自首シ贓
徵ス可カラサル者モ例ニ照シテ本罪ニ二等ヲ減ス

第六十三條 凡自首スル者ハ因ル所ノ原罪ヲ免シ止テ首免ヲ與ヘサル罪ヲ犯
シ自首スル者ハ因ル所ノ原罪ヲ免シ止テ首免ヲ與ヘサルノ本

罪ヲ科ス假令ハ強竊盜ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷スル者ハ其強竊盜
ハ首免ヲ與フト雖モ殺傷ハ謀故闘過失ノ各法ヲ盡スノ類

第六十四條 凡罪ヲ犯シ自首スル者假令ハ竊盜贓百圓五十圓ハ
仍ホ現在シ五十圓ハ已ニ費用シテ追徵スルコト能ハサレハ五十

圓ノ贓ニ二等ヲ減シテ罪ヲ科ス其餘ノ贓罪モ亦之ニ準ス

第六十五條 凡人ヲ罪ニ誣告シテ自首スル者ハ已斷未斷ヲ分チ
未タ受斷ヲ經サルハ仍ホ首免ヲ聽シ已ニ受斷ヲ經ルハ誣告ノ

本罪ヲ科ス

第六十六條 凡罪ヲ首シ減免ヲ經ルノ後再ヒ同罪ヲ犯ス者ハ減
免スルコトヲ聽サズ若シ前後犯罪各別ナル者ハ此限ニ在ラス

第六十七條 凡華士族罪ヲ犯シ自首スル者破廉耻甚ニ係ルト雖
モ本條自首ヲ聽ス可キ者ハ一體ニ罪ヲ免シ除族スルノ限ニ在

ラス

第六十八條 凡華士族罪ヲ犯シ人ノ告ント欲スルコトヲ知テ自首
スル者本條自首ヲ聽ス可キ者ハ罪減等セズシテ閏刑ニ處シ破

廉耻甚ニ以テ論セズ

第六十九條 凡知人欲告而首ト稱スルハ名ヲ指テ官ニ告ケ事已
ニ發セント欲スルコトヲ知テ自首スル者ヲ謂フ眞ニ罪ヲ悔ル心

ナク事發シ罪ヲ畏ルニ因リ首出ス故ニ本罪ニ二等ヲ減ス聞
捕而首ト稱スルハ官司人ヲ差シ已ニ捕獲セント欲スルコトヲ偵

知シテ自首スル者ヲ謂フ事機緊急已ムコトヲ得サルニ出テ悔懼
ノ心尤モ薄シ故ニ本罪ニ一等ヲ減ス越獄而首ト稱スルハ已ニ

囚禁セラレテ越獄逃走シ自首スル者ヲ謂フ止テ越獄ノ加等ス
可キ罪ヲ免シテ本罪ハ減スルコトヲ聽サズ

犯罪共逃

凡罪ヲ犯シ共ニ逃亡スルニ其輕罪ノ囚能ク重罪ノ囚ヲ捕獲シテ

首告シ及ヒ罪相等キ者能ク同逃一半以上ヲ捕獲シテ首告スレハ

全ク其罪ヲ免ズ人ヲ損傷シ及ヒ姦スル者ハ免サズ

二十五

條八

其人ニ因リ連累シテ罪ニ致シ正犯罪人自死スル者連累人ハ本罪ニ二等ヲ減スルヲ聽ス若シ罪人自ラ首告シ及ヒ恩赦ニ遇テ原免セラルレハ連累人モ亦原免ス減罪スレハ連累人モ亦減罪スルヲ聽ス

庶人犯罪不的決

凡庶人罪ヲ犯シ過誤失錯連累其他不幸ニ出テ事矜憫ス可ク情原諒ス可クシテ的決シ難キ者ハ法ニ依リ贖罪ヲ準ス

平民犯罪不實斷條例

原庶人犯罪不的決律

依リ贖罪ヲ準ス

第三十條 凡平民罪ヲ犯シ贖罪ス可キ者無力ニシテ贖フコ能ハサル者ハ律ニ依リ實斷スト雖モ死罪ハ一等ヲ減シテ懲役ニ服ス

斷罪無正條例

凡罪ヲ斷スル正條アリト雖モ所犯情狀輕キ者ハ仍ホ情法ヲ酌量シテ輕減スルヲ聽シ減シテ五等ニ過ルコト得ス

(按) 酌量減等ト贖罪法トハ異ナリト雖モ情ヲ酌ムハ一ナルヲ以テ姑ク爰ニ掲ク

條十九第條九十八第

條八十九第ヨ條一十九第

再犯加等罪例

凡竊盜及ヒ賭博ヲ犯シ已ニ官司ノ斷決ヲ經テ再ヒ犯ス者ハ並ニ後犯ノ本罪ニ一等ヲ加フ其贓ヲ計ルハ初犯ノ贓ニ通算シテ科スルコト得ス若シ初犯ノ罪赦前ニ在ル者ハ再犯ト雖モ仍ホ初犯ヲ以テ論ス

其初犯強盜ニシテ再犯竊盜ナル者及ヒ初犯竊盜ニシテ再犯強盜ナル者ハ再犯ト雖モ仍ホ並ニ初犯ヲ以テ論シ一等ヲ加フ

若シ徒限内ニ在テ逃走スル者ハ律ニ依リ罪ヲ科スト雖モ外ニ在テ又罪ヲ犯ス者徒罪以下杖笞ニ至ルマテ并ニ徒一等ヲ加フ加ヘテ四年ニ過ル者ハ流ニ入レ再逃スル者ハ本律ニ依テ之ヲ科ス

其先キニ罪ヲ犯シ未ダ論決セズシテ監獄ニ在リ脱越スル者ハ律ニ依リ罪ヲ科スト雖モ外ニ在テ又罪ヲ犯ス者ハ前後二罪ノ重キ者ニ從ヒ二等ヲ加フ贓罪ニ係ル者ハ贓ニ計ヘ通計合算シテ二等ヲ加フ

再犯加等罪例條例

第八十六條 凡減一等赦前後ニ盜ヲ犯ス者ハ赦後ノ贓ヲ以テ赦

第九十一條 第九十八條

前ノ賊ニ併セ罪一等ヲ減ス若シ併セテ赦後ノ本賊ト罪等キ者ハ減セス例首從賊并發者ト同シ

第八十七條 凡徒限内ニ逃走シ外ニ在テ又罪ヲ犯ス者徒罪以下杖笞ニ至ルマテ并ニ徒一等ヲ加フル律ヲ改メ懲役人逃條例ニ依テ科斷ス

增補 凡監守及ヒ常人盜再犯スル者ハ竊盜ト同ク并ニ後犯ノ本罪ヨ一等ヲ加フ

增補 凡初犯再犯各盜罪ヲ犯シ已ニ斷決ヲ經テ又盜罪ヲ犯ス者ハ其輕キ所ノ盜罪三犯ヲ以テ論シ若シ後犯ノ罪重キ者ハ重キニ從テ論ス假令ハ初犯竊盜再犯強盜ニシテ三犯監守盜ナル者

ハ並ニ竊盜三犯ヲ以テ論シ初犯監守盜再犯竊盜ニシテ三犯常人盜三百圓以上ナル者ハ常人盜ヲ以テ論シ初犯竊盜ニシテ再犯三犯強盜ナル者ハ強盜再犯ヲ以テ論スルノ類

改正 凡初犯再犯各盜罪ヲ犯シ已ニ斷決ヲ經テ又盜罪ヲ犯ス者ハ其輕キ所ノ盜罪三犯ヲ以テ論シ若シ後犯ノ罪重キ者ハ重キニ從テ論ス假令ハ初犯竊盜再犯強盜ニシテ三犯監守盜ナル者

ハ竊盜三犯ヲ以テ論シ初犯竊盜ニシテ再犯三犯強盜ナル者ハ強盜再犯ヲ以テ論スルノ類

增補 凡初犯竊盜ニシテ再犯監守盜若クハ常人盜ナル者及ヒ初犯監守盜ニシテ再犯常人盜若クハ竊盜ナル者及ヒ初犯常人盜ニシテ再犯監守盜若クハ竊盜ナル者ハ並ニ後犯ノ本罪ニ一等ヲ加フ

徒流人又犯罪 凡先キニ罪ヲ犯シ已ニ發覺シ尙ホ未ダ論決ヲ經スシテ又別罪ヲ犯ス者ハ先後二罪ノ重キ者ニ從テ之ヲ科ス若シ徒已ニ役シ流已ニ配シテ又別罪ヲ犯ス者ハ律ニ依リ再ヒ後犯ノ罪ヲ科ス其重キテ流ヲ犯ス者ハ三流並ニ拘役四年若シ徒ヲ犯ス者ハ後犯ノ徒限ニ依テ役スルモ亦四年ニ過ルコトヲ得ヌ其杖罪以下ハ各數ニ依テ之ヲ科ス

懲役人又犯罪條例 原徒流人又犯罪律 第四十一條 凡懲役百日以下ノ囚役限内ニ在リ又百日以下ノ罪ヲ犯ス者ハ前犯ノ日數ニ通算シテ之ヲ科ス若シ後犯一年以上

之ヲ科ス

第九十一條 第九十八條

第九十一條

ニ該ル者ハ新ニ後犯ノ罪ヲ全科ス
第四十二條 凡懲役一年以上ノ囚役限内ニ在リ又罪ヲ犯ス者ハ
後犯ノ日數ヲ加役スト雖モ重子テ一年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ已
ニ役過スル日數ヲ通算シテ前後四年ニ過ルヲ得ス若シ五年
以上ノ罪ヲ犯ス者ハ已ニ役過スル日數ヲ問ハス新ニ後犯ノ罪
ヲ全科ス
第四十三條 凡懲役五年以上ノ囚重子テ五年以上ノ罪ヲ犯ス者
ハ並ニ拘役四年ヲ加フ若シ三年以下ノ罪ヲ犯ス者ハ後犯ノ年
限ヲ折半シテ加役シ百日以下ノ罪ヲ犯ス者モ亦日數ニ照シテ
加役ス
第四十四條 凡懲役限内重子テ罪ヲ犯ス者ハ後犯推問曠役ノ日
數ヲ以テ原役限内ニ算入スルヲ得ス若シ推問ヲ經テ無罪ニ
歸スル者ハ仍ホ限内ニ算入ス
増補 凡懲役終身ノ囚人又百日以下ノ罪ヲ犯ス者ハ第五條ニ照
シテ棒鎖ヲ科シ一年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ四日以上七以下ノ
棒鎖五年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ八日以上十以下ノ棒鎖ヲ科ス

第九十一條

懲役終身ノ罪ヲ犯ス者ハ絞
改正 凡懲役終身ノ囚人又一年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ四日以上七
日以下ノ棒鎖改テ四日以上六日以下ノ棒鎖五年以上ノ罪ヲ犯
ス者ハ八日以上十以下ノ棒鎖改テ七日以上九日以下ノ棒鎖
懲役終身ノ罪ヲ犯ス者ハ絞改テ棒鎖十日
第五條 凡笞杖打決ヲ廢スト雖モ存留養親及ヒ懲役人逃却時決
ス可キ等ハ條例ニ照シテ並ニ棒鎖ニ換フ
棒鎖一日 原笞一十至五十 二日 原杖六十至七十 三日
八十至一百

刑法第九十九條 加減罪例 但本文第六十六條ノ下ニ載ス

二罪俱發以重論

凡二罪以上俱ニ發覺スレハ一ノ重キ者ヲ以テ論シ各等キハ一ニ
從テ科ス若シ一罪先キニ發シ已ニ論決ヲ經テ餘罪後ニ發シ輕ク
若クハ等キハ論スルヲ勿レ重キハ更ニ論シ前罪ニ通計シ後數ニ
充ツ其罪罪ニ係ル者ハ重罪ヲ以テ輕罪ニ併セ重キニ從テ科ス若
シ併セテ仍ホ輕ク若クハ等キハ一ノ重ニ從テ科ス輕罪ヲ以テ重

第三百條

贓ニ併スルヲ得ル假令ハ枉法贓百兩ヲ犯シ又竊盜二百兩ヲ犯セハ枉法贓ヲ以テ竊盜ニ併セ三百兩絞ニ處テ監守盜七十兩ヲ犯シ又不枉法一十兩ヲ犯セハ仍ホ輕シ一ノ監守盜七十兩ヲ以テ科ス常人盜八十兩ヲ犯シ又竊盜一十兩ヲ犯セハ罪等シ一ノ常人盜八十兩ニ從テ科スルノ類 (二〇〇、一〇三)

二罪俱發以重論條例

第七十條 凡罪ヲ犯シ實斷贖罪並發スルニ罪各等キ者ハ一ノ實斷ヲ以テ論ス若シ贖罪實斷ヨリ重キ者ハ重キニ從ヒ贖罪ニ處ス士族ノ破廉耻甚ヲ犯ス者ハ此例ヲ用ヒス (二〇〇)

第七十一條 凡二罪以上俱ニ發覺スレハ一ノ重キ者ヲ以テ論シ各等キハ一ニ從テ科スト雖モ其贓物ノ追徵シテ官ニ入レ主ニ給シ若シハ棄毀器物ノ賠償ス可キ等ハ各本法ヲ盡ス

七十二條 凡二次以上盜ヲ爲シ首從ノ贓並發スル者ハ首從ノ贓ヲ併セテ罪一等ヲ減ス若シ併セテ首贓ノ本罪ト仍ホ等キ者ハ更ニ減セテ假令ハ從贓五十圓ナルニ首贓四十圓ナルハ之ヲ併セテ九十圓懲役三年一等ヲ減シ二年半ヲ科ス若シ首贓百二

第三百條

十圓懲役十年ニ該ル者從贓ニ併セテ罪仍ホ等キ者ハ減セテテ全科ス

第七十三條 凡二次盜ヲ爲シ一次先キニ發シ已ニ論決ヲ經テ一次後ニ發シ及ヒ先キニ審結シテ贓ヲ盡サ、ル者論決ノ後發覺スレハ俱ニ後發ノ贓ヲ以テ前贓ニ併セ罪加フ可キ無ケレハ論セス若シ併セテ重キ者ハ更ニ加ヘテ全科ス

第七十四條 凡罪ヲ犯シ實斷收贖並發スル者ハ收贖折減法ニ照シテ重キニ從ヒ實斷ニ處ス假令ハ實斷ノ懲役十日ヲ犯シ又收贖ノ十年ヲ犯セハ十年ヨリ五等ヲ減シテ懲役二年ニ實斷ス實斷ノ五十日ヲ犯シ又收贖ノ百日ヲ犯セハ百日ヲ折半シテ五十日罪仍ホ等シ實斷ノ五十日ニ處スルノ類

第七十五條 凡華士族破廉耻甚ノ懲役百日以下ヲ犯シ又閏刑ノ禁錮一年以上ヲ犯シ二罪俱發スレハ一ノ破廉耻甚ヲ以テ重ト爲シテ論ス

共犯罪分首從

凡共ニ罪ヲ犯ス者ハ造意一人ヲ以テ首ト爲シ隨從者ハ從ト爲シ

第四百條ヨリ第百十條

三十四

一等ヲ減ス若シ一家人共ニ罪ヲ犯セハ止タ尊長ヲ坐シ卑幼ハ論
 セス若シ尊長年八十以上及ヒ篤疾アレハ共犯スル其次ノ尊長ヲ
 坐ス婦人ノ尊長ハ首ヲリト雖モ仍ホ卑幼ノ男夫ヲ坐ス (二〇五)
 其盜罪及ヒ枉法不枉法若クハ鬪毆殺傷等父子同ク犯スハ並ニ凡
 人首從ノ法ニ依ル
 若シ共ニ罪ヲ犯シテ首從ノ本罪各別ナル者ハ各本律ノ首從ニ依
 テ論ス假令ハ甲他人ヲ引テ共ニ兄ヲ毆テハ甲ハ弟毆兄律ニ依リ
 他人ハ凡人鬪毆ニ依テ論ス又卑幼外人ヲ引キ己レノ家ノ財物ヲ
 盜メハ卑幼ハ私擅用財律ニ二等ヲ加ヘ外人ハ凡盜ノ從ニ依テ論
 スルノ類 (二一〇)
 若シ本條内ニ皆ト言フ者ハ首從ヲ分タス一體ニ之ヲ坐シ皆ト言
 ハサル者ハ首從ノ法ニ依ル
 共犯罪分首從條例
 第七十九條 凡本條ニ皆ト言ハスト雖モ脱籍越獄及ヒ犯姦若ク
 ハ懲役人逃等身自ヲ犯スヲ以テ罪ヲ得ルニ係ル者ハ並ニ首從
 ヲ分タス各本科ニ處ス

第四百條ヨリ第百十條

第八十條 凡一家人共ニ寶貨ヲ偽造スル者ハ一家共犯罪ニ依リ
 止タ尊長ヲ坐シ卑幼ハ論セス
 稱同罪
 凡同罪ト稱スル者ハ止タ其罪ニ坐ス正犯死ニ至ル者同罪者ハ一
 等ヲ減シ罪流三等ニ止ル惟タ正犯ノ財ヲ受ケ故縱スル同罪者正
 犯死ニ至レハ同罪者ハ絞ニ處ス其罪同ト稱スル者ハ死ニ至ルモ
 減等セス
 枉法ニ準シテ論ス盜ニ準シテ論スト稱スル等ハ但タ其罪ニ準シ
 亦罪流三等ニ止ル
 枉法ヲ以テ論ス盜ヲ以テ論スト稱スル等ハ皆正犯ト同シ絞斬モ
 本律ニ依テ之ヲ科ス
 稱同罪條例
 第八十八條 凡正犯ノ財ヲ受ケ故縱スル同罪者正犯死ニ至レハ
 同罪者ハ絞ニ處スル律ヲ改メ懲役終身ニ從フ
 第八十九條 凡盜ニ準シテ論スル罪ハ犯數ニ計ヘス罪懲役十年
 ニ止ル

三十五

共謀爲盜

凡共ニ強盜ヲ爲ント謀リ其一人臨時行ハスシテ餘ノ行フ者謀ニ違ヒ卻テ竊盜ヲ爲セハ共謀ノ造意者ハ行ハスト雖モ賊ヲ分テハ竊盜ノ首ト爲シ餘人ハ並ニ竊盜ノ從ト爲ス若シ造意者行ハス又賊ヲ分テサルハ竊盜ノ從ト爲シ餘人ノ行ハス又賊ヲ分テサル者ハ並ニ等四十臨時主意シテ盜ヲ爲ス者ヲ以テ竊盜ノ首ト爲ス
(二〇八)

其共ニ竊盜ヲ爲ント謀リ其一人臨時行ハスシテ餘ノ行フ者謀ニ違ヒ卻テ強盜ヲ爲セハ造意者ハ行ハスト雖モ賊ヲ分テハ竊盜ノ首ト爲ス造意者行ハス又賊ヲ分テス及ヒ餘人ノ行ハスシテ賊ヲ分ツ者ハ俱ニ竊盜ノ從ト爲シ臨時主意シ及ヒ共ニ強盜ヲ爲ス者ヲ以テ首從ヲ分テス論ス (二〇八)

詐教誘人犯法

凡詐テ人ヲ教誘シテ法ヲ犯サシメ卻テ自ラ捕獲シ若クハ告擧シ或ハ人ヲシテ捕告セシムル者ハ法ヲ犯スノ人ト同罪

刑法第百十一條ヨリ第百十三條 (按)新律綱領改定律例ニ據レハ未

第四百條

遂犯罪ノ正條ナシト雖モ謀殺條第二項傷シテ死セサル者或ハ強盜顯跡アル者及ヒ竊盜未得財ノ如キハ未遂犯罪ト爲ス但シ其傷シテ死セサル者或ハ竊盜未得財ニ付キテハ謀殺竊盜等ノ各本條ニ至リテ對比スルヲ以テ爰ニ之ヲ載ス

五等親圖

| 第百四十四條 第百五十五條 | | |
|---------------|------|-----|
| 一 | 等 | 親 |
| 父母 | 夫 | 養子 |
| 養父母 | 子 | |
| 第百四十五條 第百五十六條 | | |
| 二 | 等 | 親 |
| 祖父母 | 兄弟姊妹 | 孫 |
| 嫡母 | 夫ノ父母 | 妻妾 |
| 繼母 | 伯叔父姑 | 姪 |
| | | 子ノ婦 |

| 第百四十四條 第百五十五條 | | |
|---------------|--------|-----|
| 三 | 等 | 親 |
| 曾祖父母 | 夫ノ姪 | 姪ノ婦 |
| 伯叔ノ婦 | 從父兄弟姊妹 | 繼父 |
| | 夫ノ伯叔父姑 | |
| | 庶子 | |
| | 異父兄弟姊妹 | |
| | 夫ノ祖父母 | |
| 第百四十五條 第百五十六條 | | |
| 四 | 等 | 親 |
| 高祖父母 | 從祖伯叔父姑 | 外甥 |
| 從祖祖父母姑 | 夫ノ兄弟姊妹 | 會孫 |
| | 兄弟ノ妻 | 孫ノ婦 |
| | 再從兄弟姊妹 | |
| | 兄弟ノ孫 | |
| | 外祖父母 | |
| | 舅姨前夫ノ子 | |
| | 從父兄弟ノ子 | |

第百四十五條

| | | |
|----|------|------|
| 親 | 等 | 五 |
| 外孫 | 舅姨ノ子 | 妻ノ父母 |
| 女婿 | 玄孫 | 婚ノ子 |

從父兄弟姊妹ハ兄弟ノ子相呼テ
 從父ト爲ス長者ヲ兄ト曰ヒ少者
 ナ弟ト曰フ
 從祖祖父姑ハ祖父ノ兄弟姊妹ヲ
 謂フ
 從祖伯叔父姑ハ從祖祖父ノ子ヲ
 謂フ即チ父ノ從父兄弟姊妹
 再從兄弟姊妹ハ從祖伯叔父ノ子
 ナ謂フ
 舅姨ハ母ノ兄弟ヲ舅ト曰ヒ姊妹
 ナ姨ト曰フ

刑法第百十六條乃至第百二十五條

對照ス可キ者ナシ

第三百六十六條

兇徒聚衆
 凡兇徒衆ヲ聚メ村市ヲ毀壞燒亡シ財物ヲ劫奪シ若クハ人民ヲ殺
 死スル者造意ハ斬從ハ流三等從ノ手ヲ下シ人ヲ殺シ火ヲ放ツ者
 ハ絞其止メ附和隨行シ場ニ在テ勢ヲ助クル者ハ論スルヲ勿レ
 (二三八)
 若シ地方ノ凶荒ニ乘シ衆ヲ聚メ良民ヲ擾害シ官長ヲ挾制シ及ヒ
 賑貸稍遲キニ因テ村市ヲ搶奪シ官廨ニ喧鬧シ及ヒ私憤ヲ懷挾シ
 衆ヲ聚メテ市ヲ罷メ官ヲ辱ムル者並ニ首ハ絞從ハ流三等其餘ノ
 附隨ハ亦論スルヲ勿レ (二三七)
 兇徒聚衆條例
 第三百五十一條 凡兇徒聚衆ノ從ニシテ情輕キ者ハ懲役三年
 第三百五十二條 凡附和隨行シテ火ヲ放ツ者ハ從ニシテ火ヲ放ツ
 者ニ二等ヲ減シ懲役十年其脅誘セラレテ火ヲ放ツ者ハ懲役三
 年其餘牆屋ヲ毀ツ者ハ不應爲重ニ問フ其止メ場ニ在テ勢ヲ助
 シル者ハ勿論ノ律ヲ改メ違令ニ問ヒ輕重ヲ分テ贖罪スルヲナ

聽ス (二三八)

第五百十三條 凡衆ヲ聚メ訟ヲ構ヘ官ニ強逼スト雖モ良民ヲ擾害スルニ至ラサル者首ハ懲役十年從ハ一等ヲ減ス從ニシテ情輕キ者ハ二等ヲ減ス (二三六)

刑法第百三十九條第百四十條 (按)對比ス可キモノナシ

罵本屬長官

凡吏卒軍民本屬ノ勅任長官ヲ罵ル者ハ徒一年奏任長官ヲ罵ル者ハ杖九十判任長官ヲ罵ル者ハ杖六十

其長官及ヒ本屬ニ非ル者ハ各二等ヲ減ス並ニ親ヲ聞テ乃坐ス

罵官吏律 原罵本屬長官律

第二百三十四條 凡勅任官ヲ罵ル者ハ懲役一年奏任官ヲ罵ル者

ハ懲役九十日判任官ヲ罵ル者ハ懲役六十日並ニ親ヲ聞テ乃坐ス

獄囚脱監及反獄逃走

凡罪ヲ犯シ囚禁セラレテ脱監及ヒ越獄シテ逃走スル者ハ各本罪上ニ二等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル本罪死スヘキ者ハ常律ニ依

百第

條一十四百第

條三十五百第リヨ條二十四

「若シ罪囚反獄シテ逃走スル者ハ皆斬同牢ノ囚人反情ヲ知ラサル者ハ坐セス」其罪囚水火震災ノ變ニ因テ逸出シ投歸スル者ハ斬絞以下各一等ヲ減ス

獄囚脱監及反獄逃走條例

第二百九十三條 凡脱監及ヒ越獄シテ逃走スル者ハ各本罪上ニ

二等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル律ヲ改メ懲役終身ニ止ル (二四四)

第二百九十四條 凡反獄シテ逃走スル者ハ皆斬ニ處スル律ヲ改

メ首ハ斬從ハ懲役終身 (二四四)

第二百九十六條 凡脱監及ヒ越獄シテ逃走スル者再逃以上ハ又

二等ヲ累加シ罪懲役終身ニ止ム懲役場ヲ逃走シ又監獄ヲ脱越

スル者罪亦同

第二百九十七條 凡犯人責付内ニ逃走スル者ハ本罪ニ一等ヲ加

フ若シ囚禁及ヒ責付内ニ逃走シテ自首スル者ハ止タ本罪ヲ科シテ逃罪ヲ免ス

徒流人逃

凡徒流ノ囚人役限未タ満スシテ逃走スル者ハ杖七十仍ホ配所ニ發シ其徒流原犯ノ年限ニ照シテ新ニ拘役シ已ニ役過セシ月日ハ並ニ通算セヌ再ヒ逃走スル者ハ絞(二四三)

若シ已ニ斷決セシ徒流ノ罪囚ヲ發遣シ未タ配所ニ到ラス中途ニシテ逃走スル者モ罪亦同(二四三)

若シ主守及ヒ押解人罪囚ノ逃走スルヲ覺ラサル者ハ一名ニ答四十一名毎トヨ一等ヲ加ヘ罪杖一百ニ止ル故縱スル者ハ各囚ト同罪罪流三等ニ止ル財ヲ受ル者ハ賍ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス(二四八)

改正 主守及ヒ押解人罪囚ノ逃走ヲ覺ラサル者ハ一名ニ答四十一名毎ト一等ヲ加ヘ罪杖一百ニ止ルノ律ヲ改メテ未決ノ罪囚ト同シク主守不覺失囚律ニ依ル(二四八)

懲役人逃條例 原徒流人逃律

第二百九十八條 凡懲役一年以上ノ囚人限内逃走スル者ハ杖七十改テ棒鎖二日再ヒ逃走スル者ハ絞改テ懲役終身(二四二)

第二百九十九條 凡懲役百日以下ノ囚人限内逃走スル者ハ棒鎖

一日仍ホ原犯ノ日限ニ照シテ新ニ拘役シ再ヒ逃走スル者ハ棒鎖二日更ニ懲役一年ニ入ル若シ外ニ在テ又百日以下ノ罪ヲ犯セハ原犯後犯ヲ通算シテ新ニ拘役ス其一年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ止タ後犯ノ年限ニ照シテ更ニ科斷ス(二四二)

第三百條 凡懲役一年以上ノ囚人逃走スル者ハ例ニ照シ棒鎖二日仍ホ原犯ノ年限ニ照シテ新ニ拘役スト雖モ若シ逃走シ外ニ在テ又三年以下ノ罪ヲ犯セハ後犯ノ年限ニ原犯ノ年限ヲ合セテ拘役スルモ亦四年ニ過ルヲ得ス百日以下ノ罪ヲ犯ス者モ亦原犯ニ合セテ拘役ス其五年以上ノ罪ヲ犯ス者ハ止タ後犯ノ年限ニ照シテ科斷ス(二四二)

第三百一條 凡懲役五年以上ノ囚人限内逃走スル者モ亦例ニ照シテ棒鎖二日仍ホ原犯ノ年限ニ照シテ新ニ拘役スト雖モ若シ逃走シ外ニ在テ重子テ五年以上十年以下ノ罪ヲ犯ス者ハ並ニ拘役四年ヲ加フ其一年以上三年以下ノ罪ヲ犯ス者ハ後犯ノ年限ヲ折半シテ加役ス其百日以下ノ罪ヲ犯ス者ハ役限ヲ全加シテ折半スルヲ用ヒス(二四二)

第三百五十二條 凡懲役終身ノ囚人逃走スル者ハ絞ハ絞 (二四二)

第三百五十二條 凡懲役終身ノ囚人逃走スル者ハ絞ハ絞 (二四二)
増補 凡懲役終身ノ囚人逃走スル者ハ棒鎖三日再ヒ逃走スル者

凡懲役終身ノ囚人逃走シ外ニ在テ又罪ヲ犯ス者ハ懲役人又犯罪條内懲役終身ノ囚人又罪ヲ犯スノ例ニ照シテ科斷ス(二四二)
改正 凡懲役終身ノ囚人再ヒ逃走スル者ハ絞改テ棒鎖十日 (二四二)

第三百三條 凡懲役人逃走シテ自首スル者ハ逃罪ヲ免シ仍ホ原犯ノ年限ニ照シテ新ニ拘役ス若シ外ニ在テ又罪ヲ犯ス者ハ自首法ニ照シテ首免ヲ與フト雖モ其逃罪及ヒ從新拘役ハ仍ホ本法ヲ盡ス (二四二)

第三百五條 凡懲役人逃走ヲ圖リ未タ役場ヲ離レスシテ捕ニ就ク者ハ棒鎖二日從新拘役ノ限ニ在ラス (二四九)

第三百六條 凡懲役人水火震災ノ變ニ因テ逸出シ二十四時間ニ投歸スル者ハ逃罪ヲ問ハス若シ時ヲ過テ投歸セサル者ハ例ニ照シテ棒鎖二日仍ホ原役ノ剩ル日數ヲ役ス「其變ニ遇ヒ内ニ

第三百五十二條 凡懲役終身ノ囚人逃走スル者ハ絞ハ絞 (二四二)

在テ逸出セス能ク消救防禦スル者ハ本罪ニ一等ヲ減ス

主守不覺失囚

凡主守罪囚ノ逃走スルヲ覺ラサル者ハ答四十若シ罪囚反獄シテ逃走スルトキハ一等ヲ減ス故縱スル者ハ各囚ト同罪罪流三等ニ止ル (二五〇)

若シ未タ斷決セサルノ間自ラ捕獲シ及ヒ他人捕得シ若クハ囚已ニ死シ及ヒ自首スレハ各一等ヲ減ス財ヲ受ル者ハ贓ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス (二四八)

若シ賊外ヨリ獄ニ入り罪囚ヲ劫スニ防禦スト雖モ力敵スルヲ能ハサル者ハ論スルヲ勿レ

主守不覺失囚例

第三百八條 凡主守看守ニ失シ因テ未決ノ囚自盡ニ至ラシムル者ハ懲役三十日 (二五〇)

第三百九條 凡主守囚ノ逃走ヲ覺ラサル者ハ捕限二十日ヲ給シ追捕セシム限内捕得スレハ二等ヲ減ス其故縱スル者ハ捕限ヲ給セヌ (二五〇)

第三百十條

凡保管人囚ノ逃走ヲ覺ラサル者ハ主守不覺失囚律ニ二等ヲ減ス (二五〇)

藏匿罪人

凡他人罪ヲ犯シ事發シテ官司人ヲ差ハシ追喚スルヲ知リ家ニ藏匿シテ捕告ヲ行ハス及ヒ逃走スル道路ヲ指引シ衣糧ヲ資給シ送テ他所ニ隱避セシムル者ハ各罪人ノ罪ニ一等ヲ減ス其輾轉シテ相送り罪人ヲ隱匿スル者情ヲ知ル者ハ皆坐ス知ラサル者ハ論スルヲ勿レ (二五二)

若シ官司ノ追捕ヲ偵知シテ其事情ヲ漏泄シ罪人ヲシテ隱避セシムル者モ罪人ノ罪ニ一等ヲ減ス未ダ斷決セサルノ間自ラ捕獲スル者ハ罪ヲ免ス若シ他人捕得シ及ヒ罪人已ニ死シ若クハ自首スレハ又各一等ヲ減ス (二五二)

其罪人ニ追劫セラレ力制スルヲ能ハス已ムヲ得スシテ藏匿スル者ハ三等ヲ減ス

藏匿罪人條例

第三百十一條 凡官司人ヲ差ハシ追喚スル罪人タルヲ知テ爲

第三百五條

メニ藏匿指引シテ隱避セシムル者ハ各罪人ノ罪ニ一等ヲ減スル律ヲ改メ減二等ニ從フ若シ罪人未ダ官司ノ追喚ニ係ラス若クハ已ニ追喚スル者ト雖モ未ダ知ラズシテ藏匿隱避セシムル者ハ俱ニ情ヲ量テ不應爲ニ問ヒ輕重ヲ分ツ (二五一)

與囚金刃

凡獄卒金刃及ヒ他物ノ自殺スヘク及ヒ解脫スヘキノ具ヲ以テ囚ニ與フル者ハ杖一百囚ヲ囚逃走シ及ヒ自傷シ或ハ人ヲ傷スルヲ致ス者ハ徒一年若シ囚自殺シ及ヒ人ヲ殺ス者ハ徒二年若シ財ヲ受ル者ハ賊ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス (二四六)

與囚金刃條例

第三百十二條 凡常人囚ニ金刃ヲ與ヘ及ヒ子孫祖父母父母ニ與

ヘ雇人家長ニ與フル者ハ各獄卒ノ罪ニ一等ヲ減ス (二四六)

第三百十三條 凡獄卒金錢其他應禁ノ物ヲ傳遞シテ囚ニ與フル者ハ違令重ニ問フ若シ財ヲ受ル者ハ賊ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス (二四六)

親屬相爲容隱

第四百二十四條ヨリ第四百五十三條

凡同居ノ親屬若クハ別居三等以上ノ親屬及ヒ外祖父母外孫妻ノ父母女婿若クハ孫ノ婦夫ノ兄弟及ヒ兄弟ノ妻並ニ罪ヲ犯シ相容隠シ奴婢雇人家長ノ爲メニ容隠スル者ハ皆論スルヲ勿レ(二五三)若シ官司ノ追捕ヲ偵知シテ其事情ヲ漏泄シ或ハ消息ヲ通報シ罪人ヲシテ隱避セシムル者モ亦罪ニ坐セス其別居四等以下ノ親屬相容隠シ及ヒ事情ヲ漏泄スル者ハ各凡人ニ三等ヲ減ス (二五三)

親屬相爲容隠條例

第八十一條 凡祖父母ト稱スル者ハ曾高同シ孫ト稱スル者ハ曾

玄同シ嫡孫承祖ハ父母ト同シ子ト稱スル者ハ男女同シ(二五三)

第八十二條 凡異籍ノ親屬共居同爨シ若クハ産ヲ破リ寄食シテ

恩養ヲ受ル者ハ俱ニ同居親屬ヲ以テ論ス (二五三)

(付言) 茲ニ親屬相爲容隠ノ法ヲ對比スルハ他ナシ第五百五十三

條ニ親屬ノ犯ス者ハ其罪ヲ論セストシ其意親屬タルノ愛情ノ

禁シ難キ等ヨリ此罪ヲ犯スハ人性ノ免レ得サル可キヲ想像ス

ル者ニテ新舊法共ニ其義相同シキヲ以テナリ

劫囚

第四百五十四條ヨリ第四百五十五條

第四百四十四條 凡囚ヲ劫スル者ハ親屬他人ヲ分タズ成否ヲ論セズ皆流ニ等人ヲ傷シ及ヒ死囚ヲ劫スル者ハ皆絞若シ囚ヲ竊テ逃走スル者ハ囚ト同罪竊テ未ダ得サル者ハ二等ヲ減ス (二四七)

劫囚條例

第四百三十四條 凡囚ヲ劫スル者ハ皆流ニ等改テ懲役十年人ヲ傷

シ及ヒ死囚ヲ劫スル者ハ皆絞改テ懲役終身 (二四七)

自第四百五十四條至第四百七十條 對照ス可キ者ナシ

刑法第四百七十一條第四百七十二條 賊盜律夜無故入人家條 (二七二)

改定律例第四百五十五條 但各本文ハ載テ第三百九十條ノ下ニ在リ

(二七二)

第二百十五條 凡皇城門ニ擅入スル者ハ懲役五十日宮殿ニ擅入

スル者ハ懲役百日 (二七三)

自第四百七十四條至第四百七十六條 對照ス可キモノナシ

第四百七十七條乃至第四百八十一條 對比ス可キモノナシ

偽造寶貨

「凡寶貨ヲ偽造シ已ニ行使スレハ銀數ノ多寡ヲ論セズ首タル者

條三十九百第リヨ條二十八百

ハ竊從タル者及ヒ匠人若クハ情ヲ知テ買使スル者ハ並ニ斬其雇人謀役ニ供スル者ハ徒三年」
若シ偽造已ニ成リ未タ行使セサル者ハ斬從タル者及ヒ匠人ハ流三等雇人ハ徒一年半若シ偽造未タ成テサル者ハ流三等從タル者及ヒ匠人ハ徒三年雇人ハ徒一年 (二八六、一八七)

改正偽造寶貨律

第二百四十九條 凡寶貨ヲ偽造シ已ニ行使スル者首ハ斬從及ヒ匠人若クハ情ヲ知テ買使スル者ハ懲役終身其雜役ニ供スル者ハ懲役十年未タ行使セサル者ハ各一等ヲ減ス

改正 凡寶貨ヲ偽造シ已ニ行使スル者首ハ斬改テ懲役終身從及ヒ匠人若クハ情ヲ知テ買使スル者ハ懲役終身改テ懲役十年其雜役ニ供スル者ハ懲役十年改テ懲役七年 (二八二、一八五、一八七)
其偽造未タ成ラサル者首ハ懲役三年從及ヒ匠人ハ懲役二年半雜役者ハ懲役百日 (二八六、一八七)
若シ過テ悔ヒ自首スル者已ニ行使スルハ二等ヲ減シ未タ行使セサルハ罪ヲ免ス (二九二)

條三十九百第リヨ條二十八百第

偽造寶貨條例

第二百五十條 凡金銀貨幣ノ邊緣ヲ剪錯シテ利ヲ取り行使スル者ハ懲役三年

第二百五十一條 凡紙幣ノ字樣ヲ挑剝シ成片ヲ補綴シ筆畫ヲ描改シ眞ヲ以テ偽ニ作り行使スル者ハ懲役五年

第二百五十二條 凡偽造タルコトヲ知テ買取シ未タ行使セサル者ハ已買使者ニ一等ヲ減ス (二九〇)

第二百五十三條 凡偽造タルコトヲ知テ雇ヲ受ケ接遞シテ眞貨ニ兌換スル者ハ知情買使ヲ以テ論ス (二九〇)

第二百五十四條 凡偽造スルノ情ヲ知テ房屋ヲ給シ及ヒ窩藏スル者ハ已未行使ヲ分チ並ニ偽造從ヲ以テ論ス (二八八)

第二百五十五條 凡雜役ニ供スル者雇工錢ニ偽貨ヲ受ケ行使スル者ハ知情行使ニ依ル (二九〇)

第二百五十六條 凡偽造已ニ成リ未タ行使セズシテ悔悟シ其夥黨ヲ脱スト雖モ首報セサル者ハ偽造已成未行使ヲ以テ論ス其偽造未タ成テサル者ハ懲役百日

第二百五十七條 凡人ノ寶貨ヲ偽造スルコトヲ知テ官司ニ申報セサル者ハ違令重ニ問フ

第二百五十八條 凡寶貨ヲ取受スルノ後始テ偽造ニ係ルコトヲ知リ官ノ檢視ヲ經スシテ行使スル者ハ不應爲重ニ問フ (一九三)

偽造官印

凡官ノ印ヲ偽造スル者ハ綾省臺察司府藩縣ノ印ハ流一等餘ノ印ハ徒一年未ダ行使セサル者ハ各一等ヲ減ス財ヲ得ル者ハ各盜罪ヲ以テ重キニ從テ論ス (一九五)

偽造官印條例

第二百四十八條 凡官ノ印ヲ偽造スル者ハ綾ニ處スル律ヲ改メ懲役終身 (一九五)

詐爲官文書

凡官ノ文書ヲ詐爲シ及ヒ増減スル者ハ皆徒三年省臺察司府藩縣ノ文書ハ二等ヲ減シ餘ノ文書ハ五等ヲ減ス未ダ施行セサル者ハ各一等ヲ減シ重事ニ關スル文書ハ各一等ヲ加フ若シ規避スル所アル者ハ各重キニ從テ論ス (二〇三、二〇四)

第二百二條 第二百一七條

(付言) 第二百四條ヲ茲ニ對比スルハ頗ル穩ナラサルカ如シト雖モ凡ソ是等ノ文書ヲ偽造スル者ハ多ク其印ヲモ偽造セサレハ能ハサルカ故ナリ故ニ其第二項ハ對比ノ限ニアラス其當該ノ官司知テ聽行スル者ハ各同罪罪流三等ニ止ル知ラサル者ハ坐セス (二〇三、二〇四)

(付言) 舊律ニハ知テ聽行スル者アレヒ新刑法ニハナシ蓋シ其明文ヲ缺ク所以ハ他ナシ是等ノ官吏ハ皆共犯ト爲ス可キニ因ル故ニ之ヲ第二百三條及ヒ第二百四條ト對比ス

棄毀器物稼穡

凡人ノ器物ヲ棄毀シ及ヒ樹木稼穡ヲ毀伐スル者ハ賊ニ計ヘ竊盜ニ準シテ論ス官物ハ一等ヲ加フ若シ官物ヲ遺失シ及ヒ誤毀スル者ハ各三等ヲ減シ並ニ數ヲ驗シテ追償ス私物ヲ遺失誤毀スル者ハ但テ償テ罪ニ坐セス

棄毀器物稼穡條例

第一百十條 凡牛馬ヲ失防シテ田野ノ穀麥ヲ毀損スル者ハ違式輕ニ依リ若シ毀損スル所賊ニ計ヘテ重キ者ハ坐賊ニ依リ二等ヲ

第二百二條

減シ仍ホ毀損スル所ノ物ヲ賠償セシム
第百十一條 凡故ナク河防ヲ決潰シ水柵石籠ヲ毀損スル者ハ情
ヲ量リテ不應爲ニ問ヒ輕重ヲ分ツ

(按) 職制律棄毀官文書ノ條アリタレモ明治九年第四十八號布
告ヲ以テ廢セラレタリ依テ爾後官吏ニアラサル者官ノ文書ヲ
毀棄シタルハ之ヲ不問ニ付ス可キカ如シ然レモ職制律中有
心故造ニ係ル罪ハ渾テ例第九十條ニ據テ區處ス可キコトハ職
司法省指令錄ニ在リ左レハ實際ニ於テハ或ハ爲ニ所罰セラ
ルコトアル可シト考フルニ付第二百三條第二百五條ノ對照トシ
テ茲ニ一言ス

詐爲官文書條例

第二百四十六條 凡私ノ文書ヲ詐爲スル者ハ情ヲ量リ不應爲ニ
問ヒ輕重ヲ分ツ (三〇九、二一〇)

偽造私印

凡私印ヲ偽造スル者ハ杖一百財ヲ得ル者ハ贓ニ計ヘ各盜罪ヲ以
テ重キニ從テ論ス (二〇八)

第二百八條
第二百九條
第二百十條

刑法第二百十三條 第二百十四條 對比ス可キモノナシ

詐稱病死傷

凡官吏人等疾病ト詐稱シ事ニ臨テ難ヲ避ル者ハ笞三十避ル所事
重キ者ハ杖七十

若シ罪ヲ犯シテ死スト詐稱シ喚問ヲ免レントスル者ハ徒一年半
避ル所事重キ者ハ各重キニ從テ論ス

若シ人ト忿争シテ故サラニ自ラ傷殘シ人ニ詐賴スル者ハ杖七十
其雇ヒテ受ケ人ノ爲ニ傷殘スル者ハ犯人ト同罪因テ死ニ致ス者

ハ闘殺罪ニ一等ヲ減ス
若シ當該ノ官司知テ聽行スル者ハ同罪罪流三等ニ止ル知ラサル
者ハ坐セズ

(付言) 以上ノ罪ハ新法中直面ニ對比スル者アルヲ觀ス然レモ
其事狀稍類似スルヲ以テ茲ニ掲ク

刑法第二百十六條 第二百十七條 對比ス可キモノナシ

獄囚誣指無罪人

若シ囚ヲ鞫シテ證佐ノ人實情ヲ言ハス故サラニ誣證ヲ行フ者ハ

第二百十八條
第二百十九條

第二百十五條

廿六條

罪人ノ罪ニ二等ヲ減ス (二二〇)

偽造斛斗秤尺

凡斛斗秤尺ヲ偽造スル者ハ流一等從タル者及ヒ匠人ハ徒三年 (三二七)

偽造斛斗秤尺條例

增補 凡斛斗ノ邊縁ヲ增補シ秤量ノ標星縣紐ヲ變換シテ利ヲ圖ル者ハ懲役一年半情輕キ者ハ不應爲律ニ問ヒ輕重ヲ分ツ (三二七)

(付言) 該增補ノ條ニ云フ所ノ事犯ハ即チ變造ニ入ルモノナリ

詐稱官

凡無官ニシテ有官ト詐稱シ或ハ官司ノ差遣ト詐稱シテ人ヲ捕ヘ及ヒ官員ノ姓名ヲ詐冒シテ求爲スル所アル者ハ徒二年半犯ス所輕キ者ハ杖七十 (三三二)

若シ見任官ノ平孫弟姪家令等ト詐稱シテ求爲スル所アル者ハ杖九十犯ス所輕キ者ハ答三十從タル者ハ各一等ヲ減ス (三三一)

若シ財ヲ得ル者ハ贓ニ計ヘ竊盜ニ準シ重キニ從テ論ス罪流三等

第二百三十一條

第二百二十七條

ニ止ル

詐稱官條例

第二百五十九條 凡郷貫名氏ヲ詐稱シテ客廬ニ宿スル者ハ不應爲輕ニ問フ (三三一)

刑法第二百三十三條乃至第二百三十六條 對比ス可キモノナシ

販賣鴉片烟

(三三七)

凡鴉片烟ヲ販賣シテ利ヲ圖ル者首ハ斬從ハ流三等 (三三七)

若シ人ヲ引誘シテ吸食セシムル者ハ絞從及ヒ情ヲ知リ房屋ヲ給

スル者ハ流三等引誘セラレテ吸食スル者ハ徒一年 (三四〇)

若シ販賣シテ未ダ售賣セサル者首ハ流三等從ハ徒三年買食スル

者ハ徒二年半並ニ鴉片烟ハ官ニ沒入ス

若シ官吏知テ擧セサル者ハ同罪罪流三等ニ止ル財ヲ受ル者ハ枉

法ヲ以テ重ニ從テ論ス

刑法第二百四十三條乃至第二百四十九條 對比ス可キモノナシ

刑法第二百五十條乃至第二百五十五條 對比ス可キモノナシ

庸醫殺傷人

第二百六十五條

凡庸醫藥ヲ用ヒ誤テ本方ニ依ラス因テ死ニ致ス者ハ過失殺ヲ以テ論シ法ニ依リ收贖シテ其家ニ給付シ醫ヲ行フコトヲ許サス
(二五七)
若シ故サラニ本方ニ違ヒ疾病ヲ詐療シテ財物ヲ取ル者ハ贓ニ計ヘ竊盜ニ準シテ論ス因テ死ニ致シ及ヒ事ニ因テ故サラニ藥ヲ用ヒ人ヲ殺ス者ハ斬

刑法第二百五十八條乃至第二百五十九條 對比ス可キモノナシ

賭博

凡財物ヲ賭シ博戯ヲ爲ス者ハ皆杖八十賭場ノ財物ハ官ニ入ル其賭房ヲ關張スル人ハ其列ニ與ラスト雖モ同罪飲食ヲ賭スル者ハ論スルコト勿レ (二六〇、二六一)
若シ產業無クシテ常ニ腰刀ヲ挾帶シ無賴ノ徒ヲ招結シ賭場ヲ開張シ四鄰ニ橫行スル者ハ皆流一等

賭博條例

第二百六十九條 凡賭博三犯以上ハ懲役一年

第二百七十條 凡賭場現在ノ財物ハ官ニ入ルト雖モ其田宅等不

第二百六十二條

動産ニ係ル者ハ原主ニ還付シ官ニ入ルノ限ニ在ラス
(二六一ノ二)

第二百七十一條 凡博戯ニ用フル骰子骨牌ヲ賣ル者ハ賭博者ト

同罪再犯ハ一等ヲ加ヘ三犯以上ハ懲役一年

第二百七十二條

凡賭博ノ列ニ與ラスト雖モ母錢ヲ借シ息ヲ收ル者ハ犯人ト同罪

刑法第二百六十三條 對比ス可キモノナシ

移地界内死屍

凡地界内ニ死屍アルヲ里長地主鄰佑人官司ニ申報セズ輒ク他所ニ移シ及ヒ埋藏スル者ハ杖七十水中ニ棄ル者ハ杖一百因テ衣服ヲ盜取スル者ハ贓ニ計ヘ竊盜ニ準シ重キニ從テ論ス罪流三等ニ止ル

移地界内死屍條例

第二百一一條 凡墳塚ヲ發掘シテ棺槨ヲ見ハス者ハ懲役一年已ニ開テ屍ヲ見ハス者ハ懲役二年屍ヲ殘毀スル者ハ懲役五年
(二六五)

第二百六十四條

第二百六十四條

第二百二條 凡地界内ニ死屍アルヲ輒ク水中ニ棄ルト雖モ未タ屍ヲ失ハサル者ハ律ニ照シテ一等ヲ減シ懲役九十日 (二六四)
第二百三條 凡子孫ノ死屍ヲ棄ル者ハ懲役七十日 (二六四)
第二百四條 凡變死ニ係ル屍ハ官ノ檢視ヲ經ルニ非レハ私擅ニ埋葬スルヲ聽サズ違フ者ハ懲役四十日
第二百五條 凡人ヲ押解シ中途ニ在リテ病斃スルヲ輒ク棄去ル者ハ移地界内死屍律ニ一等ヲ加ヘ懲役八十日
第二百六條 凡地界内ニ棄兒アリ及ヒ病ニ因リテ昏倒スルヲ輒ク他所ニ移ス者ハ懲役七十日

第二百六十七條

刑法第二百六十七條乃至第二百七十二條 對比ス可キモノナシ
刑法第二百七十三條 對比ス可キモノナシ
刑法第二百七十六條 對比ス可キモノナシ

承告不理

第二百七十七條

凡人命及ヒ強盜等ヲ告ルニ官司即時ニ受理セサル者ハ杖七十罰毆婚姻出宅等ノ事ハ各犯人ノ罪ニ二等ヲ減シ並ニ罪杖七十ニ止ル財ヲ受ケテ受理セサル者ハ賍ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ論

第二百七十八條

故禁無罪人 (二八三)
凡官吏私讐ヲ懷挾シ故サラニ無罪人ヲ禁獄スル者ハ徒一年因テ死ニ致ス者ハ絞司獄官獄卒知テ舉首セサル者ハ同罪罪流三等ニ止ル知ラサル者ハ坐セズ
若シ官吏私讐ヲ懷挾シ故サラニ無罪人ヲ拷訊スル者ハ徒一年折傷以上ハ凡闘傷ニ二等ヲ加フ因テ死ニ致ス者ハ斬同僚官獄卒情ヲ知テ共ニ拷訊スル者ハ同罪罪流三等ニ止ル知ラサル者ハ坐セズ

陵虐罪囚

第二百八十一條

凡獄卒非理ニ在獄ノ罪囚ヲ陵虐毆傷スル者ハ凡闘傷ニ依テ論ス罪囚ノ衣食ヲ剋減スル者ハ賍ニ計ヘ監守自盜ヲ以テ論ス因テ死ニ致ス者ハ絞司獄官吏知テ舉セサル者ハ同罪罪流三等ニ止ル

刑法第二百八十一條

老幼不拷訊

凡年七十以上十五以下若クハ癡疾者ハ並ニ拷訊ス可カラス皆衆

條八十八百二第リヨ條二十八百二

證ニ據テ罪ヲ定ム違フ者ハ故失入人罪律ヲ以テ論ス其相容隠スルコトヲ得ルノ人及ヒ年八十以上十歳以下若クハ篤疾者ハ皆證ヲシムルコトヲ得テ違フ者ハ答四十

獄囚誣指無罪人

凡罪囚獄ニ在テ無罪人ヲ誣指スル者ハ誣告ヲ以テ論シ其本犯罪重キ者ハ重キニ從テ論ス

若シ官吏獄囚ヲ鞫問スルニ非法ニ拷訊シ故サラニ教令ヲ行ヒ無罪人ヲ誣指スル者ハ故入人罪律ヲ以テ論ス

若シ囚ヲ鞫シテ證佐ノ人實情ヲ言ハス故サラニ誣證ヲ行フ者ハ罪人ノ罪ニ二等ヲ減ス

答杖不如法

凡官吏答杖ヲ用ルニ故サラニ法ノ如クセサル者ハ答三十因テ死ニ致ス者ハ杖一百埋罪金二十五兩ヲ追徴ス答杖ヲ行フノ人ハ各一等ヲ減シ金兩ヲ追徴セス若シ罪人ノ膺腰刑ヲ受クヘキ處ニ依リ決打シテ邂逅ニ死ニ致ス者ハ論スルコト勿レ

糾彈官吏犯罪

條八十八百二第リヨ條二十八百二第

凡糾彈官吏犯罪ヲ犯ス者ハ其餘ノ官吏ニ二等ヲ加フ私罪ヲ犯シ及ヒ有心故造ニシテ罪ヲ得ル者ハ一等ヲ加フ公罪ヲ犯シ及ヒ過誤失錯ハ常律ニ依ル

糾彈官吏犯罪條例

第二十九條 凡糾彈官吏ト稱スルハ檢事警保官吏ヲ謂フ其犯罪ヲ犯ス者ハ律ニ照シ二等ヲ加フルヲ除ク外私罪及ヒ有心故造ノ罪ヲ犯ス者モ公罪ト同ク常律ニ依ル

受賍律

官吏受賍

凡官吏在法不在法ノ事ニ因テ財ヲ受ル者ハ賍ニ計ヘ之ヲ科ス等外人ハ各一等ヲ減ス

若シ說事過錢スル者等内人ハ錢ヲ受ル人ニ一等ヲ減ス等外人ハ二等ヲ減ス罪徒一年半ニ止ル若シ別ニ財ヲ受ル者ハ在法不在法賍ニ計ヘ重キニ從テ論ス

在法ノ賍各主アル者通算シテ全科ス
一兩以下 杖六十 一兩以上 杖七十 一十兩以上 杖八十

條八十八百二第リ = 條二十八百二第

二十兩以上 杖九十 三十兩以上 杖一百 四十兩以上 徒一年 五十兩以上 徒一年半 六十兩以上 徒二年 七十兩以上 徒二年半 八十兩以上 徒三年 九十兩以上 流一等 一百兩以上 流二等 一百一十兩以上 流三等 二百五十兩以上 絞

等外人ハ三百兩以上絞

不在法ノ贓各主アル者通算シテ全科ス

一兩以下 笞五十 一兩以上 杖六十 一十兩以上 杖七十 二十兩以上 杖八十 三十兩以上 杖九十 四十兩以上 杖一百 五十兩以上 徒一年 六十兩以上 徒一年半 七十兩以上 徒二年 八十兩以上 徒二年半 九十兩以上 徒三年 一百兩以上 流一等 一百一十兩以上 流二等 一百二十兩以上 流三等 三百兩以上 絞
等外人ハ三百兩以上ニ至リ罪流三等ニ止ル

官吏受財條例

第二百四十二條 凡官吏枉法贓ヲ受ル者等内人ハ二百五十圓以

條八十八百二第リ = 條二十八百二第

上等外人ハ三百圓以上絞ニ處シ及ヒ不在法贓等内人ハ三百圓以上絞ニ處スル律ヲ改メ並ニ懲役終身
増補 凡枉法不在法ヲ以テ論シ及ヒ准シテ論スル罪平民ハ等外人ト同シ罪ヲ科ス

坐贓致罪

凡枉法不在法ノ事ニ因リ財ヲ受ルニ非スシテ贓ニ坐シ罪ニ致ス者ハ通算シテ罪ヲ科ス與ル者ハ五等ヲ減ス

五兩以下 笞一十 五兩以上 笞二十 二十兩以上 笞三十 四十兩以上 笞四十 六十兩以上 笞五十 八十兩以上 杖六十 一百兩以上 杖七十 一百二十兩以上 杖八十 一百四十兩以上 杖九十 一百六十兩以上 杖一百 二百兩以上 徒一年 四百兩以上 徒一年半 六百兩以上 徒二年 八百兩以上 徒二年半 一千兩以上 徒三年

事後受財

凡官吏承行ノ事アリ先キニ財ヲ送ルヲ聽許セズ事過ルノ後財ヲ受テ事若シ枉斷スル者ハ枉法ニ準シテ論シ事枉斷セサル者ハ

不枉法ニ準シテ論ス並ニ罪流三等ニ止ル錢ヲ出シ及ヒ過スルノ人ハ並ニ杖七十

事後受財條例

第百四十三條 凡官吏事後財ヲ受ル者ハ本條ニ依リ罪ヲ科スト雖モ其錢ヲ出シ及ヒ過スルノ人ハ並ニ杖七十ニ處スル律ヲ改メ坐贓ニ依テ論シ一等ヲ減シテ並ニ罪懲役七十日ニ止ル

聽許財物

凡官吏財物ヲ送ルコトヲ聽許スレハ未タ接受セスト雖モ事若シ枉ル者ハ枉法ニ準シテ論シ事枉ケサル者ハ不枉法ニ準シテ論シ各一等ヲ減ス枉ル所重キ者ハ各重キニ從テ論ス

以財請求

凡諸人事アリ財ヲ以テ官吏ニ請求シ法ヲ枉ルコトヲ得ント欲スル者ハ與フル所ノ財ヲ計ヘ坐贓ニ依テ論ス若シ難ヲ避ケ易ニ就キ枉ル所ノ罪重キ者ハ重キニ從テ論ス若シ官吏刁證留難シテ歸結ヲ與ヘス及ヒ強テ用ヒテ別ニ事ヲ生シ攝抑シテ財ヲ取受スル者ハ錢ヲ出スルハ坐セス

以財請求條例

第百四十四條 凡枉法ノ事ニ非スト雖モ財ヲ以テ官吏ノ受理ヲ請求スル者ハ與フル所ノ財ヲ計ヘ坐贓ニ依テ論シ一等ヲ減ス

官吏求借財物

凡監臨官吏勢ヲ挾ミ所部内ノ財物ヲ求索借貸スル者ハ並ニ贓ニ計ヘ不枉法ニ準シテ論シ強ヲ用ヒテ索借スル者ハ枉法ニ準シテ論シ罪流三等ニ止ル其監臨ニアラサル官吏ハ各一等ヲ減ス若シ官ヲ去リ舊部内ノ財物ヲ受ケ及ヒ求索借貸スル者ハ各在官ノ時ニ三等ヲ減ス

家人求索

凡監臨官吏ノ家人奴僕所部内ニ於テ財物ヲ取受シ及ヒ求索スル者ハ各監臨官吏ノ罪ニ二等ヲ減ス監臨ニアラサル官吏ノ家人奴僕ハ又一等ヲ減ス若シ監臨官及ヒ官吏情ヲ知ル者ハ同罪罪流三等ニ止ル知ラサル者ハ坐セス

因公科歛

凡官吏公務ニ因テ擅ニ所部内ノ財物ヲ科斂スル者ハ己レニ入レ
ズト雖モ答五十賍重キ者ハ坐賍ヲ以テ論ス己レニ入ル、者ハ賍
ニ計ヘ枉法ヲ以テ論ス
其公務ニ因ルニ非スシテ所部内ノ財物ヲ科斂シ己レニ入ル、者
ハ賍ニ計ヘ枉法ヲ以テ論ス若シ科斂シテ人ニ餽送スル者ハ己
レニ入レズト雖モ罪同

剋留盜贓

凡巡捕官吏已ニ盜賊ヲ獲テ贓物ヲ剋留シ官司ニ送ラサル者ハ答
三十己レニ入ル、者ハ賍ニ計ヘ枉法ヲ以テ論ス

受外國人餽送

凡官吏人私ニ外國人ノ餽送ヲ受ケ即時ニ官ニ告サル者ハ賍ニ計
ヘ枉法ヲ以テ論ス

受外國人餽送條例

第二百四十五條 凡外國人ノ餽送スル飲食土宜等交際ノ禮ニ係
リ互ニ相贈遺スル者ハ官ニ告ケズト雖モ以枉法論ノ限ニ在
ラス

囑託公事

凡法令ヲ曲ケンコトヲ欲シ公事ヲ囑託スル者ハ己レノ爲ニシ人ノ
爲ニスルコトヲ論セズ答四十當該ノ官吏聽從スル者ハ同罪聽從セ
サル者ハ坐セズ若シ事已ニ施行スル者ハ杖九十枉ル所罪重キ者
官吏ハ故出入人罪律ヲ以テ論ス若シ他人及ヒ親屬ノ爲ニ囑託シ
テ枉ル所罪答四十ヨリ重キ者ハ當該官吏ノ罪ニ三等ヲ減ス自己
ノ事ヲ囑託スル者ハ坐スヘキ本罪ニ一等ヲ加フ

若シ法ヲ曲ケ贓ヲ受ル者ハ贓ニ計ヘ枉法ヲ以テ論ス

(付言) 囑託公事ハ収賄ノ罪ニアラスト雖モ其不正ニ人ノ囑託

ヲ容ル、ノ實相似タルヲ以テ且第二百八十七條ノ意ト稍相同
シキカ故ニ茲ニ之ヲ掲ク

聽訟回避

凡官吏訴訟人ト親族若クハ師弟及ヒ警隙アル者ハ並ニ回避スル
コトヲ聽ス違フ者ハ罪ニ増減ナシト雖モ答三十若シ増減アル者ハ
故出入人罪ヲ以テ論ス
逮捕罪人

第百二十八條リヨ第百八十八條

凡捕吏差遣ヲ承ケ罪人ヲ追捕スルニ事故ニ託シテ行カス若クハ
罪人ノ所在ヲ知テ捕ヘサル者ハ杖一百
若シ財ヲ受ケ故縱スル者ハ囚ト同罪賊重キ者ハ賊ニ計ヘ枉法ヲ
以テ重キニ從テ論ス

追捕罪人條例

第二百九十二條 凡捕吏正犯ノ財ヲ受ケ故縱スル同罪者正犯死
ニ至レハ同罪者ハ絞ニ處スル律ヲ改メ懲役終身ニ從フト雖モ
其財ヲ受ケシテ故縱シ及ヒ通信シテ逃避セシムル同罪者ハ罪
懲役十年ニ止ル

改正 捕吏ヲ毆チ折傷以上ニ至ル者ハ絞改テ懲役終身

出入人罪

凡官吏故サラニ人ヲ罪ニ出入シ全ク出タシ全ク入ル、者ハ出入
スル所ノ全罪ヲ以テ論ス若シ故サラニ輕ヲ増シテ重ト作シ重ヲ
減シテ輕ト作ス者ハ其増減スル所ノ罪ヲ以テ坐ス死ニ至ル者ハ
坐スルニ死罪ヲ以テス
若シ罪ヲ斷シテ入ル、ニ失スル者ハ各三等ヲ減ス出タスニ失ス

第百二十八條リヨ第百八十八條

ル者ハ各五等ヲ減ス並ニ罪所由ヲ以テ首ト爲ス
若シ囚未タ處決放免セズ及ヒ放テ還タ獲若クハ囚自死スレハ官
吏ノ罪又各一等ヲ減スルヲ聽ス

出入人罪條例

第三百十四條 凡故サラニ出入シ及ヒ入ル、ニ失スル罪人ハ已
ニ斷了ヲ經ルト雖モ檢舉シテ改正スルヲ得ヘキ者ハ改正シ

其出タスニ失スル者ハ貼斷スルヲ用ヒス

第三百十五條 凡官司屍傷ヲ檢視シテ實ナラサル者ハ懲役四十

日囚テ罪ニ増減アル者ハ失出入人罪ヲ以テ論ス若シ財ヲ受ケ
故サラニ實ヲ以テセサル者ハ故出入人罪ヲ以テ論ス賊重キ者
ハ賊ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス

斷罪不當

凡罪ヲ斷シテ決配ス可キヲ故サラニ收贖シ收贖ス可キヲ決配ス
ル者ハ故出入人罪律ニ依テ一等ヲ減ス失誤スル者ハ失出入人罪
律ニ依テ一等ヲ減ス
若シ絞ス可キヲ故サラニ斬シ斬ス可キヲ絞スル者ハ答五十失誤

第二百八十二條 第二百八十三條 第二百八十四條 第二百八十五條

スル者ハ三等ヲ減ス

斷罪不當條例

第三百十七條 凡收購ス可キヲ誤テ實斷スル者改正スルヲ得
ヘキ者ハ改正シ其實斷ス可キヲ誤テ收購スル者ハ貼斷スルヲ
用ヒス

第三百十八條 凡罪ヲ斷スルハ口供結案ニ依ル若シ甘結セスシ
テ死亡スル者ハ證佐アリト雖モ其罪ヲ論セス

改正 凡罪ヲ斷スルハ證ニ依ル若シ未タ斷決セスシテ死亡スル
者ハ其罪ヲ論セス

稱監臨主守

凡監臨ト稱スル者ハ内外諸司其所屬ヲ統攝シテ監察臨莅シ一切
ノ文案ニ相關涉シ及ヒ所管ノ民庶ニ非スト雖モ其公務ヲ帶管シ
事權手ニ在リ專制己レニ由ル者並ニ監臨ト爲ス主守ト稱スル者
ハ内外諸司ノ吏典及ヒ庫子獄卒等專ラ其事ヲ主掌看守スル者並
ニ主守ト爲ス

其職統攝ニ非スト雖モ臨時ニ差遣セラレテ管領提調スル者モ亦

第二百八十八條 第二百八十九條

監臨ト爲ス其事ヲ專掌スル者モ亦主守ト爲ス

(按) 本條ヲ愛ニ揭クルハ當ラスト雖モ監臨主守ノ意義ヲ解釋

スル爲メ官吏財産ニ對スル罪ニ對比スルモ亦適セサルニ非ス

監守自盜

凡監臨主守自ラ監守スル所ノ財物ヲ盜ム者ハ皆從テ分タズ贓ヲ

併セテ罪ヲ論シ竊盜ニ二等ヲ加フ (二八九)

一兩以下 杖七十 一兩以上 杖八十 一十兩以上 杖九十

二十兩以上 杖一百 三十兩以上 徒一年 四十兩以上 徒

一年半 五十兩以上 徒二年 六十兩以上 徒二年半 七十

兩以上 徒三年 八十兩以上 流一等 九十兩以上 流二等

一百兩以上 流三等 二百兩以上 絞

監守盜條例

增補 凡監守盜再犯スル者ハ財ヲ得スト雖モ一等ヲ加フ三犯三
十圓以下懲役終身三十圓以上絞

監守自盜條例

增補 凡監守自盜財ヲ得サル者ハ懲役六十日

第二百八十九條

監守盜常人盜條例
改正 凡監守盜二百圓以上及ヒ常人盜三百圓以上絞ニ處スル律
ヲ改メ監守盜百五十圓以上常人盜二百五十圓以上並ニ懲役終
身

監守盜條例

改正 凡監守盜再犯スル者ハ財ヲ得スト雖モ一等ヲ加フ三犯三
十圓以下懲役十年二十圓以上懲役終身

差役不均

凡官吏里長等差役ヲ科スルニ法ニ違ヒ平均ナラサル者ハ笞五十
財ヲ受クル者ハ賍ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス (二九〇)

人命律上

謀殺

凡人ヲ謀殺スルニ造意者ハ斬從ニシテ加功スル者ハ絞加功セサ
ル者ハ流三等 (二九二)

若シ傷シテ死セサル造意者ハ絞從ニシテ加功スル者ハ流三等加
功セサル者ハ徒三年

第二百九十二條

第二百九十二條

若シ謀ヲ已ニ行フト雖モ未タ人ヲ傷セサル造意者ハ徒三年從ハ
同ク行ハスト雖モ杖一百

其造意者ハ並ニ身行ハスト雖モ仍ホ首ト爲シテ論ス從ニシテ行
ハサル者ハ各行ヒテ加功セサル者ニ一等ヲ減ス若シ因テ財ヲ得
ル者ハ強盜ニ同シク首從ヲ分タス罪ヲ論ス

謀殺條例

第二百六十條 凡人ヲ殺サント謀リ未タ行ハスト雖モ謀狀顯跡ア
ル者首ハ懲役百日從ハ懲役五十日

第二百六十一條 凡謀殺已行未行ノ罪犯並ニ罪死ニ至ラサル者處
斷シ訖レハ親屬鄰佑ニ再犯ノ念ナキコトヲ保證セシメ始テ放還
スルコトヲ聽ス若シ保人ナケレハ獄則ニ照シテ懲治監ニ入レ悔
過ノ日ヲ待チ始テ放還スルコトヲ聽ス

第二百六十二條 凡人ヲ殺サント謀リ已ニ行フテ其人知覺奔逃シ
未タ傷ヲ受ケスト雖モ失跌及ヒ墮水等奔脫ニ因テ他所ニ死ス
ル者造意者ハ懲役十年從タル者ハ懲役三年若シ兇悍ニ迫ラレ
テ當時失跌シテ死スル者造意者ハ絞從タル者ハ懲役十年

第百六十三條 凡人ヲ謀殺セント欲シテ謀ヲ舉ル時其謀ラル、ノ人謀機ヲ知覺シテ卻テ謀者ヲ殺ス者ハ故殺律ニ依リ已ニ行フ時ニ臨ミ卻テ殺ス者ハ罪人不拒捕而殺律ニ依リ殺スノ時ニ臨ミ卻テ殺ス者ハ捕吏拾殺律ニ依リ論スルコト勿レ

第百六十四條 凡嬰兒ヲ殺ス者ハ各等親ニ照シ謀故殺本條ニ依テ科斷ス若シ穩婆囑託ヲ受テ殺ス者ハ囑託スル者ト同罪

謀殺本屬長官

凡吏卒軍民本屬ノ勅任長官ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流三等已ニ傷スル者ハ斬已ニ殺ス者ハ皆梟

若シ妻任長官ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流二等已ニ傷スル者ハ絞已ニ殺ス者ハ皆斬

若シ判任長官ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流一等已ニ傷スル者ハ絞已ニ殺ス者ハ皆斬

其長官及ヒ本屬ニ非ル者ハ已ニ殺スト雖モ凡人謀殺ニ依リ首從ヲ分テ罪ヲ科ス

謀殺官吏律 原謀殺本屬長官律

第百六十五條 凡勅任官ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者首ハ懲役十年從ハ懲役七年已ニ傷スル者首ハ斬從ニシテ加功スル者ハ懲役終身加功セサル者ハ懲役十年已ニ殺ス者ハ皆斬

謀殺官吏條例

第百六十六條 凡判任官勅任官ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者首ハ懲役十年從ハ懲役五年已ニ傷スル者首ハ絞從ニシテ加功スル者ハ懲役終身加功セサル者ハ懲役五年已ニ殺ス者ハ皆斬

若シ妻任官ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者首ハ懲役五年從ハ懲役三年已ニ傷スル者首ハ絞從ニシテ加功スル者ハ懲役終身加功セサル者ハ懲役五年已ニ殺ス者ハ皆斬

第百六十七條 凡奏任官勅任官ヲ謀殺スル者ハ判任官奏任官ヲ謀殺スルト罪同シ其勅任官奏任官ヲ謀殺シ及ヒ奏任官判任官ヲ謀殺スル者ハ凡人謀殺ヲ以テ論ス

謀殺家長

凡奴婢家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流三等已ニ傷スル者ハ斬已ニ殺ス者ハ皆梟若シ雇人家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流一等已ニ傷スル者ハ絞已ニ殺ス者ハ皆斬

殺死姦夫條例

第百六十九條 凡姦夫自ラ本夫ヲ殺ス者ハ姦婦情ヲ知ラスト雖モ絞改テ懲役終身

第百七十條 凡姦婦自ラ本夫ヲ殺ス者姦夫果シテ情ヲ知ラサレハ止テ姦罪ヲ科ス

第百七十一條 凡姦婦過テ悔ヒ拒絕スル後姦夫姦好ノ續キ難キヲ憤リ本夫及ヒ祖父母父母ヲ殺死スル者拒絕ノ證據明白ナレハ婦女ハ止テ姦罪ヲ科ス

殺一家三人

凡謀殺故殺放火行盜シテ一家ノ死罪ニ非サル三人以上ヲ殺シ若クハ人ヲ支解スル者ハ皆梟

殺一家三人條例

第百七十三條 凡一家ノ死罪ニ非サル三人以上ヲ殺スト稱スルハ雇人ト雖モ同居ニ係ル者及ヒ同居セスト雖モ父子兄弟等至親ニ係ル者皆是ナリ

魔魅人

凡魔魅ヲ行ヒ符書ヲ造リ呪詛シテ人ヲ殺サント欲スル者ハ各謀殺ヲ以テ論ス止タ人ヲ疾苦セシメント欲スル者ハ謀殺已行未傷ニ二等ヲ減ス

毒藥殺人

凡毒藥ヲ用ヒテ人ヲ殺シ及ヒ藥シテ死セサル者ハ各謀殺律ニ依テ論ス買テ未ダ用ヒサル者ハ徒二年半情ヲ知テ毒藥ヲ賣ル者ハ同罪罪流三等ニ止ル知ラサル者ハ坐セズ (三九三)

毒藥殺人條例

第百二十九條 第二十九百二條

第百七十四條 凡人ヲ殺スノ心ナシト雖モ毒藥ヲ用ヒテ故サラ
ニ疾苦セシムル者ハ懲役八十日 (三〇七)

闘毆及故殺

凡闘毆シテ人ヲ殺ス者ハ手足他物金刃ヲ問ハス並ニ絞故殺スル
者ハ斬 (二九四)

若シ同ク謀リ共ニ人ヲ毆テ因テ死ニ致スニ手ヲ下シ致命傷ヲ爲
ス者ハ絞原謀者ハ共ニ毆ト否ヲ問ハス流三等餘人ハ手ヲ下スト
雖モ致命傷ヲ爲サ、ル者ハ杖九十

第百七十九條

凡人ト爭論闘毆シテ臨時殺意ヲ起シ人ヲ殺ス者
ハ故殺ニ坐ス若シ爭鬪ノ後仍ホ餘怒ヲ尋キ追逐シテ兇殺シ及
ヒ爭鬪ニ因ルニ非スト雖モ臨時殺意ヲ起シテ殺ス者預謀ノ顯
跡ナキハ並ニ故殺ヲ以テ論ス其傷シテ死セサル者ハ仍ホ闘毆
傷ニ依ル

屏去服食

凡人ノ服用飲食ノ物ヲ屏去シ若クハ物ヲ以テ人ノ耳鼻及ヒ孔竅
中ニ置キ傷損スル所アル者ハ各闘毆傷ニ一等ヲ加ヘ罪流三等ニ

第百二十九條 第二十九百二條

止ル因テ死ニ至ル者ハ絞
若シ故サラニ蛇蝎毒蟲ヲ用ヒ人ヲ咬傷セシムル者ハ闘毆傷ニ一
等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル因テ死ニ致ス者ハ斬

屏去服食條例

第百八十條 凡人ノ服用飲食ノ物ヲ屏去シ若クハ物ヲ以テ人ノ
耳鼻及ヒ孔竅中ニ置キ因テ死ニ至ル者ハ絞故テ懲役終身若シ
謀故ノ情アル者ハ各本律ニ依ル

誤殺傍人

凡闘毆シテ誤テ傍人ヲ殺傷スル者ハ闘殺傷ニ準シテ論ス罪流三
等ニ止ル (三〇四)

其謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ傍人ヲ殺ス者ハ故殺ヲ以テ論シ傷スル者
ハ仍ホ闘毆ヲ以テ論ス (二九八)

詐稱殺人

凡津河水深ク泥濘ナルヲ平淺ト詐稱シ及ヒ橋梁渡船朽漏ナルヲ
牢固ト詐稱シ人ヲ過渡セシメ因テ陷溺死傷ニ致ス者ハ闘殺傷ヲ
以テ論ス (二九七)

闘毆及故殺條例

第三百七十五條 凡闘毆人ヲ殺ス者ハ絞改テ懲役終身 (三九七)

第三百七十六條 凡亂毆シテ人ヲ殺シ傷ノ先後輕重ヲ知ラサル者

原謀アレハ原謀者ヲ懲役終身ニ處ス若シ原謀共ニ毆サレハ初

闘者ヲ懲役終身ニ處シ原謀者ハ懲役十年餘人ハ並ニ懲役九十

日 (三〇五)

第三百七十七條 凡亂毆シテ人ヲ殺シ先後輕重ヲ知ラサル者若シ

ハ原謀同夥共ニ毆テ各致命重傷ヲ爲ス者一人實ニ罪ヲ畏レテ

自盡シ及ヒ已ニ獄ニ在リ或ハ押解中途ニ在リテ病斃スル者ア

レハ一等ヲ減シ懲役十年ニ處ス

第三百七十八條 凡同謀共ニ人ヲ毆テ傷皆致命ニシテ即時身死ス

レハ後ニ手ヲ下シ傷ヲ成スト重キ者ヲ懲役終身ニ處ス若シ時

日ヲ經テ身死スルニ至ル者ハ何傷死ニ致ストヲ究明シテ傷ヲ

成スト重キ者ヲ懲役終身ニ處ス若シ原謀共ニ毆テ亦致命重傷

ヲ爲スト係ラハ原謀者ヲ懲役終身ニ處ス

闘毆律

闘毆

凡闘毆手足ヲ以テ人ヲ毆テ傷ヲ成サ、ル者ハ笞二十傷ヲ成シ及

ヒ瓦石棍棒等ヲ以テ人ヲ毆テ傷ヲ成サ、ル者ハ笞三十傷ヲ成ス

者ハ笞四十血耳目中ヨリ出テ及ヒ内損シテ吐血スル者ハ杖八十

人ノ一指一齒ヲ折リ一目ヲ眇ニシ耳鼻ヲ抉毀シ若シハ骨ヲ破リ

及ヒ湯火ヲ以テ人ヲ傷スル者ハ杖一百穢物ヲ以テ口鼻内ニ灌入

スル者モ罪亦同二指二齒以上ヲ折リ及ヒ髮ヲ髡スル者ハ徒一年

(三〇〇)

人ノ肋ヲ折リ兩目ヲ眇ニシ及ヒ刃傷スル者ハ徒二年 (三〇〇)

人ノ肢體ヲ折テ及ヒ一目ヲ瞎シ癱疾ニ致ス者ハ徒三年(三〇〇)

兩目ヲ瞎シ兩肢ヲ折リ及ヒ舊患アルヲ毆テ因テ篤疾ニ至ラシメ

若クハ舌ヲ斷テ陰陽ヲ毀敗スル者ハ流三等仍ホ金二十兩ヲ追給

シテ養贍セシム (三〇〇)

其同謀共毆シテ人ヲ傷スル者ハ各手ヲ下シ重傷ヲ成ス者ヲ以テ

重罪ニ坐シ原謀者ハ手ヲ下スト雖モ傷輕ケレハ一等ヲ減ス

若シ闘ニ因テ互ニ相毆傷スル者ハ各其傷ノ輕重ヲ驗シテ罪ヲ定

條八百三第リヨ條九十九百二第

ム後ニ手ヲ下シテ理直ナル者ハ本罪ニ二等ヲ減ス篤疾ニ至ラシムル者ハ仍ホ金二十兩ヲ追給シテ養贍セシム死ニ至ル者ハ流三等埋葬金二十五兩ヲ追給ス兄弟伯叔ヲ毆ツ者ハ本律ニ依リ後ニ手ヲ下シテ理直ナル者モ減セス

闘毆條例

第二百八條 凡闘毆成傷ト稱スルハ毆ツ所ノ皮膚色青赤ニシテ腫起スル者ヲ謂フ刀ヲ持シ人ヲ傷スト雖モ其背柄ヲ以テ毆チ刃ヲ用ヒサレハ仍ホ槌棒ト同ク論ス

第二百九條 凡闘毆髮方寸以上ヲ抜ク者ハ懲役四十日若シ一時昏絶セシムル者ハ懲役八十日

第二百十條 凡二人共ニ人ヲ毆チ各一目ヲ瞎シ盲ニ至ラシムルニ先キニ毆ツ者ハ癘疾律ニ依リ懲役三年後ニ毆ツ者ハ篤疾律ニ依リ懲役十年仍ホ養贍金ヲ二人ニ分追ス若シ原謀者アレハ俱ニ毆ツト否トヲ問ハヌ後ニ毆ツ者ニ一等ヲ減ス(第二百一一條ハ改定刑法第三百三十條以下ノ對比ニ護ル)

第二百十二條 凡闘毆人ヲ殺スニ後ニ手ヲ下シテ理直ナル者ハ

條八百三第リヨ條九十九百二第

律ニ照シテ懲役十年ニ科シ仍ホ事情原諒ス可キ者ハ又一等ヲ減ス(三〇九)

第二百十三條 凡闘毆後ニ手ヲ下シテ理直ナル者ハ減等シテ罪ヲ科シ仍ホ養贍埋葬金兩ヲ追給スル律ヲ改メ止メ其罪ヲ科シテ金圓ヲ追セス

第二百十四條 凡闘毆人ヲ傷スルニ鎌刀菜刀等ヲ用ヒ傷輕キ者ハ懲役七十日仍ホ輕キ者ハ三等ヲ減ス

毆本屬長官

凡吏卒軍民本屬ノ勅任長官ヲ毆ツ者ハ流一等傷スル者ハ流三等折傷以上ハ絞其長官ニ非ル勅任官ヲ毆ツ者ハ徒二年半傷スル者ハ流一等折傷以上ハ流三等癩疾ハ絞若シ奏任長官ヲ毆ツ者ハ徒二年傷スル者ハ徒三年折傷以上ハ流二等癩疾ハ絞其長官ニ非ル奏任官ヲ毆ツ者ハ徒一年傷スル者ハ徒二年折傷以上ハ流一等癩疾ハ流二等篤疾ハ絞若シ判任長官ヲ毆ツ者ハ杖九十傷スル者ハ徒一年折傷以上ハ徒三年癩疾ハ流一等篤疾ハ絞死ニ至ル者ハ並ニ斬

條八百三第リヨ條九十九百二第

其本屬ニ非ル者ハ各二等ヲ減ス減シテ罪凡闘ヨリ輕ク若クハ等
シキ者ハ凡闘ニ一等ヲ加ヘ加ヘテ死ニ入ル

毆官吏律

原毆本屬
長官律

第二百十六條 凡勅任官ヲ毆ツ者ハ懲役五年傷スル者ハ懲役十
年折傷以上ハ絞

若シ奏任官ヲ毆ツ者ハ懲役二年傷スル者ハ懲役三年折傷以上
ハ懲役七年癡疾ハ絞若シ判任官ヲ毆ツ者ハ懲役九十日傷スル
者ハ懲役一年折傷以上ハ懲役三年癡疾ハ絞死
ニ至ル者ハ並ニ斬

毆官吏條例

第二百十七條 凡判任官勅任官ヲ毆ツ者ハ懲役九十日傷スル者
ハ懲役一年半折傷以上ハ懲役五年癡疾ハ絞若シ奏任官ヲ毆ツ
者ハ懲役七十日傷スル者ハ懲役百日折傷以上ハ懲役三年癡疾
ハ懲役十年篤疾ハ絞死ニ至ル者ハ並ニ斬

第二百十八條 凡奏任官勅任官ヲ毆ツ者ハ判任官奏任官ヲ毆ツ
ト罪同シ其勅任官奏任官ヲ毆ツ及ヒ奏任官判任官ヲ毆ツ者ハ

條八百三第リヨ條九十九百二第

並ニ凡闘毆ヲ以テ論ス

拒毆官司差人

凡官司人ヲ所屬ニ差遣シ錢糧ヲ追徴シ公事ニ勾攝スルニ抗拒シ
テ服セサル者ハ杖六十毆ツ者ハ杖八十内損以上ハ各凡闘傷ニ二
等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル死ニ至ル者ハ斬

毆受業師

凡文武百工技藝ノ人受業師ヲ毆ツ者ハ凡闘傷ニ二等ヲ加ヘ罪流
三等ニ止ル死ニ至ル者ハ斬

毆受業師條例

第二百十九條 凡受業師ヲ毆テ死ニ至ル者ハ斬改テ懲役終身

毆家長

凡奴婢家長ヲ毆ツ者ハ皆流一等傷スル者ハ皆流三等折傷スル者
ハ皆絞死ニ至ル者ハ皆斬過失傷スル者ハ徒三年過失殺スル者ハ
流三等徒流並ニ收贖スルヲ聽サス
若シ雇人家長ヲ毆ツ者ハ徒二年傷スル者ハ徒三年折傷スル者ハ
流三等篤疾ニ至ル者ハ絞死ニ至ル者ハ斬過失殺傷スル者ハ各常

條八百三第リヨ條九十九百二第

律ニ依テ收購スルコトヲ聽ス
若シ奴婢雇人家長ノ教令ニ違犯スルニ督責シテ邂逅ニ死ニ致ス
者ハ笞五十過失殺スル者ハ各論スルコト勿レ

毆家長條例

第二百二十條 凡雇人家長ヲ毆テ篤疾及ヒ死ニ至ル者ハ絞斬ニ
處スル律ヲ改メ俱ニ懲役終身

第二百二十一條 凡雇人家長ノ教令ニ違犯スルニ督責シテ邂逅
ニ死ニ致ス者ハ笞五十改テ懲役七十日

毆夫

凡妻夫ヲ毆ツ者ハ杖一百折傷以上ハ凡鬪傷ニ二等ヲ加フ夫ノ親
ヲ告ルヲ待テ乃坐ス篤疾ニ至ル者ハ絞死ニ至ル者ハ斬故殺スル
者ハ身若シ妾夫及ヒ正妻ヲ毆ツ者ハ妻夫ヲ毆ツ罪ニ各一等ヲ加
ヘ加ヘテ死ニ入ル死ニ至ル者ハ斬故殺スル者ハ梟

毆夫條例

第二百二十二條 凡妻妾夫ヲ毆テ癡篤疾ニ至ル者ハ絞ニ入ル、
律ヲ改メ俱ニ懲役終身妾ノ正妻ヲ毆ツ者モ亦同シ

條八百三第リヨ條九十九百二第

毆傷妻妾

凡夫妻ヲ毆ツハ折傷ニ非ルハ論スルコト勿レ折傷以上ハ凡人ニ二
等ヲ減ス妻ノ自ラ告ルヲ待テ乃坐ス死ニ至ル者ハ絞故殺スル者
モ罪同妾ヲ毆ツニ折傷以上ハ妻ヲ毆傷スルニ二等ヲ減ス死ニ至
ル者ハ流一等

若シ妻妾ヲ毆傷スルハ夫妻ヲ毆傷スルト罪同妾ノ親ヲ告ルヲ待
テ乃坐ス過失殺スル者ハ各論スルコト勿レ

若シ夫妻ノ父母ヲ毆ツ者ハ杖九十折傷以上ハ各凡鬪傷ニ一等ヲ
加ヘ篤疾ハ絞死ニ至ル者ハ斬故殺スル者モ罪同

毆傷妻妾條例

第二百二十三條 凡夫妻ヲ毆テ死ニ至ル者ハ絞改テ懲役終身其
故殺スル者ハ絞若シ夫妻ノ父母ヲ毆テ篤疾及ヒ死ニ至ル者ハ
絞斬ニ處スル律ヲ改メ懲役終身其故殺スル者ハ斬

毆三等親以下尊長

凡卑幼三等親ノ尊長ヲ毆ツ者ハ徒一年四等親ノ尊長ハ杖一百折
傷以上ハ凡鬪傷ニ一等ヲ遞加ス篤疾ハ絞死ニ至ル者ハ斬故殺ス

第百九十九條ヨリ第三百八十八條

ル者モ罪同

若シ尊長卑幼ヲ毆ツハ折傷ニ非ルハ論スルヲ勿レ折傷以上ハ五等親ノ卑幼ハ凡人ニ一等ヲ減シ四等三等親ハ各一等ヲ遞減ス死ニ至ル者ハ絞故殺スル者モ罪同

毆三等親以下尊長條例

第二百二十四條 凡卑幼三等親ノ尊長ヲ毆テ篤疾ハ絞改テ懲役終身死ニ至ル者ハ斬改テ絞其故殺スル者ハ斬若シ尊長三等親以下ノ卑幼ヲ毆テ死ニ至ル者ハ絞亦改テ懲役終身其故殺スル者ハ絞

第二百二十五條 凡卑幼三等親以下ノ尊長ヲ過失殺傷スル者ハ並ニ凡人過失殺傷ヲ以テ論シ收贖スルヲ聽ス

毆二等親尊長

凡弟妹兄弟ヲ毆ツ者ハ徒二年傷スル者ハ徒二年半折傷スル者ハ流二等癡疾ニ至ル者ハ流三等篤疾ニ至ル者ハ絞死ニ至ル者ハ皆斬故殺スル者ハ皆梟

若シ姪伯叔父姑ヲ毆テ及ヒ外孫外祖父母ヲ毆ツハ各一等ヲ加フ

第百九十九條ヨリ第三百八十八條

癡疾以上ハ兄弟ヲ毆ツト罪同

其過失殺傷スル者ハ各本殺傷罪ニ二等ヲ減シ收贖スルヲ聽サ

若シ兄弟弟妹ヲ毆殺シ伯叔父姑姪ヲ毆殺シ外祖父母外孫ヲ毆殺スル者ハ徒三年故殺スル者ハ流二等過失殺スル者ハ各論スルヲ勿レ

毆二等親尊長條例

第二百二十六條 凡卑幼二等親ノ尊長及ヒ外祖父母ヲ過失殺傷スル者ハ各本殺傷罪ニ二等ヲ減スル律ヲ改メ殺ス者ハ懲役二年傷スル者ハ懲役百日並ニ收贖スルヲ聽サ

第二百二十七條 凡弟妹兄弟ヲ毆テ篤疾ニ至ル者ハ絞改テ懲役終身死ニ至ル者ハ皆斬改テ絞若シ姪伯叔父姑ヲ毆テ及ヒ外孫外祖父母ヲ毆テ篤疾及ヒ死ニ至ル者罪亦同

妻妾與夫親屬相毆

凡妻妾夫ノ二等親以下四等親以上ノ尊長ヲ毆ツ者ハ夫ノ毆ツト同罪罪流三等ニ止ル死ニ至ル者ハ各斬故殺スル者モ罪同

條九十九百三第リヨ條九百三第

若シ妻夫ノ三等親以下ノ卑屬ヲ毆傷スルハ夫ノ毆ツト罪同妾ノ犯スハ凡闘傷ヲ以テ論ス

妻妾與夫親屬相毆條例

第二百三十一條 凡妻妾夫ノ二等親以下四等親以上ノ尊長ヲ毆キ死ニ至ル者ハ各斬改テ絞其故殺スル者ハ斬

罪人拒捕

凡罪ヲ犯シテ逃走シ追捕ヲ拒ク者ハ各本罪上ニ二等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル本罪死スヘキ者ハ常律ニ依ル捕吏ヲ毆キ折傷以上ニ至ル者ハ絞殺ス者ハ斬從タル者ハ各一等ヲ減ス

若シ罪人兇器ヲ持シ拒捕スルニ捕吏之ヲ格殺シ及ヒ囚逃走スルニ捕吏之ヲ逐殺シ若クハ囚追逐ニ因テ窘迫シ自殺スル者ハ並ニ論スルヲ勿レ

若シ罪囚逃走スト雖モ已ニ拘執ニ就キ及ヒ拒捕セサルニ捕吏之ヲ殺シ或ハ折傷スル者ハ各闘殺傷ヲ以テ論ス若シ死罪ニ該ル罪人ヲ捕吏一時忿激シテ擅殺スル者ハ杖九十

夜無故入人家

條九十九百三第リヨ條九百三第

凡夜故ナクシテ人家ニ入ル者ハ笞三十家主即時ニ殺死スル者ハ論スルヲ勿レ其已ニ拘執ニ就クヲ擅ニ殺傷スル者ハ闘殺傷ニ二等ヲ減ス (三一五ノ三)

夜無故入人家條例

第百五十五條 凡黑夜田野ノ穀麥菜菓ヲ竊取シ或ハ白日人家ニ入り及ヒ市井田野人ノ看守スル器物ヲ盜ムニ事主看守人追捕毆打シテ死ニ至ル者ハ盜所ヲ離ルト否ト賊ヲ得ルト否トヲ問ハス懲役二年其已ニ拘獲ニ就クヲ復タ疊毆シ若クハ事後毆打シテ擅ニ殺傷スル者折傷以上ハ闘毆傷ニ一等ヲ減ス若シ盜犯兇器ヲ持シ拒捕スルニ即時格闘殺死スル者ハ罪人拒捕律ニ依ル (三一ニ、三一五ノ三)

殺死姦夫

凡妻妾人ト姦通スルニ本夫姦所ニ於テ親ラ姦夫姦婦ヲ獲テ即時ニ殺ス者ハ論スルヲ勿レ若シ本夫止タ姦夫ヲ殺ス者ハ姦婦ハ和姦律ニ依リ罪ヲ科ス止タ姦婦ヲ殺ス者ハ姦夫ハ流三等本夫ハ並ニ論スルヲ勿レ (三一)

條九百三第リヨ條九百三第

其妻妾姦ニ因リ同謀シテ本夫ヲ殺ス者ハ梟姦夫ハ斬若シ姦夫自
 ラ本夫ヲ殺ス者ハ姦婦情ヲ知ラスト雖モ絞
第七十二條 凡姦夫姦婦姦所ニ於テ本夫ニ撞見セラレ直ニ脱
 逃スルニ本夫即時逐テ門外ニ至リ殺ス者ハ姦所ト同シ若シ姦
 所及ヒ即時ニ非スシテ姦夫ヲ殺傷スル者審糾スルニ姦情確實
 ナレハ鬪殺傷ニ二等ヲ減ス止々姦婦ヲ殺傷スル者折傷以上ハ
 鬪殺傷ニ五等ヲ減ス姦夫ハ和姦本條ニ依ル若シ姦情曖昧確據
 ナクシテ男婦ヲ殺傷スル者ハ各謀故鬪殺傷本條ニ依ル(三一)
毆死有罪妻妾
 凡妻妾夫ノ祖父母父母ヲ毆罵スルニ因テ夫官ニ告ケテ擅ニ殺ス
 者ハ杖九十祖父母父母ノ親ヲ告ルヲ待テ乃坐ス
 若シ夫罪アル妻妾ヲ毆罵シ妻妾因テ自死スル者ハ論スルヲ勿レ
毆死有罪妻妾條例
第八十三條 凡妻妾夫ノ祖父母父母ヲ毆罵スルニ因テ夫官ニ
 告ケテ擅ニ殺ス者ハ杖九十改テ懲役一年其傷スルニ因テ擅ニ
 殺ス者ハ懲役九十日

條九百三第リヨ條九百三第

殺奴婢
 凡奴婢死罪ヲ犯スニ家長官ニ告ケテ擅ニ殺ス者ハ杖七十
 若シ罪ナキニ毆殺スル者ハ徒三年故殺スル者ハ流二等
 若シ家長雇人ヲ毆ツハ折傷ニ非ルハ論スルヲ勿レ折傷以上ハ凡
 人ニ三等ヲ減ス因テ死ニ至ル者ハ流一等故殺スル者ハ絞
改正殺雇人律
第八十四條 凡雇人死罪ヲ犯スニ家長官ニ告ケテ擅ニ殺ス者
 ハ懲役八十日
第八十五條 凡家長雇人ヲ毆テ死ニ至ル者ハ流一等改テ懲役
 十年
父祖被毆
 凡祖父母父母人ニ毆タレ子孫即時ニ救護シテ還ツテ行兇人ヲ毆
 ツハ折傷ニ非ルハ論スルヲ勿レ折傷以上ハ凡鬪傷ニ三等ヲ減ス
 死ニ至ル者ハ流三等若シ祖父母父母人ニ殺サレ子孫擅ニ行兇人
 ヲ殺ス者ハ笞五十其即時ニ殺死シ及ヒ曾テ官ニ告ル者ハ論スル
 ヲ勿レ

條九百三第リヨ條九百三第

父祖被毆條例

第二百三十二條 凡祖父母父母人ニ殺サレ子孫擅ニ行兇人ヲ殺ス者ハ謀殺ヲ以テ論ス其即時ニ殺死スル者ハ論スルヲ勿レ

第二百三十三條 凡子孫祖父母父母ト同謀シテ共ニ人ヲ毆テ若クハ祖父母父母人ト忿争シ子孫ニ指令シテ毆打セシメ及ヒ人ト鬪毆スルニ其子孫勢ヲ助ケテ共ニ毆ツ者ハ俱ニ常律ニ照シテ罪ヲ科シ救護還毆律ヲ用ヒス

過失殺傷人

凡過失ニテ人ヲ殺傷スル者ハ各鬪殺傷ニ準シ法ニ依リ收贖シテ其家ニ給付ス

過失殺傷人條例

第百八十一條 凡過失殺傷收贖ハ官吏華士族平民ヲ分タス一體ニ本圖ニ照シ追シテ其家ニ給ス

第百八十二條 凡一人二人ヲ過失殺スル者ハ例ニ照シ金八十圓ヲ收贖シテ均シク二人ニ分給シ二人一人ヲ過失殺スル者ハ金四十圓ヲ二人ニ分追シテ一人ニ給付ス一人二人ヲ傷シ二人一人

條九百三第リヨ條九百三第

人ヲ傷スル者モ亦此例ニ依ル

第百八十八條 凡曠野無人ノ地ニ於テ故ナク弓銃ヲ放チ因テ人ヲ殺傷スル者ハ過失殺傷ヲ以テ論ス

車馬殺傷人

凡故ナク街市ニ車馬ヲ馳驟シ因テ人ヲ傷スル者ハ凡鬪傷ニ一等ヲ減ス死ニ致ス者ハ流三等

若シ馬驚逸シ或ハ公務ノ急速ニ因リ馳驟シテ人ヲ殺傷スル者ハ過失ヲ以テ論シ法ニ依リ收贖シテ其家ニ給付ス

車馬殺傷人條例

第百九十條 凡深山曠野猛獸ノ往來スル處ニ於テ坑穿ヲ穿作シ及ヒ窩弓ヲ安置シテ望竿及ヒ抹眉索ヲ立サル者ハ懲役四十日

以テ人ヲ傷スル者ハ鬪毆傷ニ四等ヲ減ス減シテ本罪ヨリ輕キ者ハ本罪ニ依テ論シ死ニ致ス者ハ懲役三年仍ホ埋葬金二十五圓ヲ追シテ死者ノ家ニ給付ス若シ深山曠野ニ非スシテ人ヲ殺傷スル者ハ車馬殺傷人律ニ依ル

第百九十一條 凡窩弓人ヲ殺ス者例ニ依リ罪ヲ科スト雖モ貧困

第三百九十九條

ニシテ埋葬金ヲ追スルノ能ハサルハ其雇工錢ノ全數ヲ領置シ
食費ヲ除キ餘ル所ノ雇錢金二十五圓ニ滿レハ死者ノ家ニ給シ
仍ホ役限ハ本法ヲ盡ス

第三十二條

凡過失殺傷ヲ犯シ收贖ス可キ者無カニシテ贖フ
能ハサルハ懲治監ニ入レ一等役囚ト同ク雇工錢ノ全數ヲ領置
シ食費ヲ除キ贖金ノ半ヲ殺傷セラル、家ニ給スルニ足ル時期
ト爲シ役ヲ免ス

戲殺傷人

凡戲ニ因テ人ヲ殺傷スル者ハ闘殺傷ニ二等ヲ減ス若シ高ニ乘リ
危ヲ履ニ因テ相戲レ殺傷スル者ハ一等ヲ減ス

弓銃殺傷人

凡故ナク弓箭銃砲ヲ放チ及ヒ劔刃ヲ挺ク者ハ人ヲ傷セスト雖モ
杖六十傷スル者ハ凡闘傷ヲ以テ論ス因テ死ニ致ス者ハ絞士族卒
ハ破廉耻甚者ヲ以テ論ス

改正弓銃殺傷人律

第三百八十七條 凡故ナク弓箭銃砲ヲ放チ及ヒ劔刃ヲ挺ク者ハ人

第三百九十九條

ヲ傷セスト雖モ杖六十改テ懲役三十日傷スル者ハ凡闘毆傷ヲ
以テ論ス因テ死ニ致ス者ハ絞改テ懲役終身
第三百八十八條 凡曠野無人ノ地ニ於テ故ナク弓箭銃ヲ放チ因テ人
ヲ殺傷スル者ハ過失殺傷ヲ以テ論ス
第三百八十九條 凡弓箭銃ヲ放チ及ヒ劔刃ヲ挺ク者華士族ハ破廉耻
甚ヲ以テ論スル律ヲ改メ一體ニ閏刑ニ處ス

威逼致死

凡戸婚田宅錢債等ノ事ニ因テ人ヲ威逼シテ自死ニ致ス者ハ杖一
百若シ官吏公使人等公務ニ因ルニ非スシテ平民ヲ威逼シテ自
死ニ致ス者モ罪同並ニ埋葬金二十五兩ヲ追給ス
若シ姦ヲ行ヒ盜ヲ爲スニ因テ人ヲ威逼シテ自死ニ致ス者ハ姦ノ
成否ヲ論セズ財ノ得否ヲ問ハズ並ニ斬

威力制縛

凡威力ヲ以テ人ヲ制縛シ及ヒ私家ニ於テ拷打監禁スル者ハ有傷
無傷ヲ問ハズ並ニ杖一百折傷以上ハ各凡闘傷ニ二等ヲ加ヘ罪流
三等ニ止ル死ニ致ス者ハ絞 (三三三)

第三百九十九條

百廿五條

若シ威力ヲ以テ他人ヲ指使シ毆打セシメ死傷ニ致ス者ハ並ニ指使人ヲ以テ首ト爲シ下手ノ人ハ從ト爲シテ論シ一等ヲ減ス

刑法第三百二十六條乃至第三百二十九條

對比ス可キ者ナシ

第三百十四條

凡故サラニ墮胎スル者ハ懲役百日情ヲ知テ藥ヲ賣

第三百十條

リ及ヒ技術ヲ施ス者ハ同罪婦女ト雖モ收購スルヲナシ聽サス

(三三〇、三三一)

謀同死條例

第三百九十八條

凡姦夫姦婦同ク謀リ墮胎スルニ姦婦身死スル者

第三百三十五條

姦夫ハ流三等改テ懲役三年 (三三一)

第二百一十一條

凡婦女ヲ毆テ墮胎セシムル者ハ懲役二年(三三四)

立嫡違法條例

第三百十二條

凡子女ヲ棄ル者ハ父母養父母ヲ分クテ並ニ懲役百

日繼父母ハ一等ヲ加フ

雇ヲ受ケ棄ル者ハ懲役九十日婦女ト雖

モ收購スルヲナシ聽サス

(三三六、三三七)

第三百十三條

凡財ヲ圖リ人ノ子女ヲ乞養シテ棄ル者ハ懲役十年

婦女ト雖モ收購スルヲナシ聽サス殺ス者ハ斬 (三三八)

第四百條

第二百六條 凡地界内ニ棄兒アリ及ヒ病ニ因リテ昏倒スルヲ輒

シ他所ニ移ス者ハ懲役七十日 (三四〇)

第二百四十一條 凡祖父母父母老疾シテ家ニ侍養ノ親ナキニ故

サラニ棄去ル者ハ懲役二年 (三三六)

略賣人

第三百條

凡人ヲ略賣シテ娼妓トスル者ハ成否ヲ論セテ皆流二等妻妾奴婢

第三百十一條

トスル者ハ徒二年半因テ人ヲ殺傷スル者ハ強盜ヲ以テ論ス略セ

第三百條

ラル、ノ人ハ坐セテ親屬ニ還付ス和誘スル者ハ各一等ヲ減シ其

第三百條

誘セラル、ノ人ハ各三等ヲ減ス十歳以下ハ和ト雖モ略ヲ以テ論

第三百條

ス

第三百條

其情ヲ知テ買フ者ハ各賣ル者ニ二等ヲ減シ牙保ハ又一等ヲ減ス

第三百條

(三四三)

略賣人條例

第四百十五條

凡人ヲ略賣シテ雇人ト爲ス者ハ懲役二年半其賤

第四百十六條

辱虐使ヲ受シムル者ハ爲娼妓律ニ依ル

第四百十六條

凡妻ヲ略賣シテ娼妓ト爲ス者ハ凡人略賣法ニ依

ル和賣スル者ハ懲役七十日

第百四十七條 凡子孫ヲ略賣シテ娼妓ト爲ス者ハ懲役五十日妹姪及ヒ外孫ハ各二等ヲ加フ

第百四十八條 凡人ヲ略シテ自己ノ妻妾雇人ト爲ス者ハ略賣ト罪同シ

第百四十九條 凡人ノ妻ヲ略シテ他人ノ妻妾ト爲シ及ヒ自己ノ妻妾ト爲ス者ハ懲役五年人ノ妾ヲ略シテ妻妾ト爲ス者ハ懲役三年和誘スル者ハ各一等ヲ減シ誘セラル、婦女ハ各三等ヲ減ス

第百五十條 凡人ヲ略シテ外國人ニ賣ル者ハ成否ヲ論セス皆懲役十年因テ人ヲ傷スル者ハ皆懲役終身殺ス者ハ皆斬其和誘スル者ハ一等ヲ減シ誘セラル、人ハ三等ヲ減ス若シ子孫ヲ略シテ外國人ニ賣ル者ハ懲役一年和賣スル者ハ一等ヲ減ス和略未タ成ラサル者ハ和略ノ罪ニ又一等ヲ減ス賣ラル、卑幼ハ和スト雖モ坐セス若シ外國人ヲ買フ者ハ前ニ照シテ各一等ヲ減ス (三四五)

犯姦律

犯姦

第百六十條 凡和姦夫アル者ハ各懲役一年妾ハ一等ヲ減ス若シ媒合及ヒ容止シテ通姦セシムル者ハ犯人ノ罪ニ三等ヲ減ス強姦スル者ハ懲役十年未タ成ラサル者ハ一等ヲ減ス因テ折傷スル者ハ懲役終身婦女ハ坐セス十二歳以下ノ幼女ヲ姦スル者ハ和ト雖モ強ト同ク論ス (三四六、三四七、三四八、三四九、三五三)

增補 強姦死ニ致ス者ハ斬 (三五二)

增補 凡妻妾ヲ縱容シテ人ト通姦セシムル者ハ本夫姦夫姦婦各懲役一年因テ財ヲ圖ル者ハ枉法ニ准シ重キニ從テ論ス (三五三ノ二)

親族相姦

凡父祖ノ妾姑姊妹及ヒ子孫ノ婦兄弟ノ女ヲ姦スル者ハ各流三等強姦スル者ハ斬若シ母ノ姊妹及ヒ兄弟ノ妻姪ノ妻ヲ姦スル者ハ各流一等強姦スル者ハ絞妾ヲ姦スル者ハ各一等ヲ減ス強姦スル者ハ絞

若シ前夫ノ女同母異父姉妹ヲ姦スル者ハ各徒三年強姦スル者ハ絞

親屬相姦

第百六十一條 凡父祖ノ妾伯叔姑姉妹及ヒ子孫ノ婦ヲ姦スル者ハ各懲役三年強姦スル者ハ懲役終身若シ母ノ姉妹及ヒ兄弟ノ妻姪ノ妻ヲ姦スル者ハ懲役二年妾ヲ姦スル者ハ各一等ヲ減ス強姦スル者ハ並ニ懲役終身

若シ兄弟姉妹ノ女及ヒ前夫ノ女同母異父姉妹ヲ姦スル者ハ各懲役一年強姦スル者ハ懲役終身

姦家長妻女

凡奴僕雇人家長ノ妻ヲ姦スル者ハ流三等姦婦ハ徒三年強姦スル者ハ斬

若シ家長ノ女姉妹及ヒ姑若シハ兄弟ノ妻ヲ姦スル者ハ流一等婦女ハ凡姦ヲ以テ論ス強姦スル者ハ絞妾ヲ姦スル者ハ各一等ヲ減ス強姦スル者ハ絞

姦家長妻

第百六十二條 凡雇人家長ノ妻ヲ姦スル者ハ各懲役一年半強姦スル者ハ懲役終身

姦部民妻女

凡官吏所部内ノ妻女ヲ姦スル者ハ凡姦罪ニ二等ヲ加フ婦女ハ凡姦ヲ以テ論ス

姦部民妻

第百六十三條 凡官吏部民ノ妻ヲ姦スル者ハ懲役一年半相姦スルノ妻ハ懲役一年

居喪及僧尼犯姦

凡父母舅姑及ヒ夫ノ喪ニ居リ若シハ僧尼ノ姦ヲ犯ス者ハ各凡姦罪ニ二等ヲ加フ相姦スルノ人ハ凡姦ヲ以テ論ス

居喪犯姦

第百六十四條 凡父母舅姑及ヒ夫ノ喪ニ居リ姦ヲ犯ス者ハ各凡姦ニ一等ヲ加フ相姦スルノ人ハ凡姦ヲ以テ論ス

改正 父母舅姑夫ノ喪ニ居リ姦ヲ犯ス者ハ各凡姦ニ一等ヲ加フル律ヲ改メ父母舅姑ノ喪ニ居リ姦ヲ犯ス者ハ凡姦ヲ以テ論シ

夫ノ喪ニ居リ姦ヲ犯ス者ハ有夫ヲ以テ論ス相姦スルノ人ハ並ニ同罪

犯姦條例

第二百六十五條 凡和姦ノ後姦情敗露ニ因テ姦婦悔迫自盡スル者ハ姦夫情ヲ知ラスト雖モ姦罪ニ一等ヲ加フ

第二百六十六條 凡雜姦スル者ハ各懲役九十日華士族ハ破廉耻甚ヲ以テ論ス其姦セラル、ノ幼童十五歳以下ノ者ハ坐セス若シ強姦スル者ハ懲役十年未タ成ラサル者ハ一等ヲ減ス

第二百六十八條 凡僧尼ノ姦ヲ犯ス者ハ凡姦罪ヲ以テ論ス

(按) 明治七年五月十三日司法省ヨリ第十號ヲ以テ左ノ如ク達アリ

今般犯姦ノ儀ニ付左ノ通り於當審議定候條此旨可相心得候事

凡姦事他人ノ指稱ニ係ル者ハ論スルコ勿レ

據テ觀レハ舊刑法ト雖モ改定刑法ノ如ク姦事ニ付テハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論セシナリ

逐婿嫁女

凡無罪ノ婿ヲ逐テ女ヲ嫁シ或ハ再ヒ婿ヲ招ク者ハ杖九十其女ハ坐セヌ男家ノ娶ル者及ヒ後贅ノ婿情ヲ知ル者ハ同罪知ラサル者ハ坐セヌ

(付言) 逐婿嫁女ハ直ニ重婚ノ實アリト倣シ難キカ如シ然レモ

凡ソ離婚ハ本邦ニ於テ未ダ曾テ禁セラレサル所ナリ左レハ婿

ヲ離異シ家女ヲ他ニ嫁シ若クハ再ヒ婿ヲ迎フル何ノ妨ケカ是

レアラソノ畢竟此條ノ慮ルハ無罪ノ婿ヲ故ナク追逐シ離婚ノ手

續キテ爲サスシテ女ヲ嫁シ又ハ婿ヲ迎フルニアレハ畢竟其重

婚ヲ罪トスル者ナルヤ疑貳ノ其間ニ容ル可キナシ是レ本條ヲ

第三百五十四條ノ對比ト爲ス所以ナリ但通常重婚ノ罪ハ不應

爲重ニ問擬セラレタルコアリ

誣告

凡人ヲ誣告スル者ハ罪ノ輕重ニ從ヒ已ニ決配シ未ダ決配セサルヲ問ハス告人ヲ反坐ス (三二〇、三二二ノ二、三五七)

死罪ニ誣告シテ未ダ處決セサル者ハ一等ヲ減ス (三五七、三二二)

若シ二事以上ヲ告ルニ重事ハ實ニシテ輕事ハ虛及ヒ敷事ヲ告テ

罪等キニ一事實ナル者ハ並ニ誣告ノ罪ヲ免ス
若シ二事以上ヲ告ルニ輕事ハ實ニシテ重事ハ虛或ハ一事ヲ告ル
ニ輕ヲ誣テ重ト爲ス者ハ并ニ剩ル所ニ反坐ス
其二人以上ヲ告ルニ但タ一人實ナラサル者アレハ罪輕シト雖モ
猶ホ其罪ニ反坐ス
若シ上書シテ人ヲ告ルニ已ニ奏聞シテ事實ナラサル者反坐ノ罪
徒二年ニ及ハサル者ハ上書詐不實律ニ依テ論ス
若シ獄囚已ニ伏罪シテ宛在ナキニ囚ノ親族妄訴スル者ハ囚ノ罪
ニ三等ヲ減ス罪杖一百ニ止ル

誣告條例

第二百三十九條 凡收贖贖罪ニ該ル罪ヲ以テ人ヲ誣告スル者ハ
即チ收贖贖罪ニ反坐ス若シ己ノ罪ヲ避クコトヲ規リ人ヲ誣告ス
ル者ハ原罪收贖贖罪ニ該ルト雖モ反坐ノ罪贖フコトヲ聽サス婦
女ノ犯ス者モ亦此例ニ依ル (三五七、三二二)

將屍圖賴

凡祖父母父母子孫ヲ故殺シ及ヒ家長奴婢ヲ故殺シテ人ニ圖賴ス

ル者ハ各本罪ニ一等ヲ加フ
若シ子孫及ヒ奴婢已ニ死スル祖父母父母及ヒ家長ノ屍ヲ將テ人
ニ圖賴スル者ハ徒三年二等親ノ尊長ノ屍ヲ將テスル者ハ徒二年
三等親以下ノ尊長ハ各一等ヲ遞減ス
若シ尊長已ニ死スル卑幼及ヒ他人ノ屍ヲ將テ人ニ圖賴スル者ハ
杖八十

其官ニ告ル者ハ誣告律ニ依テ罪ヲ論ス因テ財物ヲ詐リ取ル者ハ
贓ニ計ヘ竊盜ニ準シ重キニ從テ之ヲ科ス

將屍圖賴條例

第百八十六條 凡雇人已ニ死スル家長ノ屍ヲ將テ人ニ圖賴スル
者ハ懲役百日

教唆詞訟

凡詞訟ヲ教唆シ及ヒ人ノ爲ニ詞狀ヲ作り情罪ヲ増減シテ人ヲ誣
告スル者ハ犯人ト同罪罪流三等ニ止ル
若シ雇ヲ受ケ人ヲ誣告スル者ハ自ラ誣告スルト罪同財ヲ受ル者
ハ贓ニ計ヘ枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス

其人ノ愚ニシテ冤枉ヲ伸ルヲ能ハサルヲ見テ教令スルニ實ヲ得及ヒ人ノ爲ニ詞狀ヲ書寫シテ罪ニ増減ナキ者ハ論スルヲ勿レ

謀殺祖父母父母

凡祖父母父母及ヒ伯叔父姑兄姉若クハ外祖父母夫夫ノ祖父母父母ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ皆斬已ニ殺ス者ハ皆梟三等親以下ノ尊長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者首ハ流一等從ハ徒三年已ニ傷スル者首ハ絞從ハ加功スル者加功セサル者並ニ凡人ト同ク罪ヲ論ス已ニ殺ス者ハ皆斬 (三六二)

若シ五等親以上ノ尊長卑幼ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ各鬪毆律内尊長故殺卑幼律ニ依リ二等ヲ減ス已ニ傷スル者ハ一等ヲ減ス已ニ殺ス者ハ故殺律ニ依ル

改正 若シ五等親以上ノ尊長卑幼ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ各鬪毆律内尊長故殺卑幼律ニ依リ二等ヲ減スル律ヲ改メ減五等ニ從フ

謀殺祖父母父母條例

第百六十八條 凡祖父母父母及ヒ伯叔父姑兄姉若クハ外祖父母

第百三十六條 第百六十五條

夫夫ノ祖父母父母ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ皆斬ニ處スル律ヲ改メ皆絞 (三六二)

毆祖父母父母

凡子孫祖父母父母ヲ毆テ及ヒ妻妾夫ノ祖父母父母ヲ毆ツ者ハ皆斬殺ス者ハ皆梟過失殺スル者ハ流三等傷スル者ハ徒三年並ニ收贖ヲ聽サヌ若シ子孫ヲ故殺スル者ハ徒三年嫡母ノ殺スハ一等ヲ加ヘ繼母ハ流三等 (三六三)

其子孫祖父母父母ヲ毆罵シ若クハ教令ニ違犯シテ祖父母父母督責ニ邂逅ニ死ニ致シ及ヒ過失殺スル者ハ各論スルヲ勿レ

毆祖父母父母條例

第百二十八條 凡子孫祖父母父母ヲ毆テ及ヒ妻妾夫ノ祖父母父母ヲ毆ツ律ヲ改メ毆ツ者ハ懲役十年傷スル者ハ懲役終身死ニ至ル者ハ皆斬故殺スル者ハ皆梟過失殺スル者ハ懲役三年傷スル者ハ懲役一年並ニ收贖スルヲ聽サヌ

第百二十九條 凡繼母前妻ノ子ヲ非理ニ毆打シテ折傷以上ニ至ル者ハ凡鬪傷ニ三等ヲ減シ死ニ至ル者ハ懲役七年

第二百三十條 凡子孫教令ニ違犯スト雖モ祖父母父母非理ニ毆殺スル者ハ懲役二年半

干名犯義

凡子孫祖父母母ヲ告ケ妻妾夫及ヒ夫ノ祖父母母ヲ告ル者ハ實ヲ得ルト雖モ徒二年半誣告スル者ハ絞若シシ二等親ノ尊長及ヒ外祖父母ヲ告ル者ハ實ヲ得ルト雖モ杖九十三等親ノ尊長ハ杖八十四等親ノ尊長ハ杖七十妻ノ父母ハ杖六十其告ラル、二等三等親ノ尊長及ヒ外祖父母若クハ妻ノ父母ハ并ニ自首ニ同ク罪ヲ免ス四等親ノ尊長ハ本罪ニ三等ヲ減ス若シ誣告ノ罪重キ者ハ各誣ル所ノ罪ニ三等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル其嫡繼母所生母其父ヲ殺シ及ヒ養父母其所生父母ヲ殺シ若クハ二等親以下ノ尊長ニ財產ヲ侵奪セラレ或ハ其身ヲ毆傷セラレテ卑幼ノ自訴スヘキ者ハ并ニ告ルヲ聽シ告ラル、者ハ各本律ニ依テ之ヲ科ス干名犯義ノ限ニ在ラス卑幼ノ告ラル、モ亦同若シ卑幼ヲ告ケ實ヲ得ル者二等三等親ノ卑幼及ヒ女婿モ亦自首ニ同ク罪ヲ免ス四等五等親ノ卑幼ハ本罪ニ三等ヲ減ス誣告スル

者二等親ノ尊長ハ誣ル所ノ罪ニ三等ヲ減シ三等親ノ尊長ハ二等ヲ減シ四等五等親ノ尊長ハ一等ヲ減ス

若シ夫妻ヲ誣告シ及ヒ妻妾ヲ誣告スルモ亦誣ル所ノ罪ニ三等ヲ減ス

若シ奴婢家長ヲ告ル者ハ實ヲ得ルト雖モ杖九十誣告スル者ハ絞雇人家長ヲ告ル者ハ杖六十誣告スル者ハ誣ル所ノ罪ニ三等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル

其祖父母父母外祖父母子孫外孫ヲ誣告スル者ハ論スルヲ勿レ若シ家長奴婢雇人ヲ誣告スル者ハ並ニ誣ル所ノ罪ニ三等ヲ減ス

干名犯義條例

第二百四十條 凡子孫祖父母母ヲ誣告シ妻妾夫及ヒ夫ノ祖父母母ヲ誣告スル者ハ絞ニ處スル律ヲ改メ懲役終身

(付言) 干名犯義ハ其告ル所誣言ニ出ルキハ即チ誣告ノ罪トスルモノナリト雖モ誣告ニ出テサル者モ仍ホ其罪ヲ論ス是レ容隱ス可キ情誼ヲ棄テ尊敬ス可キ尊長ニ對シ若クハ親愛ス可キ卑幼ヲ告言スルノ殘忍ナル所爲ヲ責ムルモノニテ其尊長ニ對

大ル内ニハ亦祖父母父母ニ對スル者ヲモ包括スルヲ以テ茲ニ之ヲ對比ス

子孫違教

凡子孫祖父母父母ノ教令ニ違犯シ及ヒ奉養缺クルヲ有ル者ハ杖一百祖父母父母ノ親ヲ告ルヲ待テ乃坐ス (三六四)

賊盜律

盜大祀神御物

凡大祀ノ神御物及ヒ大社ノ神寶ヲ盜ム者ハ皆絞其神御ニ供セントシテ營滯未タ成ラサル者及ヒ供祭已ニ訖リ廢闕スル者ハ皆徒二年若シ豐薦ノ具饌呈ヒントシテ祀所ニ入ル、者ハ皆徒二年未タ祀所ニ入レサル者ハ皆徒一年半已ニ廢闕スル者ハ皆杖九十釜甌刀匕ノ屬ハ各盜罪ニ一等ヲ加フ

盜大祀神御物條例

第三百二十二條 凡大祀大社ノ神御神寶ヲ盜ム者ハ皆絞改テ懲役終身

第三百二十三條 凡伊勢神宮及ヒ宮中神殿ノ神御神寶ヲ盜ム者ハ

第三百六十六條 第三百八十四條

第三百六十六條 第三百八十四條

例ニ依リ懲役終身ニ處スル外官幣國幣大社ノ神御神寶ノ盜ム者ハ懲役十年中社ハ懲役三年小社ハ懲役二年半府縣社ハ懲役百日鄉社ハ懲役九十日賊ニ計ヘ重キ者ハ各盜罪ヲ以テ論ス

盜乘輿服御物

凡乘輿ノ服御物ヲ盜ム者ハ皆絞其服御ニ供セントスル者及ヒ既ニ供シテ廢闕スル者若クハ食御ニ供セントスル者ハ皆徒二年帷帳ノ屬ハ皆徒一年半

盜乘輿服御物條例

第三百二十四條 凡乘輿ノ服御物ヲ盜ム者ハ皆絞改テ懲役終身

盜官文書

凡官ノ文書ヲ盜ム者ハ皆杖一百省臺寮司府藩縣ノ文書ハ並ニ二等ヲ減シ餘ノ文書ハ各五等ヲ減ス重事ニ關スル文書ハ各一等ヲ加フ規避スル所アル者ハ重キニ從テ論ス

盜官印

凡官ノ印ヲ盜ム者ハ皆流三等省臺寮司府藩縣ノ印ハ皆徒三年餘ノ印ハ杖八十